# コ・フェスタ2018
# 実施報告書

CoFesta
2018

平成31年3月
特定非営利活動法人映像産業振興機構

# 目　次


## 1　基本情報

ⅰ　はじめに（委員長挨拶）……2

ⅱ　事業概要（事業目的・実施体制・運営組織）……3

実行委員会委員一覧……4

ⅲ　イベント一覧……5

ⅳ　百人委員会リスト……6

## 2　コ・フェスタ実行委員会……7

## 3　プロモーション　広報制作物（ポスター・ロゴ）/WEB……8

## 4　イベント報告

ⅰ　コアイベント……9

ⅱ　オフィシャルイベント……21

ⅲ　パートナーイベント……39

ⅳ　実行委員長、副委員長によるイベント開会式来賓出席と挨拶……76

## 5　アンバサダー

ⅰ　コ・フェスタアンバサダー施策について……77

ⅱ　コ・フェスタイベント支援……77

ⅲ　イベントへの協力……81

## 6　JAPACON　JAPACON による海外への情報発信……83


・氏名は敬称略を基本とします。
・株式会社、有限会社、社団法人、財団法人、独立行政法人は、それぞれ㈱、㈲、㈳、㈶、�独と略すことを基本とします。
・一般社団法人、公益社団法人、一般財団法人、公益財団法人、特定非営利活動法人は、それぞれ（一社）、（公社）、（一財）、（公財）、（特非）と略すことを基本とします。
・国立研究開発法人、協同組合は、それぞれ（国研）、（協組）と略すことを基本とします。

# 1　基本情報

## 1- i　はじめに



### コ・フェスタ実施報告書発行にあたり

コ・フェスタ2018 実行委員長　大谷　信義

皆様方におかれましては、「コ・フェスタ2018」の開催に際しまして、多大なるご支援、ご協力を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。

コ・フェスタは、日本が世界に誇るゲーム、アニメ、マンガ、キャラクター、放送、音楽、映画といったコンテンツ産業およびファッション、デザイン等コンテンツと親和性の高い産業に関わる各種イベントを効果的に海外に発信するための、海外発信力強化支援プロジェクトです。2007年から開催されて12年目を迎えた2018年度は、38のコ・フェスタ認定イベントへ、それぞれ国内外より広く多くの方にご来場いただくとともに、業界の垣根を越えた交流やビジネス展開を促進いたしました。

2018年は訪日外国人旅行客数が3000万人の大台を超え、日本の文化が海外からますます注目される年となりました。日本のコンテンツも海外へ向けてこれまで以上に発信されています。特に成長著しいｅスポーツ業界では、日本ｅスポーツ連合（JeSF）が発足。第18回アジア競技大会では、デモンストレーション競技ながら「ウイニングイレブン2018」の日本チームが金メダルを獲得し、ｅスポーツのポテンシャルを存分に感じさせました。また、映画業界ではカンヌ国際映画祭にて『万引き家族』が、日本映画では1997年の『うなぎ』以来21年ぶりとなる最高賞のパルムドールを受賞しました。米アカデミー賞では日本勢として『万引き家族』が外国語映画賞に、『未来のミライ』が長編アニメ映画賞にノミネートされており、これらは日本コンテンツにとって良い追い風が吹いていると思われます。

各イベントの効果的な情報発信では、「JAPACON」と連携して日本コンテンツ作品に係る様々な情報を集約し、良質なコンテンツを海外バイヤーや日本コンテンツファンに対してプロモーションいたしました。
コ・フェスタの取り組みをより多くの海外ユーザーに認知してもらうべく、本年度も世界中から来日している日本コンテンツファンの留学生による「コ・フェスタアンバサダー」を結成しました。イベントを取材し、日本コンテンツに直に触れ、海外消費者の目線での情報発信に貢献いたしました。

ここに、関係各位のご協力のもと、コ・フェスタ2018の実施報告書がまとまりましたので、ご一読いただければ幸いです。今年の成果を踏まえ、この12年間のコ・フェスタで培ったコンテンツ業界としての一体感と海外への発信力を一段と高めるべく、次の諸準備を進めてまいりたいと考えております。

最後になりましたが、コ･フェスタ2018にご参加いただきましたコアイベント、オフィシャルイベント、パートナーイベントの主催者・後援者、また百人委員会各企業様および関係者の皆様方の多大なるご協力に重ねて御礼申し上げます。

大谷 信義

## 1-ii　事業概要

### ■事業目的

日本のアニメ、マンガ、映画、音楽等のコンテンツは、クールジャパンを代表する要素であり、今後も更なる成長分野として期待されている。この成長を継続し、発展させていくためには、コンテンツの海外展開を通じた市場を拡大するとともに、コンテンツを主軸としたオープンイノベーションを促進し、関連産業への波及を生み出していくことが重要である。このような観点から、本事業では、日本コンテンツに係るイベントのネットワーク構築を行い、コンテンツを主軸としたオープンイノベーションの在り方等を検討し、国内外に向けて情報発信することで、日本コンテンツの市場拡大につなげることを目的とする。

### ■実施体制

本事業は特定非営利活動法人映像産業振興機構（VIPO）が経済産業省から受託した平成30年度コンテンツ産業新展開強化事業（コンテンツ関連ビジネスマッチング事業）の一環である。特定非営利活動法人映像産業振興機構がコ・フェスタ実行委員会、コ・フェスタ実行本部を設置し、本事業の検討と運営を行なった。

**●コ・フェスタとは**

コ・フェスタ（JAPAN国際コンテンツフェスティバル）とは、日本が誇るゲーム、アニメ、マンガ、キャラクター、放送、音楽、映画といったコンテンツ産業およびファッション、デザイン等コンテンツと親和性の高い産業に関わる各種イベントを効果的に海外に発信するための、海外発信力強化支援プロジェクトである。

**名　称**：コ・フェスタ（JAPAN国際コンテンツフェスティバル）2018
**主　催**：コ・フェスタ（JAPAN国際コンテンツフェスティバル）実行委員会
**開催場所**：日本各地および海外
**2018年度参加イベント**：国内外38イベント
**2018年度総来場者数**：約276万人（2019年3月28日時点　東京アニメアワードフェスティバル2019は集計中のため含まず）

**●取組内容**

**・イベント連携**

イベント間の協力体制の促進のためコ・ フェスタ実行委員会を実施し、各イベント主催者間やコンテンツ産業と他産業との連携のための情報共有等を図った。

**・海外への情報発信**

世界各国・地域からの留学生を組織化したコ・フェスタ アンバサダーによるイベント取材を英語での日本コンテンツ情報サイト”JAPACON”や各アンバサダーのSNS等を通じて海外への情報発信を行なった。また、留学生アンバサダーの声を活用したマーケティングも実施した。

### ■運営組織

**●実行委員会**　コンテンツ系各業界および関係省庁、関係団体からの委員で構成する。
**●実行本部**　　実行委員会の方針のもとに、事業の運営、統括を実施する。

## コ・フェスタ2018実行委員会委員一覧

2018年7月18日時点（敬称略）



副委員長　依田 巽



副委員長　迫本 淳一



副委員長　重延 浩



副委員長　松谷 孝征

【委員長】

| | | |
|---|---|---|
| 大谷　信義 | おおたに のぶよし | 一般社団法人 映画産業団体連合会 会長<br>（松竹株式会社 代表取締役会長） |

【副委員長】

| | | |
|---|---|---|
| 依田　巽 | よだ たつみ | 一般社団法人 日本経済団体連合会 幹事・産業競争力強化委員会 エンターテインメント・コンテンツ産業部会長<br>（ギャガ株式会社 代表取締役会長兼社長CEO） |
| 迫本　淳一 | さこもと じゅんいち | 公益財団法人 ユニジャパン 代表理事・理事長<br>（松竹株式会社 代表取締役社長） |
| 重延　浩 | しげのぶ ゆたか | 株式会社テレビマンユニオン<br>会長 ゼネラルディレクター 取締役 |
| 松谷　孝征 | まつたに たかゆき | 特定非営利活動法人 映像産業振興機構 理事長<br>（株式会社手塚プロダクション 代表取締役社長） |

【委員】

| | | |
|---|---|---|
| 赤星　康 | あかほし やすし | 独立行政法人 日本貿易振興機構（ジェトロ）副理事長 |
| 市原　健介 | いちはら けんすけ | 一般財団法人 デジタルコンテンツ協会 専務理事 |
| 井上伸一郎 | いのうえ しんいちろう | 株式会社KADOKAWA 代表取締役専務執行役員 |
| 上田　良一 | うえだ りょういち | 日本放送協会 会長 |
| 大久保好男 | おおくぼ よしお | 一般社団法人 日本民間放送連盟 会長<br>（日本テレビ放送網株式会社 代表取締役社長執行役員） |
| 岡田　裕介 | おかだ ゆうすけ | 一般社団法人 日本映画製作者連盟 代表理事（会長）<br>（東映株式会社 代表取締役グループ会長） |
| 小野　直路 | おの なおじ | 一般社団法人 衛星放送協会 会長<br>（株式会社東北新社 社外取締役・監査等委員） |
| 重村　博文 | しげむら ひろふみ | 一般社団法人 日本レコード協会 会長<br>（キングレコード株式会社 代表取締役会長） |
| 野間　省伸 | のま よしのぶ | 株式会社講談社 代表取締役社長 |
| 早川　英樹 | はやかわ ひでき | 一般社団法人 コンピュータエンターテインメント協会 会長<br>（株式会社コナミデジタルエンタテインメント 代表取締役社長） |
| 久松　猛朗 | ひさまつ たけお | 東京国際映画祭 フェスティバル・ディレクター |
| 三宅　正彦 | みやけ まさひこ | 一般社団法人 日本ファッション・ウィーク推進機構 理事長<br>（株式会社TSIホールディングス 代表取締役会長） |
| 矢内　廣 | やない ひろし | ぴあ株式会社 代表取締役社長 |

（以上、50音順）

| | | |
|---|---|---|
| 川嶋　貴樹 | かわしま たかき | 内閣府 知的財産戦略推進事務局 次長 |
| 奈良　俊哉 | ならとしや | 総務省 官房審議官（情報流通行政局担当） |
| 宮川　学 | みやがわ まなぶ | 外務省 大臣官房（外務報道官・広報文化組織）<br>国際文化交流審議官 |
| 藤原　章夫 | ふじわら あきお | 文化庁 文化部長 |
| 吉田　博史 | よしだ ひろし | 経済産業省 大臣官房審議官（IT戦略担当） |
| 米村　猛 | よねむら たけし | 国土交通省 観光庁 観光地域振興部長 |
| 小沼　博靖 | おぬま ひろやす | 東京都 産業労働局観光部長 |

【監事】

| | | |
|---|---|---|
| 櫛引　則彦 | くしびき のりひこ | 一般社団法人 日本映画テレビ技術協会 専務理事 |
| 福浦　与一 | ふくうら よいち | 一般社団法人 全日本テレビ番組製作社連盟 理事長<br>（IVSテレビ制作株式会社 代表取締役社長） |

# 1-iii　コ・フェスタ2018 イベント一覧

2019年2月13日時点

| | コアイベント | 開催期間 | 主な開催場所 |
|---|---|---|---|
| 1 | 東京ゲームショウ 2018 | 9/20(木)～23(日) | 幕張メッセ |
| 2 | Japan Content Showcase 2018 | 10/22(月)～25(木) | 池袋 サンシャインシティコンベンションセンター、渋谷エクセルホテル東急 TSUTAYA O-EAST、他 |
| | 第15回東京国際ミュージックマーケット(TIMM) | 10/22(月)～24(水) | 渋谷エクセルホテル東急 / TSUTAYA O-EAST |
| | TIFFCOM 2018 Marketplace for Film&TV in Asia | 10/22(月)～25(木) | 池袋 サンシャインシティ コンベンションセンター |
| | 東京国際アニメ祭 2018秋(TIAF) | 10/23(火)～25(木) | 池袋 サンシャインシティ コンベンションセンター |
| 3 | 第31回東京国際映画祭 | 10/25(木)～11/3(土) | 六本木ヒルズ、EXシアター六本木(港区)、他 |
| 4 | AnimeJapan 2019 | 2019/3/23(土)～26(火) | 東京ビッグサイト |

| | オフィシャルイベント | 開催期間 | 主な開催場所 |
|---|---|---|---|
| 1 | KYOTO CMEX 2018 | 5/12(土)～2019/3/9(土) | みやこめっせ(京都市勧業館)、京都国際マンガミュージアム、京都商工会議所、京都文化博物館、東映京都撮影所、松竹撮影所、東映太秦映画村など |
| 2 | 第21回文化庁メディア芸術祭 受賞作品展 | 6/13(水)～24(日) | 国立新美術館、TOHOシネマズ六本木、インターナショナル・デザイン・リエゾンセンター、スーパーデラックス、他 |
| 3 | Amazon Fashion Week TOKYO 2019 S/S | 10/15(月)～21(日) | 渋谷ヒカリエ、表参道ヒルズ、他 |
| 4 | CEATEC JAPAN 2018 | 10/16(火)～19(金) | 幕張メッセ |
| 5 | 第8回　ロボット大賞 | 10/17(水)～19(金) | 東京ビッグサイト |
| 6 | 国際ドラマフェスティバル in Tokyo 2018(東京ドラマアウォード 2018) | 10/25(木)・26(金) | 東京プリンスホテル、千代田放送会館 |
| 7 | 第45回「日本賞」教育コンテンツ国際コンクール | 11/2(金)～9(金) | NHK放送センター、みんなの広場ふれあいホール |
| 8 | Tokyo Docs 2018 | 10/13(土)、11/3(土)～7(水) | JA共済ビル カンファレンスホール、上智大学、他 |
| 9 | Inter BEE 2018 | 11/14(水)～16(金) | 幕張メッセ |
| 10 | デジタルコンテンツEXPO 2018 | 11/14(水)～16(金) | 幕張メッセ |

| | パートナーイベント | 開催期間 | 主な開催場所 |
|---|---|---|---|
| 1 | 第34回ATP賞テレビグランプリ | 7/13(金) | 六本木ヒルズ ハリウッドホール |
| 2 | SKIPシティ国際Dシネマ映画祭 2018 | 7/13(金)～22(日) | SKIPシティ 映像ホール、多目的ホール他 |
| 3 | 第43回湯布院映画祭 | 8/23(木)～26(日) | 由布市湯布院町湯布院公民館 |
| 4 | C3 AFA TOKYO 2018 | 8/25(土)・26(日) | 幕張メッセ |
| 5 | 第40回 PFF(ぴあフィルムフェスティバル) | 9/8(土)～9/22(土) | 国立映画アーカイブ |
| 6 | 京都国際マンガ・アニメフェア 2018 | 9/15(土)・16(日) | みやこめっせ、京都国際マンガミュージアム |
| 7 | 吉祥寺アニメワンダーランド 2018 | 9/27(木)～10/14(日) | 吉祥寺駅周辺(吉祥寺シアター、井の頭公園、他) |
| 8 | マジカル福島 2018 | 9/29(土)～10/8(月) | 福島県各所 |
| 9 | きものサローネ in 日本橋 2018 | きものカーニバル：10/5(金)～7(日)<br>きものコレクション:10/13(土)・14(日) | YUITO日本橋室町野村ビル、COREDO室町1 日本橋三井ホール 他 |
| 10 | No Maps 2018 | 10/10(水)～14(日) | 札幌市内各所 |
| 11 | 第10回京都ヒストリカ国際映画祭 | 10/27(土)～11/4(日) | 京都文化博物館、他 |
| 12 | MPTE AWARDS 2018 第71回表彰式 | 10/30(火) | 六本木アカデミーヒルズ49　オーディトリアム |
| 13 | JVAフェスタ 2018 | 11/20(火)～25(日) | 文化会館たづくりホール |
| 14 | 第12回アジア国際子ども映画祭 | 11/24(土) | 北海道北見市民会館 |
| 15 | 映文連 国際短編映像映画祭「映文連アワード2018」 | 表彰式：11/26(月)<br>上映会：11/27(火)～28(水) | 国立新美術館(六本木)、ユーロライブ(渋谷) |
| 16 | ヨコハマ・フットボール映画祭 2019 | 2019/2/16(土)～17(日) | 横浜市開港記念館 |
| 17 | 東京アニメアワードフェスティバル 2019 | 2019/3/8(金)～11(月) | 東京・池袋 |

| | 海外パートナーイベント | 開催期間 | 主な開催場所 |
|---|---|---|---|
| 1 | HYPER JAPAN | 7/13(金)～15(日)、11/16(金)～18(日) | イギリス ロンドン　Olympia・London |
| 2 | 2018年Comic Exhibition 漫画博覧会(台湾・台北) | 8/16(木)～20(月) | 台湾　台北世界貿易センター一号館 |
| 3 | C3 AFA JAKARTA 2018 | 8/31(金)～9/2(日) | インドネシア　ジャカルタ JIEXPO |
| 4 | バンコク日本博 2018 | 8/31(金)～9/2(日) | サイアムパラゴン5階 ロイヤルパラゴンホール |
| 5 | Madman Anime Festival - Melbourne | 9/14(金)～16(日) | メルボルン コンベンション アンド エキシビジョン センター |
| 6 | C3 AFA SINGAPORE 2018 | 11/30(金)～12/2(日) | シンガポール　サンテック コンベンションセンター |
| 7 | C3 AFA HONG KONG 2019 | 2019/2/22(金)～24(日) | 香港コンベンション・アンド・エキシビジョン・センター |

（開催時期順）

## 1-iv　コ・フェスタ百人委員会（通称：百人委員会）企業一覧

コ・フェスタを広く経済界から支援するため2007年に設立。
コンテンツ産業とその他の産業との連携及びグローバル展開の強化を目的とする。

### ■百人委員会 委員長

三菱電機株式会社 相談役　下村 節宏　（2016年9月1日就任）

### ■委員一覧　百人委員会就任企業 98社

株式会社IHI
株式会社アサツー ディ・ケイ
株式会社　朝日新聞社
伊藤忠商事株式会社
株式会社 IMAGICA GROUP
ウシオエンターテインメントホールディングス株式会社
株式会社NHKエンタープライズ
NBCユニバーサル・エンターテイメントジャパン 合同会社
王子ホールディングス株式会社
沖電気工業株式会社
鹿島建設株式会社
株式会社KADOKAWA
株式会社　カプコン
関西テレビ放送株式会社
株式会社 木下グループ
ギャガ株式会社
キヤノン株式会社
キヤノンマーケティングジャパン株式会社
キリンホールディングス株式会社
キングレコード株式会社
株式会社クオラス
株式会社コーエーテクモゲームス
株式会社　講談社
コダック合同会社
株式会社コナミデジタルエンタテインメント
株式会社ゴンゾ
株式会社サンリオ
株式会社CBCテレビ
松竹株式会社
昭和電工株式会社
スカパーJSAT株式会社
株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングス
住友化学株式会社
住友商事株式会社
セイコーエプソン株式会社
ソニー株式会社
ソニーPCL株式会社
株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント
大日本印刷株式会社
株式会社大和証券グループ本社
株式会社タカラトミー
中京テレビ放送株式会社
株式会社　TBSテレビ
株式会社ティー・ワイ・オー
株式会社 テイチクエンタテインメント
デジタルハリウッド大学
株式会社手塚プロダクション
テレビ愛知株式会社
株式会社テレビ朝日
テレビ大阪株式会社
株式会社テレビ東京
株式会社　電通
東映株式会社
東映アニメーション株式会社
東海テレビ放送株式会社
東京ガス株式会社
東宝株式会社
株式会社東北新社
株式会社トーセ
株式会社 トーハン
凸版印刷株式会社
トヨタ自動車株式会社
名古屋テレビ放送株式会社
日活株式会社
日揮株式会社
株式会社 日経BP
日本コロムビア株式会社
日本テレビ放送網株式会社
日本電気株式会社
株式会社日本経済広告社
株式会社　日本経済新聞社
日本航空株式会社
野村ホールディングス株式会社
株式会社　博報堂
株式会社博報堂DYメディアパートナーズ
株式会社バップ
株式会社バンダイナムコホールディングス
ぴあ株式会社
株式会社 日立製作所
株式会社ヒューマックスシネマ
株式会社フォーライフ ミュージックエンタテイメント
富士通株式会社
株式会社フジテレビジョン
株式会社ポニーキャニオン
株式会社ホリプロ
株式会社　毎日新聞社
株式会社毎日放送
株式会社みずほフィナンシャルグループ
三菱電機株式会社
株式会社三菱UFJ銀行
森ビル株式会社
ユニバーサル ミュージック合同会社
吉本興業株式会社
読売新聞グループ本社
讀賣テレビ放送株式会社
琉球放送株式会社
株式会社ワーナーミュージック・ジャパン
株式会社WOWOW

（2018年9月1日時点 五十音順）

## 2　コ･フェスタ実行委員会



コ・フェスタの最高意思決定機関として、上申された事項を審議、決議。コ・フェスタ各イベントの実施および広報活動ならびに各業界イベントとの協力体制の確認と強化を行なった。コ・フェスタ事業の目的を実行委員で共有し、意思統一を図ることができた。

**●開催概要**

日　時：2018年7月18日（水）16:00～17:00
場　所：野村コンファレンスプラザ日本橋　5F大ホール
参加者：実行委員、各イベント主催者、百人委員、随行者、実行本部など70人
司　会：コ・フェスタ実行本部　映像産業振興機構・事務局次長　槙田寿文
議　長：コ・フェスタ実行委員長　大谷信義



**●会議内容**

1．開会の挨拶
特定非営利活動法人映像産業振興機構　専務理事・事務局長 市井三衛

2．審議事項
第1号議案　コ・フェスタ実行委員選任の件
新委員3人と新監事2人の紹介。実行委員長、副委員長の留任の報告と挨拶。
第2号議案　コア・オフィシャルイベントなど承認の件と各イベント説明
2018年7月18日時点のコア4イベント、オフィシャル10イベント、パートナー17イベント、海外パートナー7イベントの承認。コアイベントとオフィシャルイベントの各主催者からイベント概要説明が行われた。



3．報告事項
・コ・フェスタ百人委員会についての説明

4．関係各省庁よりコ・フェスタ2018海外展開支援へのメッセージ
内閣府、総務省、外務省、文化庁、経済産業省、観光庁、東京都の7人からコ・フェスタ事業継続の重要性を込めたメッセージを頂いた。

| | |
|---|---|
| 内閣府 知的財産戦略推進事務局 次長 | 川嶋 貴樹 |
| 総務省 情報通信作品振興課 放送コンテンツ海外流通推進室長 | 三原 祥二 |
| 外務省 文化交流・海外広報課 上席専門官 | 高山 美果 |
| 文化庁 文化部長 | 藤原 章夫 |
| 経済産業省 商務情報政策局 コンテンツ産業課長 | 高木 美香 |
| 国土交通省 観光庁 国際観光課 室長 | 渡邊　崇 |
| 東京都 産業労働局 観光部 事業調整担当課長 | 二瓶　伸 |





## 3　プロモーション

### ■広報制作物　ポスター＆ロゴ




コ・フェスタ2018のポスター・ロゴのデザインの監修・制作を、クリエイティブスタジオの㈱サムライに委託した。

**仕　様：**B全サイズ　片面カラー

**デザイン：**㈱サムライ

**配布先：**実行委員会、コアイベント事務局、オフィシャルイベント事務局、パートナーイベント事務局、関連省庁、百人委員会　ほか関連団体など約150カ所

### ■WEB展開

海外向け日本コンテンツ発信サイト“JAPACON”Facebookにて海外の日本コンテンツファンやバイヤーへ向けて各イベント情報やコ・フェスタアンバサダーによる取材内容を発信した。2019年3月末時点でのフォロワー数は106万人超。また、コ・フェスタアンバサダーによるSNSでも取材内容を発信した。（詳細は 4 アンバサダー、5 JAPACONの章を参照のこと）

## 4- i　コ・フェスタ2018コアイベント

コ・フェスタコアイベントは、コ・フェスタイベントのうち、国際性及び規模等において、コ・フェスタの集中的な支援による効果が期待できるイベントとして、コ・フェスタ実行委員会が認定したイベントである。2018 年度は 4 イベントが認定された。過去最多の来場者数、出展者数や　件数等を記録したイベントがいくつかあり、BtoB、BtoC の両面において盛況となった。

| | |
|---|---|
| 1 | 東京ゲームショウ2018 |
| 2 | Japan Content Showcase 2018<br>・第 15 回東京国際ミュージックマーケット（TIMM）<br>・TIFFCOM2018 Marketplace for Film&TV in Asia<br>・東京国際アニメ祭 2018 秋（TIAF） |
| 3 | 第 31 回東京国際映画祭（TIFF） |
| 4 | AnimeJapan 2019 |

## 東京ゲームショウ2018

TOKYO GAME SHOW 2018












会　期：2018年9月20日（木）～23日（日）
会　場：幕張メッセ
主　催：（一社）コンピュータエンターテインメント協会
共　催：日経BP
後　援：経済産業省
対　象：コンピュータエンターテインメント業界関係者、一般来場者
公式サイト：http://www.tgs.cesa.or.jp/
総来場者数：298,690人（前年比17.5%増　過去最多）
ビジネスデイの来場者数：68,317人（前年比16.7%増）
出展社数：668社（国内出展社数：338社　海外出展社数：330社）
（前年比9.7%増　過去最多）
出展参加国と地域数：41の国と地域
商談件数：343件
プレス社数：2,351社（前年比10.6%増）
（国内プレス社数：1,529社　海外プレス社数：822社）

**■開催内容**

「新たなステージ、開幕。」をテーマに開催した東京ゲームショウ2018は、過去最多の668の企業・団体が出展し、出展社数は、昨年より40社以上多い338社、出展小間数も過去最多だった昨年の2,009小間を大幅に上回る2,338小間となり、会場内レイアウトを大幅に変更しての大規模開催となった。

会期中は、家庭用ゲーム、スマートフォン、PCなど、さまざまなプラットフォームに向けた幅広いジャンルの新作タイトルやサービスが発表され、国内外の報道関係者、来場者により、世界中にコンピュータエンターテインメントの最新情報が配信された。とりわけ、eスポーツの大型ステージ企画「e-Sports X（クロス）」には、国内だけでなく海外からの来場者や報道関係者が詰め掛け、大きな注目を集めた他、基調講演でも「eスポーツが“スポーツ”として広がるためのロードマップ」をテーマに激論が交わされるなど、eスポーツが日本ならびに業界外においても重要度を増しつつあることを印象付けた。

また、BtoBにおいては、国際展開を進める日本のゲーム関連企業とアジアを中心とした海外出展社・来場者との商談促進システムにより、事前の商談アポイント確定数も668件と過去最多を記録、出展社が自由に使用できるビジネスミーティングスペースにおいても積極的な商談が展開されるなど、国際的なビジネスの場としても重要な役割を果たした。

**■2018年度の新規取り組みとその成果・特色など**

**●日本eスポーツ連合（JeSU）主催によるe-Sportsイベントの実施。**

今年は、2月に新設された日本eスポーツ連合（JeSU）主催により4日間開催。「RED STAGE」と「BLUE STAGE」の2つの特設ステージでは、4日間で合計9つの競技大会を実施し、日本国内での認知度が高まってきたeスポーツの盛り上がりをアピールした。9月20日（木）は、JeSUによるメディア向け「アジア競技大会eスポーツ競技日本代表の凱旋報告会」とFIFA18による「日本対オランダ　eスポーツ国際親善マッチ　『浦和レッドダイヤモンズvsフェイエノールト・ロッテルダム』」を開催し、テレビをはじめとした多くのメディアの注目を集めた。

また、各大会において予選大会が開催され、高額賞金設定の大会が増えたことにより、日本を代表する選手達による熱戦が連日繰り広げられた。一般公開日の観客数は、2日間で約10,000人を記録し、eスポーツの認知向上と定着が実施されるステージとなった。

**●ファミリーゲームパークをイベントホールに移動。eスポーツチャレンジを実施。**

中学生以下の生徒・児童ならびにその保護者を対象とした「ファミリーゲームパーク」は、従来の展示ホールから、イベントホールに移動し、初めての主催者企画として、子供たちにもeスポーツの楽しさを体験してもらうeスポーツ大会を実施した。

# 東京ゲームショウ2018

TOKYO GAME SHOW 2018

●オフィシャルサポーターに「ゲームセンターCX」の有野課長を起用。

今年のオフィシャルサポーターには、番組開始15周年を迎えた「ゲームセンターCX」の有野課長が就任、7月から会期中まで約2ヶ月半にわたり、東京ゲームショウの魅力を発信してもらった。公式動画では、東京ゲームショウの見所を伝えたほか、有野課長に来てほしい出展社ブースを募集、60社以上の応募のなかから、有野課長自らが選んだ8社のブースを訪問し、ステージイベントや試遊への参加でブースを大いに盛り上げた。この他、日本ゲーム大賞フューチャー部門の司会、ファミリーゲームパークでの「eスポーツチャレンジ」へのゲスト参加、チャリティーオークションへの登壇や出品など、TGSの様々な企画に意欲的に参加してもらい、ゲームユーザーだけでなく幅広い層に対しての告知やゲームの楽しさ、素晴らしさの訴求につながった。



# コアイベント

## Japan Content Showcase 2018

会　期：2018年10月22日（月）～25日（木）
会　場：池袋 サンシャインシティ コンベンションセンター（TIFFCOM/TIAF）
　　渋谷 エクセルホテル東急（TIMM）
主　催：経済産業省／（特非）映像産業振興機構／（公財）ユニジャパン／（一財）音楽産業・文化振興財団／（一社）日本動画協会
共　催：第31回東京国際映画祭
後　援：総務省／外務省／観光庁／豊島区／（一社）映画産業団体連合会／（一社）衛星放送協会／
　　（一社）外国映画輸入配給協会／国際交流基金アジアセンター／（一社）コンサートプロモーターズ協会／
　　（一社）コンピュータエンターテインメント協会／（一社）私的録音補償金管理協会／（一財）デジタルコンテンツ協会／
　　協同組合 日本映画製作者協会／（一社）日本映画製作者連盟／（一社）日本映像ソフト協会／
　　（一社）日本音楽事業者協会／（一社）日本音楽出版社協会／（一社）日本音楽制作者連盟／
　　（一社）日本音楽著作権協会／（一社）日本経済団体連合会／（公社）日本芸能実演家団体協議会／
　　㈱日本貿易振興機構／（一社）日本民間放送連盟／（一社）日本レコード協会
対　象：映画、テレビ、アニメーション、音楽、出版、キャラクター、ゲーム、モバイル／インターネット、ホーム・エンターテイメント（VOD、DVD、Blu-ray）、イベント／コンサート などのコンテンツホルダー様および関連団体・企業
公式サイト：https://www.jcs.tokyo/ja/（日本語サイト）
　　https://www.jcs.tokyo/en/（英語サイト）
総来場者数：17,675人（延べ）
出展団体数：382団体（過去最高）（国内出展社：206社／海外出展社：176社（約8%増））
出展参加国と地域数：25の国と地域
実来場バイヤー数：823人（国内バイヤー：230人　海外バイヤー：593人）※登録数ではありません
商談件数：8,201件（過去最高）
成約金額：63,340,750 USドル

**■開催内容**
詳細の開催内容についてはTIFFCOM2018 ~Marketplace for Film and TV in Asia~、TIMM、TIAFの各ページを参照の事

# 15回東京国際ミュージックマーケット（15thTIMM）/ Japan Content Showcase 2018

TIMM™ 2018 15th TOKYO INTERNATIONAL MUSIC MARKET

会　期：2018年10月22日（月）～24日（水）
会　場：［セミナー／個別商談会］渋谷エクセルホテル東急（10/22～23）
［ショーケースライブ］TSUTAYA O-EAST（10/22～24）、
duo MUSIC EXCHANGE（10/22のみ）
［Music × Tech Showcase］渋谷contact（10/24）
［ビジネスマッチング］渋谷エクセルホテル東急（10/22～23）
ジェトロ本部（10/24）
主　催：Japan Content Showcase 2018として－
経済産業省（METI）／（特非）映像産業振興機構／
（公財）ユニジャパン（UNIJAPAN）／
（一財）音楽産業・文化振興財団（JMCE）／（一社）日本動画協会（AJA）
対　象：国内外の音楽関係者
公式サイト：http://www.timm.go.jp

総来場者数：5,710人
出展社数：48社（国内出展社数：41社　海外出展社数：7社）
出展参加国と地域数：6の国と地域
バイヤー数：110人（国内バイヤー：0人　海外バイヤー：110人）
商談件数：469件

**■開催内容**

「Japan Content Showcase 2018」の音楽部門のマーケットとして、日本音楽の海外展開を支援するイベント「第15回東京国際ミュージック・マーケット（15ThTIMM）」を開催した。昨年に続き、渋谷にて、「商談会」「ビジネスセミナー」「ショーケースライブ」を柱に開催した。

**■2018年度の新規取り組みと成果**

○中国マーケット進出からAI時代の音楽ビジネスまで、多岐にわたるテーマで9本のビジネスセミナーを開催した。
○初の試みとして、海外バイヤーによるビジネスプレゼンテーションを7本開催し、商談の促進施策を更に拡充させた。
○期間中3日間（10/22,23,24）を通して、計41組のアーティストがパフォーマンスを披露した。今年度は、ミュージック・ マーケット初日に、2会場でショーケースライブを開催し、例年より多くのアーティストのパフォーマンスを海外バイヤーに観覧頂き、商談促進の機会を創出した。
○ミュージック・マーケット最終日には、特別企画として、音楽とテクノロジーをテーマとしたライブイベント「Music × Tech Showcase」を渋谷contactで開催した。

**■他イベントや他団体との連携**

○他団体との連携強化
・日本音楽制作者連盟と連携しビジネスセミナーを開催した。
・第31回東京国際映画祭（TIFF）の特別企画「TIFFプラス」と連携し、アニソンコンサートを開催した（日程：10/28、場所： 六本木ヒルズアリーナ）。国内外から多くのアニソンファンが来場し、会場は盛り上がりを見せた。

○国内外で開催される音楽マーケット等での情報発信
TIMM 及び日本音楽のプレゼンスを高める事を目的とし、国内外で開催された以下の音楽マーケット、イベントに参加し、もしくはアーティスト交換等行い15ThTIMM の情報発信を行った。
1. 日本・東京「Anime Japan」
2. 中国・上海「Sound of the Xity」
3. フランス・ランス「Magnifique Society」
4. 台湾・台北「Golden Melody Awards & Festival」
5. 米国・ロサンゼルス「Anime Expo」、「Project Anime」
6. 韓国・ソウル「MU:CON」



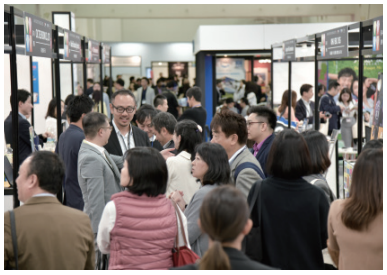






# TIFFCOM2018 ~Marketplace for Film and TV in Asia~/ Japan Content Showcase 2018










会　期：2018年10月22日（月）～25日（木）
会　場：池袋 サンシャインシティ コンベンションセンター ほか
主　催：Japan Content Showcase 2018として―
　　経済産業省／（特非）映像産業振興機構／（公財）ユニジャパン／
　　（一財）音楽産業・文化振興財団／（一社）日本動画協会
共　催：第31回東京国際映画祭
対　象：映画、テレビ、アニメーション、出版、キャラクター、ゲーム、モバイル／インターネット、ホーム・エンターテイメント（VOD、DVD、Blu-ray）、イベント／コンサート などのコンテンツホルダー様および関連団体・企業
公式サイト：http://www.tiffcom.jp/ja/（日本語サイト）
　　http://www.tiffcom.jp/en/（英語サイト）

**■開催内容**

映画・ 放送などの映像コンテンツ業界の海外展開を支援する国際見本市「TIFFCOM2018 ~Marketplace for Film and TV in Asia~」を開催した。TIFFCOMは今年で15回目の開催となり、東京・お台場会場からメイン会場を池袋に移転して2年目の開催となった。会場内では、各出展者のブース展示のほか、セミナー、マーケットスクリーニング等の上映、ネットワーキングレセプションなどを開催した。

**▶セミナーおよびマッチングイベント**

海外バイヤーをはじめ多くのコンテンツ関係者を招聘してビジネスマッチングの商談会やパーティをJapan Content Showcase（JCS）の会場のみならず、近隣施設でも連日開催し、世界各国から訪れたキーパーソンとのマッチングを実現した。中国をはじめとするアジアやヨーロッパとの国際共同制作の実例と可能性、コンテンツ配信の現状やアニメプロデューサーによるピッチング等の最新情報をテーマとしたセミナーやキーノートを開催した。

**▶JETROによる日本コンテンツ輸出支援イベント**

日本貿易振興機構（JETRO）は、日本の映像や音楽の海外展開を促進するため、海外のバイヤーとのビジネスマッチング商談会をTIMM（渋谷）・TIFFCOM（池袋）両会場にて実施した。

**▶国際交流基金／JETROとの特別プロジェクト**

2014年より、TIFFCOMと国際交流基金アジアセンターは映画・TVなどのコンテンツを通じたアジアにおける交流事業を行っている。その一環として東南アジアの7の国と地域より、バイヤーとセラー計16名をTIFFCOMに招聘した。特に招聘バイヤーには日本貿易振興機構（JETRO）とも共催で商談会・ネットワーキングの場を創出、日本のコンテンツセラーとの商談会やネットワーキングの場を設けることにより、本プロジェクトの活用を促した。

**■2018年度の新規取り組みとその成果**

**▶Japan Now Presentation in TIFFCOM**

東京国際映画祭の「Japan Now」部門と一部連携し、日本で現在注目を集める監督やプロデューサーを海外に紹介する企画を実施。専用のスクリーニング会場を設け、注目のクリエイターが手掛ける19作品の予告編などを3日間で28回上映した。

TIFFCOM初日には本企画の一環として、「MEET with CREATORS」と称した特別イベントも開催。「Japan Now」部門4作品の監督・プロデューサーによるプレゼンテーションを実施し、会場は超満員となった。

また、同日に行われたウェルカムパーティにも、同監督・ プロデューサーには特別ゲストとしてご参加いただき、海外の出展企業やバイヤーの方々に貴重なネットワーキングの場を提供することに成功した。

## TIFFCOM2018 ~Marketplace for Film and TV in Asia~/ Japan Content Showcase 2018

TIFFCOM Marketplace for Film & TV in Asia

**▶MPA/DHU/TIFFCOM/VIPO共催「フィルムワークショップセミナー＆ピッチング・コンテスト」**

会期中にモーション・ピクチャー・アソシエーション、デジタルハリウッド大学、TIFFCOM、VIPO共催で「フィルムワークショップセミナー＆ピッチング・コンテスト」を開催した。若手映画製作者の海外進出を推進し、最優秀賞にはハリウッド研修旅行が授与された。

**■他イベントとの連携**

**▶第31回東京国際映画祭**

今年度は上記にもある新企画「Japan Now Presentation in TIFFCOM」の実施により、例年に増して東京国際映画祭との連携が重要となった。東京から世界の映画産業へ向けた企画を実施することで、新たな交流の場を提供し、今後の国際共同製作や国際ビジネスに結び付ける。また昨年同様、第31回東京国際映画祭上映作品のプレス・業界関係者向け試写（P&I Screenings）をJCS会場（池袋）でも開催した。

## 東京国際アニメ祭2018（Tokyo International Anime Festival2018（TIAF2018））/ Japan Content Showcase 2018











会　期：2018年10月23日（火）～25日（木）
会　場：池袋 サンシャインシティ コンベンションセンター
主　催：経済産業省／（特非）映像産業振興機構／（一社）日本動画協会／
　　（公財）ユニジャパン／（一財）音楽産業・文化振興財団
共　催：第31回東京国際映画祭
出展対象：アニメーション（映画、テレビ、配信、音楽、出版、キャラクター、ゲーム、モバイル／インターネット、ホーム・エンターテイメント（VOD、DVD、Blu-ray）、イベント／コンサート）などのコンテンツホルダー様および関連団体・企業
公式サイト：https://www.jcs.tokyo/ja/（日本語サイト）
　　https://www.jcs.tokyo/en/（英語サイト）

**■開催内容**

アニメの国際見本市を開催し、国際取引等を促進した。各社話題のTVシリーズや最新劇場公開等のアニメ作品を国内外に広く発信するため、BtoBの商談会を行うとともに、世界的に人気の高い日本のアニメ、コミック、小説等の海外展開に向けたピッチセッションの運営や、リメイクのための「原作ピッチ」を実施した。

また、日本のプロパティやクリエイターに興味を持つ海外のコンテンツ・プロデューサーに対するプレゼンテーション、キャラクター＆作品の海外展開に向けたピッチセッション、アニメの国際共同製作を推進するためのマッチング等を通じて国内のコンテンツホルダー育成の為の展開を行うと共に、日本のアニメの海外展開の促進を図った。

・セミナー等およびマッチングイベント

国内外出展社、及びコンテンツ関係者と海外バイヤー等とのビジネスマッチングの場をJapan Content Showcase（JCS）の会場内にて実施した。

アニメーションの国際共同製作を目指す製作プロダクション、プロデューサー、監督等を対象に、実際のピッチングのテクニックを学ぶ機会として海外のアニメーション製作プロデューサー3名が企画・作品のピッチングを実施。さらに、国際共同製作のパートナー探しの機会としてピッチング後にマッチングセッションを実施した。

**■2018年度の新規取り組みとその成果・特色など**

今年度は、昨年まで実施していた国内企業等によるピッチセミナー、及びピッチセッションとは異なり、海外のアニメーション製作プロデューサーによるセミナー、及びマッチングセッション等を実施した。

本セミナー等は海外のパートナーと組んで世界の市場へ向けて勝負をしていく、国内企業の国際アニメ製作プロデューサーの創出を目的とした取り組みの一環となり、企画・作品を募集し、選出された対象者へは個別のピッチトレーニングを経て、実際に売り込みの機会をご提供する事業を3月末まで継続実施した。

## 第31回東京国際映画祭

会　期：2018年10月25日（木）～11月3日（土・祝）
会　場：六本木ヒルズ、EXシアター六本木（港区）、東京ミッドタウン日比谷 日比谷ステップ広場（千代田区）ほか
主　催：（公財）ユニジャパン（第31回東京国際映画祭実行委員会）
共　催：経済産業省（TIFFプラス）／
国際交流基金アジアセンター（アジア映画交流事業）／
東京都（コンペティション部門、ユース部門）
後　援：総務省／外務省／観光庁／港区／㈱日本貿易振興機構／
国立映画アーカイブ／（公財）港区スポーツふれあい文化健康財団／
（一社）日本経済団体連合会／東京商工会議所／
（一社）日本映画製作者連盟／（一社）映画産業団体連合会／
（一社）外国映画輸入配給協会／
モーション・ピクチャー・アソシエーション（MPA）／
全国興行生活衛生同業組合連合会／東京都興行生活衛生同業組合／
（特非）映像産業振興機構／（一社）日本映像ソフト協会／
（一財）角川文化振興財団／（一財）デジタルコンテンツ協会／
（一社）デジタルメディア協会
対　象：全て（一般・ビジネス）
公式サイト：www.tiff-jp.net

総来場者数：236,657人（昨年対比117% UP）
コンペティション部門応募参加国と地域数：109の国と地域
コンペティション部門応募作品数：1,829
プレス登録者数：1,821人（国内：1,321人　海外：500人）

**■開催内容**

**●オープニング：10月25日（木）**
六本木エリアにてレッドカーペット、オープニング・セレモニー、オープニング作品上映『アリー／スター誕生』、オープニング・レセプション

**●GALAイベントおよび上映：10月29日（月）** 六本木ヒルズアリーナ会場およびTOHOシネマズにて
新たに設けられたGALAスクリーニング作品、『人魚の眠る家』のワールド・プレミアを記念して行われるスペシャルイベント。出演者や監督が豪華集結し、レッドカーペットイベントを実施。その後作品上映。

**●アウォードセレモニー等：11月2日（金）** 六本木エリアにて
アウォードセレモニー（各賞授賞式）、クロージング・パーティー

**●クロージングイベント：11月3日（土・祝）** 国際フォーラムにて
アンバサダー松岡茉優さんを招いた10日間振り返りイベント、およびクロージング作品『GODZILLA 星を喰う者』出演者舞台挨拶イベントおよびワールド・プレミア上映

**●作品上映：主要部門・特集**
コンペティション、アジアの未来、日本映画スプラッシュ、特別招待作品、特別上映、ワールド・フォーカス、CROSSCUT ASIA #05 ラララ♪ 東南アジア、アニメーション監督　湯浅政明の世界、Japan Now、アジア三面鏡2018：Journey、日本映画クラシックス、ユース　他

**●受賞結果：**

| | |
|---|---|
| 東京グランプリ | 『アマンダ（原題）』 |
| 審査員特別賞 | 『氷の季節』 |
| 最優秀監督賞 | エドアルド・デ・アンジェリス『堕ちた希望』 |
| 最優秀女優賞 | ピーナ・トゥルコ『堕ちた希望』 |
| 最優秀男優賞 | イェスパー・クリステンセン『氷の季節』 |


© 2018 TIFF


© 2018 TIFF


© 2018 TIFF


© 2018 TIFF


© 2018 TIFF

## 第31回東京国際映画祭


© 2018 TIFF

| | |
|---|---|
| 最優秀芸術貢献賞 | 『ホワイト・クロウ（原題）』 |
| 最優秀脚本賞 | ミカエル・アース、モード・アメリーヌ『アマンダ（原題）』 |
| 観客賞 | 『半世界』 |
| アジアの未来 作品賞 | 『はじめての別れ』 |
| 国際交流基金アジアセンター特別賞 | ホアン・ホアン『武術の孤児』 |
| 日本映画スプラッシュ作品賞 | 『鈴木家の嘘』 |
| 【新設】日本映画スプラッシュ監督賞 | 武正晴『銃』／田中征爾『メランコリック』 |
| 東京ジェムストーン賞 | 木竜麻生、村上虹郎、カレル・トレンブレイ、リエン・ビン・ファット |

●マーケット TIFFCOM2018 Marketplace for Film & TV in Asia

**■2018年度の新規取り組み**

●新規会場でのイベント実施：東京ミッドタウン日比谷
六本木で行われたレッドカーペットイベントの中継、日本映像ソフト協会（「ビデオの日」実行委員会）との共催で会期を通じて行った作品上映、また最終日にゴジラの誕生日にあわせた「ゴジラ・フェス2018」の開催

●多彩なジャンルの文化との連携により、新たなコラボレーションや観客の開拓、交流を目的とした新規プロジェクト「TIFFプラス」
【アニメ】
①『KING OF PRISM –PRIDE the HERO-』上映会＆THUNDER STORM SESSION DJ Party!!! Presented by DJ KOO
②高畑勲監督特別上映会
【ファッション】FASHION GALA～BEAMSとGQ JAPANで創る大胆素敵なファッションショー～
【音楽＆アニメ】JAMLAB. Presents JAPAN ANIME MUSIC SHOWCASE 2018
【eスポーツ】「ドラゴンボール　ファイターズ」“超（スーパー）”マッチ
【スポーツ】TOKYO MEET UP SPORTS 2018
【観光＋食】FOOD TRAVEL～日本の「観光」×「食」を世界へ　笑顔の連鎖!～

●新規会場での

●俳優特集「Japan Now映画俳優 役所広司」　役所広司

●若い映画人の育成／各国映画祭との連携強化を目的とした新規プロジェクト「JTTF（Journey to the Fest）」：TIFFが所属するAsian Film Award Academyとの共催で、香港の学生を対象にしたTIFF、また日本の映画業界見学ツアー。浅野忠信氏とのミーティングや映画製作会社訪問、日本人学生との交流等

**■他イベントとの連携**

TIFFCOMとの連携により、東京から世界の映画産業へ向けて、新たな交流の場を提供し、国際共同製作や国際ビジネスに結び付けている。JCS会場（池袋）と、TIFF会場（TOHOシネマズ 六本木ヒルズ、EXシアター六本木）双方で、第31回東京国際映画祭上映作品のプレス・業界関係者向け試写（P&I Screenings）を同時開催した。

## AnimeJapan 2019

AnimeJapan 2019
Here is Everything about Anime.

会　期：2019年3月23日（土）～26日（火）
　　［パブリックデイ］3月23日（土）・24日（日）
　　［ビジネスデイ］3月25日（月）・26日（火）
会　場：東京ビッグサイト（〒135-0063　東京都江東区有明3-10-1）
　　［パブリックデイ］東展示棟 東1-8ホール
　　［ビジネスデイ］会議棟1Fレセプションホール、6F会議室 他
主　催：（一社）アニメジャパン
特別協賛：Fate/Grand Order
協　賛：LIVE DAM STADIUM／TOHO animation STORE／（株）SANKYO／
　　dアニメストア
後　援：経済産業省／（一社）日本動画協会／コミック出版社の会
対　象：一般来場者／国内・海外ビジネス来場者／招聘海外バイヤー／アニメ関
　　連企業・団体ほか
公式サイト：http://www.anime-japan.jp

総来場者数：146,616人
ビジネスエリアの来場者数：3,193人
出展社数：メインエリア、ビジネスエリア、ファミリーアニメフェスタのべ：233社
　　（国内出展社数：221社　海外出展社数：12社）
出展参加国と地域数：6の国と地域
招聘バイヤー数：179人
プレス社数：552社（国内プレス社数：488社　海外プレス社数：64社）

**■開催内容**

国内外を代表するアニメ関連企業・団体・コンテンツが集結する世界最大級のアニメイベント『AnimeJapan 2019』が、2019年3月23日～3月26日に東京ビッグサイトで開催された。

一般アニメファンを主な対象とする「メインエリア」、ファミリー層を対象とする「ファミリーアニメフェスタ2019」、アニメコンテンツに関する商談や、情報収集に訪れるビジネス目的の来場者を対象とする「ビジネスエリア」での展開。

**□メインエリア**

メインエリアでは、日本を代表する多くのアニメ関連企業が出展。各出展ブースにて作品展示・映像上映・グッズ販売・ステージイベントなどを実施した。また、主催による様々な施策も実施され、多くの来場者が様々な形でアニメ文化を楽しむ姿が見受けられた。

特に今回は6回目を迎えるAnimeJapan 2019のテーマを「ROCK（6）」とし、ロックテイストのビジュアルの描き下ろしや、それを使ったオリジナルグッズの製造・販売など、ROCKをテーマにした様々な企画が展開された。

・企業出展ブース
・主催施策（AJ"ROCK"ステージ／コスプレイヤーズワールド／オフィシャルグッズ／アニメ化してほしいマンガランキング／Production Works Gallery）

**□ファミリーアニメフェスタ2019**

東3ホールでファミリー向けのイベントを同時開催。

小学生以下及びその保護者の入場無料、専用入場口の設置など、ファミリー層が安心して楽めるイベントを実施。多くのファミリー層が人気のアニメのステージやプレイコーナーで楽しむ姿が伺えた。

・企業出展ブース
・主催施策（キッズワークショップコーナー／プレイコーナー／キャラクターグリーティング／ファミリーステージ／ファミリーフードパーク）













## AnimeJapan 2018




□**ビジネスエリア**
　国内外から多くのコンテンツホルダーやアニメ関連企業、団体が出展。今回は初めて出展エリアを会議棟1Fだけでなく、6Fにも拡大し、商談スペースも大きく確保された。また、今回開催日を初めてパブリックデイ後の月曜日と火曜日に変更し、開催時間も二日間合計で3時間延長された。
　多くのビジネス来場者が会場に足を運び、より整備された商談環境の中で、出展社と活発な商談・情報交換が行われた。

　海外からは、AnimeJapanが独自に招聘した有力なバイヤーが数多く来場。国内アニメコンテンツの積極的な海外展開に関する商談が活発に行われた。

　また恒例の主催施策として、初めてアニメビジネスに関わる方を対象としたアニメビジネスコンシェルジュを設置。異業種を含む多くのビジネス来場者のお問い合わせに対応した。

・企業出展ブース
・商談スペース、個室商談スペース、バイヤーズラウンジ
・主催施策（アニメビジネスコンシェルジュ／アニメ作品・キャラクター紹介パネル）
・AJ×JETROアニメコンテンツ商談会（JETRO招聘バイヤーと出展社、国内企業とのマッチング）の実施

**■2018年度の新規取り組みと特色**
□**ビジネスデイの月火開催：**初めてパブリックデイの後の平日となる月曜日と火曜日に開催日を変更。
□**ビジネスエリア拡大・開催時間延長：**ビジネスの出展エリアを会議棟1Fだけでなく、6Fにも拡大し、より多くの商談機会を作るため開催時間を二日間合計3時間延長。
□**ビジネスカルテ：** 限られた時間の中でより実のある商談を行うため、事前にビジネス来場登録者に商談したい内容をヒアリングしてチケットに印字し、商談用のカルテとして使用できるサービスを提供。
□**AnimeJapan 6周年にかけて“ROCK”をテーマにした様々な企画を実施：**
　・ROCKをテーマに描き下ろされた19のキャラクターの集合ビジュアルを作成
　・描き下ろされた“ROCKビジュアル”を使用した「チケットホルダー」、「パーカー」と「缶バッジ」を販売
　・世界的に有名なギターブランド「ギブソン」のギターと『ソードアート・オンライン ーアシリゼーションー』がコラボした世界に1本しかないギターを制作し、チャリティーオークションにて出品。
　・「R」「O」「C」「K」を頭文字にした4つのAJ"ROCK"ステージ（ROSE RED／OASIS GREEN／COBALT BLUE／KILLER PINKステージ）を展開　等

**■他団体との連携事例**
□今年も引き続き日本貿易振興機構（JETRO）様にご協力頂き、JETRO様が招聘する海外バイヤーと出展社とのビジネスマッチングを実施。

## 4-ii　コ・フェスタ2018オフィシャルイベント

コ・フェスタオフィシャルイベントは、コ・フェスタイベントのうち、国際性に富んだイベントで、その国際性及び規模等においてコア・イベントに準じ、コ・フェスタ実行委員会が承認したイベントである。本年度は 10 イベントが認定された。他イベントとの連携や海外ゲストを招待したシンポジウム等からビジネスマッチングを促進する盛り上がりがみられた。

| | |
|---|---|
| 1 | KYOTO CMEX 2018 |
| 2 | 第21回文化庁メディア芸術祭受賞作品展 |
| 3 | Amazon Fashion Week TOKYO 2019 S/S |
| 4 | CEATEC 2018 |
| 5 | 第8回ロボット大賞 |
| 6 | 国際ドラマフェスティバル in Tokyo 2018（東京ドラマアウォード2018） |
| 7 | 第45回「日本賞」教育コンテンツ国際コンクール |
| 8 | Tokyo Docs 2018 |
| 9 | Inter BEE 2018 |
| 10 | デジタルコンテンツ EXPO 2018 |

## KYOTO CMEX 2018

### 1）全体概要

会　期：2018年5月12日（土）～2019年3月9日（土）
会　場：みやこめっせ（京都市勧業館）／京都国際マンガミュージアム／
　　京都文化博物館／東映京都撮影所／松竹撮影所／東映太秦映画村　他
テーマ：「京都発コンテンツの祭典～ 京都が創る 新しい世界―先端コンテンツのクロスメディア」
主　催：KYOTO Cross Media Experience 実行委員会
　　［委員長　齋藤　茂（京都商工会議所常議員、京都ブランド推進特別委員会委員長、㈱トーセ 代表取締役会長）］
連　携：コ・フェスタ、京都学生祭典
対　象：国内外や京都のコンテンツ産業関係者、若手クリエーターやクリエーターを目指す学生など
参加者：299,567名
　　〔オフィシャルイベント：122,172名／パートナーイベント：177,395名〕

### 2）個別事業概要

**クロスメディア**

**●10周年記念事業・レセプション**

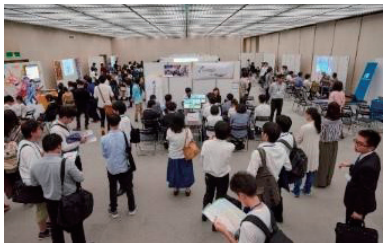
開催日：9月14日（金）15時30分～19時00分
会　場：ホテルグランヴィア京都
参加者：324名
内　容：KYOTO CMEX10周年を記念し、角川歴彦氏（㈱KADOKAWA取締役会長、カドカワ㈱取締役会長）の記念講演会と同氏と荒俣宏氏（作家、博物学者）による対談を開催。その後、関係者とのレセプションパーティーを開催した。



10 周年記念事業・レセプション

**●京都アニメ・ゲーム企業キャリアフォーラム**

開催日：9月16日（日）
会　場：京都市勧業館（みやこめっせ）　※京まふ会場で実施
出展数：16企業
　　（京都のアニメ制作会社：5社、ゲーム会社：11社）
参加者：271名
内　容：京都にスタジオ等を持つアニメ・ ゲームの制作事業者を集めた就職説明会やキャリアセミナーを開催した。


京都アニメ・ゲーム企業キャリアフォーラム

**●コンテンツパッケージ授業**

開催日：9月29日（土）～12月8日（土）
会　場：キャンパスプラザ京都、京都国際マンガミュージアム
内　容：コンテンツ分野に関する教育研究を推進している京都の諸大学が協力し、それぞれアート、デザイン、映画、マンガ、アニメ、ゲームの分野を分担してリレー講義することにより、京都から発展した日本の表現文化、映像文化を総合的に理解し、現状と展望を考える講義を実施した。

**●アニメプロジェクトGO-TAN！**

開催日：11月18日（日）、11月24日（土）
参加者：900名
内　容：コスプレパフォーマンス、痛車展示、トークショーなどのイベントを開催し、新産業・新しい観光（着地型観光・もてなしの観光）の創出を図った。

□アニメ祭GO-TAN in 丹後王国「食のみやこ」
開催日：11月18日（日）
会　場：道の駅丹後王国「食のみやこ」
内　容：コスプレパフォーマンス、痛車展示


アニメプロジェクト GO-TAN！

## KYOTO CMEX 2018

□トークショー
開催日：11月24日（土）
会　場：天橋立マリントピアリゾート
テーマ：1部「アニメ業界ってどんなところ?～声優とアニメ会社の社員がお話するアニメ業界～」
2部「漫画家・声優・講談社トークショー」
内　容：1部では声優、プロデューサーによるアニメ製作の現場、仕事の内容やアニメの魅力についてお話しいただき、2部では漫画業界の裏話や作品の仕上がるまでに編集者がどう関わるかについてトークショーを実施した。
ゲスト：中村繪里子［声優］、麻宮騎亜［漫画家］、郡司幹雄［プロダクション・アイジー］、㈱講談社


キッズ・シネマスタジオ

**●京都太秦シネマフェスティバル**
開催日：10月20日（土）、11月17日（土）～18日（日）
会　場：東映太秦映画村
参加者：7,714名
内　容：「映画のまち 京都太秦」で、プロ指導による子ども映画制作ワークショップ、歴史創作コンテンツファンが集い交流するイベントを開催し、太秦を基盤とした「コンテンツコミュニティ」の形成を図った。


太秦上洛まつり

□キッズ・シネマスタジオ
開催日：10月20日（土）
内　容：撮影所の本物の設備を使って、プロの映画監督・撮影所スタッフの指導により、子どもたちに楽しい映画作りを体験、映画作りの魅力や関心を高めた。
作　品：「こども新撰組見参!」

□太秦上洛まつり
日　時：11月17日（土）～18日（日）
内　容：ここ数年好評だった、「刀」を改めてフィーチャーし、人気アニメとのコラボや、トークイベント、ショートムービー作成等、参加型で楽しむコスプレイベントなどを開催し、歴史創作コンテンツのクロスメディア発信拠点としての京都・太秦をPRした。



HISTORICA

**映画・映像**
**●HISTORICA（ヒストリカ）**
開催日：10月27日（土）～11月4日（日）
会　場：京都文化博物館
参加者：2,287名
内　容：京都ヒストリカ国際映画祭、通称「HISTORICA」・「KHIFF」は、ジャンル映画祭として世界でただひとつ「歴史」をテーマにした国際映画祭です。また、国内外から若手フィルムメーカーを募集し、合宿形式で撮影所で短編時代劇を制作するワークショップ「京都フィルムメーカーズラボ」や、時代劇の企画ピッチングプロジェクト「企画市」などを実施し、“時代劇・歴史劇”をテーマに国際的な交流のハブとなることを目指して実施した。
※詳細はパートナーイベント第10回京都ヒストリカ国際映画祭を参照のこと。


HISTORICA


HISTORICA

## KYOTO CMEX 2018



京都フィルムメーカーズラボ



京都フィルムメーカーズラボ




京都映画企画市



京都映画企画市



京都国際マンガ・アニメフェア

**●京都フィルムメーカーズラボ**

開催日：10月27日（土）～11月2日（金）
会　場：松竹撮影所、東映京都撮影所、京都文化博物館
参加者：730名
内　容：松竹撮影所、東映京都撮影所のオープンセットにおいて、美術、照明、衣裳など本編映画と同じ施設・ 道具を使用し、本格的時代劇を体験するワークショップを開催。対象は国内・海外の若手映画製作者で、54ヶ国から205人（日本人21人、外国人184人）の応募者の中から選ばれた40人が、短編時代劇作品を製作した。
また、「マスターズセッション」においては、ヒストリカ映画祭・ 東京国際映画祭に参加する多彩なゲストを講師として招き、交流の場を設けた。

□ゲスト（マスターズセッション）
ヴァレンティーナ・ ヴェッローモ［ビエンナーレ・ カレッジ・ シネマ責任者］、クレマン・シュナイダー［映画監督］、マリーヌ・フランセン［映画監督］、ジョルジョ・フェレロ［映画監督］、フラヴィオ・コスタ［映画監督］、大寺眞輔［映画評論家］、木下雄介［映画監督］、高松美由紀［プロデューサー］

**●京都映画企画市**

開催日：10月28日（日）
会　場：京都文化博物館
参加者：40名
内　容：若手映画・ 映像製作者（監督、プロデューサー等）を対象とした時代劇企画コンテストを行い、時代劇の拠点としての京都の優位性を活かした映画・ 映像や若手クリエーターが世に出ていく仕組みを構築することを目的として実施した。

□プレゼンテーション審査　　企画数：5企画
＜評価者＞　（順不同）
掛尾　良夫　氏（城西国際大学メディア学部招聘教授・学部長）
桝井　省志　氏（映画プロデューサー）
磯村　一路　氏（映画監督）

□優秀賞作品企画
『夏の踊り子』［白川政彦（プロデューサー）］

**マンガ・アニメ**

**●京都国際マンガ・アニメフェア【略称：京まふ】**

開催日：9月15日（土）～16日（日）
会　場：京都市勧業館（みやこめっせ）等
参加者：41,700名
内　容：関西圏企業と首都圏を結ぶビジネスマッチングの場の創出、関西で優秀な若手クリエイターが育つための市場づくり、マンガ・ アニメファン及び外国人も含めた観光客の新たな層の掘り起こしなど、関西圏のコンテンツ市場の振興を図るため、西日本最大規模のマンガ・ アニメの総合見本市を開催した。
今年度は、京都市とパリ市の友情盟約締結60周年記念、京都商工会議所とパリ商工会議所の友好協定締結30周年記念の一環として6月に実施された「京都知恵ビジネスメッセ in PARIS」、7月上旬にフランス・ パリ郊外で開催される日本文化の総合博覧会「Japan EXPO」にて本フェアのPRを実施した。
※詳細はパートナーイベント京都国際マンガ・アニメフェア2018を参照のこと。

## KYOTO CMEX 2018

●マンガ・アニメイベント
開催日：9月15日（土）～16日（日）
会　場：京都市勧業館（みやこめっせ）、ロームシアター京都　他
※京まふ会場で実施
参加者：19,744名
内　容：人気声優等を招聘したステージイベント等のマンガ・アニメ関連イベントを実施した。


マンガ・アニメイベント

●マンガ出張編集部
開催日：9月15日（土）
会　場：京都市勧業館（みやこめっせ）　※京まふ会場で実施
出展数：60編集部・団体
参加者：278名
内　容：首都圏を中心とした出版社のマンガ編集部を招き、マンガ家志望者が原稿を持ち込んで添削やアドバイスを受けられる場を創出した。


マンガ出張編集部

●京都国際マンガミュージアムイベント
「原作マンガ15周年×アニメ化10周年記念
ニャンコ先生とふりかえる 夏目友人帳 記憶おもいで展」
開催日：9月1日（土）～11月4日（日）
会　場：京都国際マンガミュージアム
来館者：55,221名（期間中のミュージアム入館者数）
内　容：原作マンガの複製原画、アニメシリーズの設定や原画等を展示し、様々な角度から「夏目友人帳」を紹介した。


ニャンコ先生とふりかえる 夏目友人帳 記憶おもいで展

「PEACE MAKER 鐵 原画展 - 京都幕末新撰組異聞 -」
開催日：9月15日（土）～11月6日（火）
会　場：京都国際マンガミュージアム
来館者：46,739名（期間中のミュージアム入館者数）
内　容：幕末の新撰組隊士を題材としたマンガ・アニメ「PEACE MAKER 鐵（ピースメーカークロガネ）」の企画展を実施。原画や関連資料などを展示し、京都にある“聖地”も紹介した。


ニャンコ先生とふりかえる 夏目友人帳 記憶おもいで展

●CGアニメコンテスト プレミアム上映会
開催日：10月14日（日）
会　場：京都コンピュータ学院 京都駅前校 大ホール
参加者：250名
内　容：CMEXが始まってから10年間の入選作から、選りすぐりのアニメ作品を上映した。



PEACE MAKER 鐵 原画展


PEACE MAKER 鐵 原画展

## KYOTO CMEX 2018



BitSummit Volume 6



『クッパが主役⁉』スーパーマリオオーケストラコンサート

**ゲーム**

**●BitSummit Volume 6**

開催日：５月12日（土）～13日（日）
会　場：京都市勧業館（みやこめっせ）
参加者：10,740名
内　容：日本のインディーゲームを京都から世界へと発信することを目的に開催。世界中から100を超えるインディーゲーム開発チームがブース出展したほか、ゲームクリエイター等による講演やパネルディスカッションを実施した。

**●ゲーム音楽コンサート**

**～『クッパが主役⁉』スーパーマリオオーケストラコンサート～**

開催日：9月15日（土）18:00開演　16日（日）13:00開演/17:00開演
会　場：ロームシアター京都メインホール
音楽監督：深澤恵梨香
指　揮：竹本泰蔵
内　容：人気ゲーム“スーパーマリオ”シリーズ楽曲による国内初のフルオーケストラコンサートを開催した。

**●京都eスポーツサミット2019 Spring**

開催日：2019年3月9日（土）14時00分～18時50分
会　場：京都リサーチパーク
内　容：2024年開催のパリ・オリンピックでも正式種目入りへの協議が進められ、世界的にも注目を浴びている「eスポーツ（ゲームトーナメント）」関連のイベントを開催し、府内ゲームメーカーのみならず、ハードベンダーやVRデバイスメーカーなどより多くの企業の参画も促し、ゲーム産業関連のビジネス交流や情報発信の強化を目的に開催した。

CoFesta 2018

# 第21回文化庁メディア芸術祭 受賞作品展

第21回 文化庁 メディア芸術祭
21st JAPAN MEDIA ARTS FESTIVAL

会　期：2018年6月13日（水）～24日（日）
会　場：国立新美術館／TOHOシネマズ 六本木ヒルズ／
　　インターナショナル・デザイン・リエゾンセンター／スーパー・デラックス／
　　表参道ヒルズ／ルミネ新宿　他
主　催：第21回文化庁メディア芸術祭実行委員会
対　象：一般
公式サイト：http://festival.j-mediaarts.jp/
総来場者数：約52,000人

**■開催内容**

第21回文化庁メディア芸術祭には、アート、エンターテインメント、アニメーション、マンガの4部門に世界98の国と地域から4,192作品の応募がありました。
受賞作品展では、多様な表現形態を含む受賞作品と、功労賞受賞者の功績を一堂に展示するとともに、シンポジウムやトークイベント、ワークショップ等の関連イベントを実施しました。国内外の多彩なクリエイターやアーティストが集い、“時代（いま）を映す”メディア芸術作品を体験できる貴重な12日間のフェスティバルです。

**■2018年度の新規取り組みとその成果・特色など**

- 世界98の国と地域の4,192作品から選ばれた作品、170点以上を一堂に紹介。
- オブジェクトの知覚世界に触れるアート部門優秀賞のインスタレーション『アバターズ』を始め、鑑賞者に作品の意味を問いかけるアート作品を展示。
- エンターテインメント部門大賞のゲーム『人喰いの大鷲トリコ』に登場する実物大のトリコと触れ合うことのできる展示など、体験型の作品を展示。
- マンガ部門大賞の『ねぇ、ママ』の原画など、マンガやアニメーションの貴重な関連資料等も展示。
- アニメーション部門大賞の2作品、劇場アニメーション『この世界の片隅に』と『夜明け告げるルーのうた』の上映会が決定!その他、アニメーションや実写等、多様な映像作品をスクリーンで上映を実施。
- マンガ部門の受賞作品・ 審査委員会推薦作品の全巻を自由に閲覧できるマンガライブラリーを設置。

**■他イベントとの連携**

- ナイトタイムイベントとして、受賞作家や歴代受賞作家が出演したトーク＆ライブパフォーマンスイベントを複数回実施。音楽とデジタルテクノロジーの祭典MUTEK.JPと連携し、一般公開前夜にライブパフォーマンスイベントを開催。
- 2018年が明治150年にあたることから、「明治150年」関連企画展示として、明治時代を舞台にしたマンガ部門優秀賞受賞作品『ニュクスの角灯』の原画やパネルを表参道ヒルズの５つのフロアにわたって展示を行った。



©第 21 回文化庁メディア芸術祭受賞作品展の様子



©第 21 回文化庁メディア芸術祭受賞作品展の様子



©第 21 回文化庁メディア芸術祭受賞作品展の様子

## Amazon Fashion Week TOKYO 2019 S/S


© Japan Fashion Week Organization


© Japan Fashion Week Organization


© Japan Fashion Week Organization


© Japan Fashion Week Organization



© Japan Fashion Week Organization



© Japan Fashion Week Organization


© Japan Fashion Week Organization

会　期：2018年10月15日（月）～21日（日）
会　場：渋谷ヒカリエ、表参道ヒルズほか
主　催：（一社）日本ファッション・ウィーク推進機構
後　援：経済産業省／外務省／知的財産戦略本部／㈱日本貿易振興機構／
㈱中小企業基盤整備機構／東京都／（一社）日本経済団体連合会／
日本商工会議所／東京商工会議所／（一財）日本ファッション協会／
（一社）日本アパレル・ファッション産業協会／
（一財）ファッション産業人材育成機構／日本百貨店協会／渋谷区／
渋谷区商店会連合会
対　象：アパレル産業関係者、消費者、学生他
公式サイト：http://amazonfashionweektokyo.com/jp/

総来場者数（主催イベントのみ）：約2万1,500人
出展社数（参加ブランド数）：51社（国内出展社数：41社　海外出展社数：10社）

**■開催内容**

"ファッション・ウィーク"とは、年2回、世界のファッション都市で開催されているファッションの祭典で、ファッション・ショーや展示会で発表される最新コレクションから、次のシーズンのトレンドが生まれています。

世界のファッション・ウィークの中でも、歴史性、話題性から情報発信力が大きい、パリ、ミラノ、ロンドン、ニューヨーク、そして東京の5都市で行われるものは、「5大ファッション・ウィーク」と総称され、大きな影響力を持っています。

東京のファッション・ウィークが「Amazon Fashion Week TOKYO（アマゾン ファッション ウィーク東京）」（#AmazonFWT）です。

（一社）日本ファッション・ウィーク推進機構（JFWO）が主催し、毎年3月と10月に開催しています。

渋谷ヒカリエと表参道ヒルズという2つの拠点、そして東京各所から、世界で注目される最新の日本のクリエーションを発信していきます。

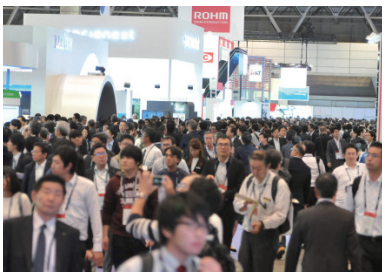
## CEATEC JAPAN 2018（シーテック ジャパン 2018）

CEATEC JAPAN

会　期：2018年 10月16日（火）～19日（金）
会　場：幕張メッセ
主　催：CEATEC JAPAN 実施協議会
後　援：総務省／外務省／厚生労働省／経済産業省／国土交通省
㈱日本貿易振興機構（ジェトロ）／
（国研）新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）／
（国研）産業技術総合研究所（AIST）／（国研）情報通信研究機構（NICT）／
㈱情報処理推進機構（IPA）／㈱中小企業基盤整備機構／
日本政府観光局（JNTO）／千葉県／千葉市／NHK／
（一社）日本民間放送連盟／（一社）日本経済団体連合会／
日本商工会議所／東京商工会議所／千葉商工会議所／
米国大使館 商務部／駐日欧州連合 代表部／駐日英国大使館／
フランス大使館 貿易投資庁－ビジネスフランス／ドイツ大使館
対　象：IT／エレクトロニクスビジネスユーザーおよび関連コンシューマ層、他
公式サイト：https://www.ceatec.com

総来場者数：156,063人
（国内入場者数：154,078人　海外入場者数：1,985人）
「前回対比2.6%UP」
出展社数：725社（国内出展社数：519社　海外出展社数：206社）
「前回対比1.1%UP」
出展参加国と地域数：19の国と地域　※日本を除く
プレス人数：1,359人（国内プレス社数：421人　海外プレス社数：79人）












**■開催内容**
**●実施概況**

今年で19回目を迎えるCEATEC JAPANは、2016年に脱・家電見本市を宣言し、社会を変えていく原動力であるCPS／IoTの総合展へと大きく舵を切った。2018年は、昨年に続き「日本の成長戦略や未来を世界に向けて発信するSociety 5.0の展示会」と位置付け、「つながる社会、共創する未来」を開催テーマに、業界の垣根を超え、政策・産業・技術を連携して、IoT・ロボット・人工知能（AI）を活用した「Society 5.0で実現する未来の社会」を披露・発信した。

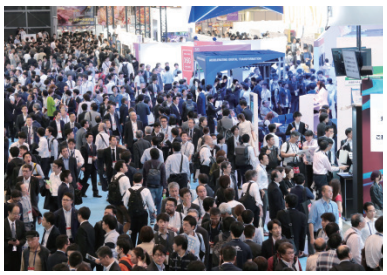
展示会場及びコンファレンスセッションではIT・エレクトロニクスに加えて、金融、旅行、玩具、住宅、工作機械、自動車、建設機械、通信、建築、農業、ヘルスケアなどの幅広い業種・産業の企業/団体が一堂に会し、業界を超えた連携や共創の取り組みが多数紹介された。

海外との連携も一層強化し、海外企業／団体の展示が一堂に会する「Co-Creation Park」を新設、また、前回のインドに続き、今年はフランスとイギリスが初めてパビリオンを設置した。他にもアメリカをはじめとする世界各国のスタートアップや先端企業など、19か国206社／団体の海外企業／団体がCEATEC JAPAN 2018に出展した。

開催前日の10月15日（月）には、都内パレスホテルにてプレイベントとして各国のトップリーダーを招いた「グローバルシンポジウム」を開催。また、経済産業省とともに主催した「Connected Industries コンファレンス」では、ものづくり分野における領域拡大や、AIベンチャーと大手・中堅企業による共創といったテーマで議論が行われた。

続けて開催されたオープニングレセプションでは、世耕弘成経済産業大臣、石田真敏総務大臣をはじめ、763名の出展企業経営幹部／主催団体会員／後援・協賛団体／大使館関係者／プレスなどが駆け付けCEATEC JAPANの開会を祝った。

## CEATEC JAPAN 2018（シーテック ジャパン 2018）



また、同日、幕張メッセの会場では記者会見とともにメディアコンベンションを実施。国内外から報道関係者470名の参加があった。開催期間中にも多くの報道関係者が取材し、CEATEC JAPANに関する情報が連日国内外のオンラインニュース、テレビ、新聞等で発信された。

20周年を迎える2019年は、さらに業種・産業の幅を広げ、「つながる社会、共創する未来」の具現化と、未来の社会を描くための変革を一層加速する。「CEATEC JAPAN 2019」は、2019年10月15日（火）から18日（金）の4日間、幕張メッセで開催予定である。

# 第8回ロボット大賞

THE ROBOT AWARD ロボット大賞

会　期：2018年10月17日（水）～19日（金）
会　場：東京ビッグサイト 東ホール（World Robot Summit内）
共　催：経済産業省（幹事）／（一社）日本機械工業連合会（幹事）
　　総務省／文部科学省／厚生労働省／農林水産省／国土交通省
対　象：ビジネス関係者、一般
公式サイト：http://www.robotaward.jp/
総来場者数：76,374人（World Robot Summit来場者数）
出展社数：24社

**■開催内容**

**●「第8回ロボット大賞」表彰式**

全161件の応募より、「経済産業大臣賞」「総務大臣賞」を受賞した、『ZDT（ゼロダウンタイム）』（ファナック　写真②）や「文部科学大臣賞」を受賞した『耐切創性式の柔剛切替グリッパ機構「Omni-Gripper」』（東北大学　田所・昆陽・多田隈研究室　写真③）など、6大臣賞を含めた全13件の優れたロボット、ロボットに関わる取り組み等が表彰された。

**●受賞ロボットの合同展示　10月17日（水）～19日（金）**

受賞13件の合同展示を行った。『ウェルウォーク　WW-1000』（トヨタ自動車／藤田医科大学　写真④）は脳卒中などによる下肢麻痺のリハビリ支援ロボットシステムを展示し、医療分野での最先端のロボットシステムを紹介した。受賞企業の多くが実際に操作・装着を体験できる展示を行い、来場者も見て触れてロボット技術をよく知ることができるイベントとなった。

**■2018年度の新規取り組みとその成果・特色など**

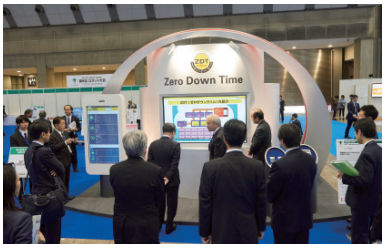
国際的なロボットの競技会・展示会を目指す経済産業省と新エネルギー・産業技術総合開発機構主催の「World Robot Summit」の会場内で開催したことにより、国内外のロボット関係者、一般来場者への広い周知を行った。また、応募数も過去最大の161件となり、規模・分野ともに過去最大規模の開催となった。

**■コンテンツと非コンテンツ企業とのコラボ事例と効果**

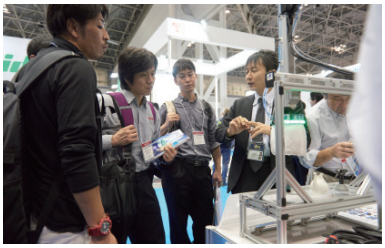
「World Robot Summit」会場内では、イベントのサポートキャラクターとして「ドラえもん」が登場し、「Robotics for Happiness」を目指すイベントを盛り上げた。会場内ではロボットメーカーのBtoC向けコンテンツの展示もありビジネスから一般の方まで広く最新のロボット技術を見ることができるイベントとなった。



受賞者記念写真

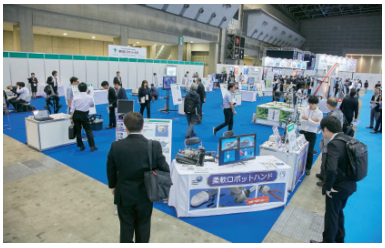


経産・総務大臣賞　ファナック


文部科学大臣賞　東北大学多田隈研



厚生労働大臣賞　トヨタ自動車


合同展示の様子


WRS サポートキャラクター　ドラえもん

# 国際ドラマフェスティバルin TOKYO 2018
# （東京ドラマアウォード2018）














会　期：2018年10月25日（木）・26日（金）
会　場：東京プリンスホテル（東京ドラマアウォード2018授賞式）
　　千代田放送会館（シンポジウム）
主　催：国際ドラマフェスティバル in TOKYO 実行委員会
　　（構成団体）
　　（一社）日本民間放送連盟／㈱TBSテレビ／日本テレビ放送網㈱／
　　㈱テレビ朝日／㈱フジテレビジョン／㈱テレビ東京／㈱WOWOW／
　　日本放送協会／スカパーJSAT㈱／（一社）日本映画製作者連盟／松竹㈱／
　　東宝㈱／東映㈱／㈱KADOKAWA／（一社）日本音楽事業者協会／
　　（公社）芸団協・実演家著作隣接権センター／
　　（一社）全日本テレビ番組製作社連盟／（特非）映像産業振興機構／
　　（一社）日本映画テレビプロデューサー協会
共　催：総務省
後　援：経済産業省
協　賛：㈱電通／㈱博報堂ＤＹメディアパートナーズ
対　象：業界関係者／バイヤー
公式サイト：http://www.j-ba.or.jp/drafes/
総来場者数：800人
プレス社数：50社

**■開催内容**

**■「東京ドラマアウォード2018」授賞式**

・司会：石坂浩二、鹿島綾乃（NHKアナウンサー）
・ゲスト：田中圭、石原さとみ、吉田鋼太郎、阿川佐和子、宮﨑あおい、米津玄師　ほか

**●「東京ドラマアウォード2018」受賞作品**

作品賞＜連続ドラマ部門＞
　グランプリ　『おっさんずラブ』　テレビ朝日
　優秀賞　『ひよっこ』　NHK
　優秀賞　『過保護のカホコ』日本テレビ放送網
　優秀賞　『アンナチュラル』　TBSテレビ
　優秀賞　『コンフィデンスマンJP』　フジテレビジョン
　優秀賞　『石つぶて』　WOWOW
作品賞＜単発ドラマ部門＞
　グランプリ　『眩～北斎の娘』　NHK
　優秀賞　『あにいもうと』　TBSテレビ
　優秀賞　『琥珀』　テレビ東京
　優秀賞　『黒井戸殺し』　フジテレビジョン
作品賞＜衛星・配信系ドラマ部門＞
　優秀賞　『小さな橋で』　スカパーJSAT
　優秀賞　『ミス・シャーロック』　HULU
作品賞＜ローカル・ドラマ賞＞
　『You May Dream』　NHK福岡放送局
　『マザーズ2017～野宿の妊婦～』　中京テレビ放送
海外作品特別賞　『お花畑から来た少年』（台湾）
　『KADIN』（トルコ）
　『閉じた心』（ベトナム）

**■東京ドラマアウォードシンポジウム**

**●ここから始まる“新しい”テレビドラマ～企画提案カンファレンス～**

・モデレーター：中町綾子（日本大学芸術学部・教授）
・参加者：各局ドラマプロデューサー／各局シナリオコンクール等受賞者

# 国際ドラマフェスティバルin TOKYO 2018（東京ドラマアウォード2018）

INTERNATIONAL DRAMA FESTIVAL in TOKYO

**■2018年度の新規取り組み**

東京ドラマアウォード11年目で新たな10年に向け、今後のテレビドラマ制作に資するテーマでシンポジウムを実施。各局のシナリオコンクール等で賞を受賞した本格デビュー前の脚本家から、新しいドラマの企画提案を募り、シンポジウム当日にプレゼンを実施。最優秀者を表彰した。



## 第45回「日本賞」教育コンテンツ国際コンクール

JAPAN PRIZE 2018














会　期：2018年11月2日（金）～9日（金）
会　場：NHK放送センター（東京・渋谷）ほか
主　催：NHK
対　象：国内外の教育コンテンツ制作および教育関係者、一般
公式サイト：http://www.nhk.or.jp/jp-prize
総来場者数：993人
出展参加国と地域数：65の国と地域

**■開催内容**

「日本賞」は教育コンテンツの質の向上と国際理解の促進を目的として1965年にNHKが創設した国際コンクール。45回目となる今回は世界の65の国と地域から378の作品と企画が寄せられ、一次審査を通過した作品を、世界12カ国から集まった国際審査委員12人が最終審査を行った。

最終日の授賞式では、皇太子殿下にお言葉をいただき、「グランプリ日本賞」ほか受賞作品が発表され8日間の会期を終了した。グランプリ日本賞を受賞したイギリスの作品は、難病と戦いながらポジティブなメッセージを発信し続ける少女の姿を描き、参加者、および視聴者に勇気を与えた。受賞式では、横山だいすけさんが司会をつとめ、NHK東京児童合唱団と共演。ファイナリスト作品の映像とともに「笑顔あつめて」を歌い、客席から大きな拍手が贈られた。

また、授賞式の模様と受賞作品は「まるごと見せます！世界の教育コンテンツ～日本賞2018～」（NHKEテレ）として、2018年12月30日に放送された。

授賞式司会進行：横山だいすけ（歌手、俳優）
　　杉浦友紀（NHKアナウンサー）

1）応募数　378作品（コンテンツ部門344、企画部門34）
2）主な受賞作品
【コンテンツ部門各カテゴリー最優秀賞】
・幼児向けカテゴリー最優秀賞（総務大臣賞）
　「はじめてのドキュメンタリー　ジュリアとソフィー水泳教室に行く」（オランダ）
・児童向けカテゴリー最優秀賞（文部科学大臣賞）/ グランプリ日本賞
　「マイ・ライフ　ビデオブログが私の人生」（イギリス）
・青少年向けカテゴリー最優秀賞（外務大臣賞）
　「＃タグづけされた世界」（オランダ）
・一般向けカテゴリー最優秀賞（東京都知事賞）
　「わたしたちのシューカツ大作戦」（オーストラリア）
・クリエイティブ・フロンティアカテゴリー最優秀賞（経済産業大臣賞）
　「わたしを葬って～シリアからの脱出～」（フランス）
【企画部門最優秀賞】（放送文化基金賞）
・「命～自殺を止めるために～」（メキシコ）

**■2018年度の新規取り組み**

今回の新しい取り組みとして、会期中いくつかのイベントをNHK外の施設で実施。教育に関心を寄せる多種多様な来場者が集い、活気に満ちたイベントとなった。
・11月6日（火）「教育×未来」　会場：100BANCH（渋谷）
・11月7日（水）「教育×国際理解」会場：JICA地球ひろば（市ヶ谷）／後援：JICA
・11月8日（木）「教育×多様性」　会場：NHKみんなの広場ふれあいホール（渋谷）

## Tokyo Docs 2018

TokyoDocs

会　期：2018年10月13日（土）、11月3日（土）～4日（日）、11月5日（月）～7日（水）
会　場：JA共済ビル カンファレンスホール／
　　東京ガーデンテラス紀尾井町 ヤフー㈱ 17F LODGE／
　　上智大学６号館（ソフィアタワー）101教室／
　　日比谷図書文化館 コンベンションホール
主　催：（特非）Tokyo Docs
共　催：（一社）全日本テレビ番組製作社連盟
後　援：総務省／経済産業省／東京都／国際交流基金アジアセンター／
　　日本放送協会（NHK）／日本民間放送連盟（民放連）／放送文化基金／
　　放送批評懇談会／放送人の会／全国地域映像団体協議会（全映協）／
　　映像文化製作者連盟（映文連）
対　象：制作者、放送局、一般、学生
公式サイト：http://tokyodocs.jp

総来場者数：1,220人
出展参加国と地域数：25の国と地域
バイヤー数：40人（国内バイヤー：12人　海外バイヤー：27人）
商談件数：290件

**■開催内容**

11月5日（月）～7日（水）、JA共済ビル カンファレンスホール（千代田区平河町）にて、Tokyo Docs 2018を開催しました。海外放送局や配信メディアの27人、アジアの制作者26人を招聘し、日本からは国内放送局、配信メディアのプロデューサー12人の他、制作者や学生が3日間で延べ約1,220人集いました。

11月5日（月）～6日（火）には、メインとなるピッチング・セッション（番組企画の提案会議）を行いました。今年は101企画の応募があり、その中から選ばれた日本企画15本、アジア企画5本、日本の制作者との共同提案企画8本が国内外の放送局、配信会社の前で提案されました。11月7日（水）には、前年よりスタートした、ショート・ドキュメンタリー完成作品の監督によるピッチングを行いました。今回はショート・ドキュメンタリーのその先に着目し、海外展開や長編化、ウェブ配信などを目指す作品を中心に選考し、8作品が提案に挑みました。

ピッチングの後には海外ゲストと一対一で面談する個別ミーティングの時間を設けました。3日間で290件の面談が行われ、海外取材先の人脈紹介、プリセールや国際共同製作に向けた話など、具体的な交渉内容が報告されています。

上記のメインイベントとは別に、プレイベントとして10月13日（土）には上智大学で、11月3日（土）～4日（日）には日比谷文化館でドキュメンタリー作品の上映会を行うなど、ドキュメンタリーファンのすそ野を広げる試みにも力を入れました。

**■2018年度の新規取り組みとその成果・特色など**

Tokyo Docsの使命のひとつである国際プロデューサー育成では、さらなる企画充実を図るため、通年で行っている企画開発特訓プログラムの対象企画を3から5企画へ拡充しました。その結果、イベント実施後の海外ゲストへのアンケート調査では、企画のクオリティに関して回答者の8割から高評価をいただきました。

**■他イベントや非コンテンツ企業との連携事例などの実施事例・件数・成果**

8年目となる今回は、Yahoo! JAPANの開設した「クリエイターズプログラム」と連携に取り組みました。連携の一環として、前年より始めたショート・ドキュメンタリーのピッチ・上映セッションを通して、若手クリエイターの発掘や、優秀作品への支援金の贈呈、また11月6日（火）に行ったショート・ドキュメンタリー上映会では、Yahoo! JAPANの本社にて若手クリエイターによる8作品の上映・トークセッションを行いました。今回を皮切りに、今後とも同社との連携を進めて行きます。


ショート・ドキュメンタリー上映会


ピッチング・セッション


海外ゲスト


受賞者集合写真



日×アジア国際共同製作シンポジウム

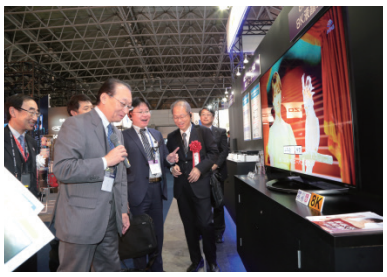
## Inter BEE 2018／（第54回）2018年国際放送機器展

Broadmedia & Entertainment
Inter BEE 2018



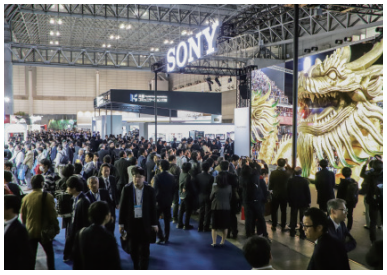











会　期：2018年11月14日（水）～16日（金）
会　場：幕張メッセ
主　催：（一社）電子情報技術産業協会
後　援：総務省／経済産業省（建制順）
NHK／（一社）日本民間放送連盟（JBA）／（一社）電波産業会（ARIB）／
（一財）デジタルコンテンツ協会（DCAJ）／
（一社）放送サービス高度化推進協会（A-PAB）　※その他協力団体多数
対　象：メディアビジネス関係者、コンテンツ制作関係者、他
公式サイト：https://www.inter-bee.com

総来場者数：40,839人
（国内入場者数：40,068人　海外入場者数：771人）
「前回対比7.2%UP」「過去最多」
出展社数：1,152社
（国内出展社数：506社 海外出展社数：646社）
「前回対比1.1%UP」「過去最多」
出展参加国と地域数：34の国と地域　※日本を除く
プレス社数：433社（国内プレス社数：421社　海外プレス社数：12社）

**■開催内容**

**●実施概況**

最新の映像・放送・通信・音響・照明・メディアビジネスのイノベーションが一堂に会した「Inter BEE 2018」は、過去最多の出展者数で開催し、3日間の登録来場者数も過去最多となった。Inter BEEは、2019年までの3ヶ年で、コンテンツを中核とした「つくる（制作）」「おくる（伝送）」「うける（体験）」の領域を網羅する、近未来のメディアコミュニケーションとエンターテインメントの総合イベントへの発展を目指す。次回は、2019年11月13日（水）から15日（金）の3日間、幕張メッセでの開催を予定する。

**●新4K8K衛星放送開始直前、メディアの新しい時代の幕開けを飾る**

新4K8K衛星放送開始直前の開催となった本年のInter BEEでは、4K8K制作技術・放送サービス・受信システム、コンテンツ等が幅広く紹介され、日本におけるメディア新時代の幕開けを象徴する場となった。初日に開催された「Opening & Keynote」では、総務省、経済産業省よる基調講演、NHK、（一社）放送サービス高度化推進協会（A-PAB）の講演につづき、放送サービスを開始する9社［日本放送協会、㈱ビーエス朝日、㈱BS-TBS、㈱BSテレビ東京、㈱ビーエスフジ、㈱東北新社メディアサービス、SCサテライト放送㈱、㈱QVCサテライト、㈱スカパー・エンターテイメント］の代表者が登壇。今後の展望・期待など様々なメッセージが発信された。

**●注目キーワードと新企画**

INTER BEE FORUMでの注目キーワードは、4K8Kとともに、AI、5G、IPライブ伝送、eスポーツ、ポスト2020など。企画セミナーを合わせた合計100を超えるセッションに、延べ13,000名以上の聴講者が集まった。展示では新企画「IP PAVILION」でのIP実機接続デモの実施や、5Gエリアでの体験展示に話題が集まった。また、VR/ARなどによる新たなコンテンツ体験の提案はさらに拡がりをみせており、最新技術や様々な新しいアイデアの活用提案が数多くみられた。

**●デジタルコンテンツEXPO 2018との同時開催**

（一財）デジタルコンテンツ協会が主催する「デジタルコンテンツEXPO」と同時開催をした。視覚、聴覚のみならず触覚や嗅覚に訴える表現や認知科学の成果等が結実した先端デジタルコンテンツ技術をテーマに、コンテンツ技術が切り開く未来を実感できる本国際イベントと、Inter BEEが訴求するコンテンツビジネスの広がりを背景とする最新技術・サービス・イノベーションとの相乗効果により、新たな発見とビジネスチャンスが創出された。

## デジタルコンテンツEXPO 2018

会　期：2018年11月14日（水）～16日（金）
会　場：幕張メッセ　（Inter BEE と 同時開催）
主　催：（一財）デジタルコンテンツ協会
後　援：総務省／経済産業省／文化庁／観光庁（建制順）
東京都／東京商工会議所
（公財）画像情報教育振興協会（CG-ARTS）／（公財）ユニジャパン／
（一社）コンピュータエンターテインメント協会／
（一社）電子情報技術産業協会／　（一社）日本動画協会／
（一社）VFX-JAPAN／（一財）家電製品協会／（特非）映像産業振興機構／
（特非）日本バーチャルリアリティ学会／
超臨場感コミュニケーション産学官フォーラム／3Dコンソーシアム／
上海マルチメディア産業協会／日中CG文化交流協会／香港貿易発展局／
韓国コンテンツ振興院／台湾デジタルコンテンツ産業推進室
公式サイト：http://www.dcexpo.jp/

総来場者数：20,500人
出展社数：74社（国内出展社数：59社　海外出展社数：15社）
出展参加国と地域数：５つの国と地域
プレス社数：17社（国内プレス社数：16社　海外プレス社数：1社）

**■開催内容**

視覚、聴覚のみならず触覚や嗅覚に訴える表現や認知科学の成果等が結実した先端デジタルコンテンツ技術をテーマとして、展示会、シンポジウム・ セミナー、ステージイベント等のプログラムを通してクリエイターや開発パートナーとのマッチングの場を図り、新規コンテンツビジネスを生み出すイノベーションを目指すとともに、コンテンツ技術が切り拓く未来を実感することを目的に実施しました。

本年は会場を幕張メッセに移動し、デジタルコンテンツと親和性の高い、音と映像と通信のプロフェッショナル展「InterBEE2018」と同時開催いたしました。

2012年より経済産業省の委託事業として実施してきた「Innovative Technologies」を（一財）デジタルコンテンツ協会自主事業として実施した他、VTuber、AI、CG制作技術等の体験型展示を実施いたしました。

また、「Innovative Technologies」採択者の中から、2019年に米国で実施されるコンピュータグラフィックスとインタラクティブ技術の国際学会「SIGGRAPH」のEmerging Technologiesに出展する権利を得られる「ACM SIGGRAPH Special Prize」が決定いたしました。

**■2018年度の新規取り組みとその成果・特色など**

●会場を幕張メッセに移動し、メディア総合イベントとして進化を加速している「Inter BEE 2018」と同時開催したことで、より多くのビジネスパーソンが来場し、先端コンテンツ技術のビジネスマッチングを促進しました。また基調講演では、コンテンツ産業の発展に貢献することが期待される最先端の技術として「テレイグジスタンス」を取り上げ、東京大学名誉教授の舘 暲氏がテレイグジスタンス技術を利用したアバターロボットとともに登壇し、その技術内容や今後の可能性を伝えた他、イベント内にてVTuberハッカソンを開催し、若手クリエイター育成に貢献しました。

●経済産業省コンテンツ産業新展開強化事業（コンテンツ関連ビジネスマッチング事業）の一環として、先進技術ビジネスマッチング事業「BizTech*Match」を実施しました。各企業・研究機関が保有するコンテンツ技術をメンターがビジネス化を支援するもので、実用化のイメージがつく形での展示を行い、マッチングを促進しました。





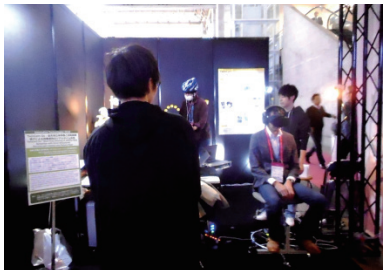







## デジタルコンテンツEXPO 2018






**■他イベントや非コンテンツ企業との連携**

・本年、会場を幕張に移し、デジタルコンテンツと親和性の高い、音と映像と通信のプロフェッショナル展「Inter BEE 2018」と同時開催しました。
・放送、映像関係企業の他、食品、医療、不動産、設計・建築、自動車、化学工業、広告業、金融業、人材サービス等の企業と商談がありました。
・「コンテンツ×技術」共同事業の先進事例を体験できる場の提供により、来場者の新たなコンテンツの活用、技術応用事例、事業展開・ 発想へとつなげることができました。

## 4-iii　コ・フェスタ2018パートナーイベント

コ・フェスタパートナーイベントは、コ・フェスタイベントのうち、国際性及び規模等でオフィシャルイベントに準じ、コ・フェスタ実行本部が承認したイベントである。本年度は 24 イベントが認定された。そのうち国内は 17 イベント、海外で開催されたのは 7 イベントであり、多くの日本コンテンツファンを獲得できた。

| | |
|---|---|
| 1 | 第34回ATP賞テレビグランプリ |
| 2 | SKIPシティ国際Dシネマ映画祭2018 |
| 3 | 第43回湯布院映画祭 |
| 4 | C3 AFA TOKYO 2018 |
| 5 | 第40回 PFF（ぴあフィルムフェスティバル） |
| 6 | 京都国際マンガ・アニメフェア2018 |
| 7 | 吉祥寺アニメワンダーランド2018 |
| 8 | マジカル福島2018 |
| 9 | きものサローネ in 日本橋2018 |
| 10 | No Maps 2018 |
| 11 | 第10回京都ヒストリカ国際映画祭 |
| 12 | MPTE AWARDS 2018 第71回表彰式 |
| 13 | JVAフェスタ2018 |
| 14 | 第12回アジア国際子ども映画祭 |
| 15 | 第9回 映文連 国際短編映像祭「映文連アワード2018」 |
| 16 | ヨコハマ・フットボール映画祭2019 |
| 17 | 東京アニメアワードフェスティバル2019 |

海外パートナーイベント

| | |
|---|---|
| 1 | HYPER JAPAN |
| 2 | 2018年Comic Exhibition 漫画博覧会 |
| 3 | C3 AFA JAKARTA 2018 |
| 4 | バンコク日本博 |
| 5 | Madman Anime Festival – Melbourne 2018 |
| 6 | C3 AFA SINGAPORE 2018 |
| 7 | C3 AFA HONG KONG 2019 |

## 第34回ATP賞テレビグランプリ













会　期：2018年7月13日（金）
会　場：六本木ハリウッドホール
主　催：（一社）全日本テレビ番組製作社連盟
共　催：ATP加盟社／未加盟社
後　援：総務省／経済産業省／日本放送協会／（一社）日本民間放送連盟
対　象：ドラマ35、情報・バラエティ49、ドキュメンタリー68、新人賞16
　　合計168作品
公式サイト：http://www.atp.or.jp/awards/atpaward/award_034.php

総来場者数：500人

**■開催内容**

『ATP賞』は、日本の映像コンテンツ産業の重要な担い手となっている製作会社の社会的機能を高め、そこで働く制作スタッフ一人ひとりの情熱や気概に応えるために、創り手である製作会社のプロデューサーやディレクターが自ら審査委員となって優れた作品を選ぶ、日本で唯一の賞として1984年に創設しました。ドラマ部門、ドキュメンタリー部門、情報・バラエティ部門の3つのジャンルを基幹部門として作品を募集し、最高賞のグランプリを決定します。

2018年度の『第34回ATP賞テレビグランプリ』（主催：ATP）は、7月13日（金）六本木ヒルズハリウッドホールにて開催されました。応募総数は、168作品。栄えあるグランプリは、3部門の最優秀賞の中からATP会員社の投票によりドラマ部門の連続ドラマW「アキラとあきら」（東阪企画／WOWOW）に輝きました。最優秀新人賞には、優秀新人賞4名の中から、会員社の投票によってテムジン房　満満さんが選考されました。理事会推薦による特別賞枠には、33年の長きにわたり、番組クオリティを常に向上させる不断の努力と功績に対し、「世界ふしぎ発見!」制作チーム、日本の放送文化になくてはならない昼帯ドラマを復活させたことに対して、帯ドラマ劇場「やすらぎの郷」がそれぞれ選考されました。

## SKIPシティ国際Dシネマ映画祭2018

SKIPシティ国際Dシネマ映画祭2018

会　期：2018年7月13日（金）～22日（日）
会　場：SKIPシティ 映像ホール、多目的ホールほか／MOVIX川口
主　催：埼玉県／川口市／SKIPシティ国際映画祭実行委員会／
（特非）さいたま映像ボランティアの会
共　催：MOVIX川口
後　援：総務省／外務省／経済産業省／文化庁／（一社）日本映画作者連盟／
（一社）映画産業団体連合会／（公財）ユニジャパン／
（一社）外国映画輸入配給協会／（公社）映像文化製作者連盟／
（一社）日本映画テレビ技術協会／
（一社）日本映画テレビプロデューサー協会／（協組）日本映画監督協会／
（協組）日本映画撮影監督協会／（協組）日本映画製作者協会／
全国興行生活衛生同業組合連合会／生活衛生同業組合埼玉県映画協会／
（一財）デジタルコンテンツ協会／（特非）映像産業振興機構／NHK／
FM NACK5／埼玉新聞社／（公財）埼玉県文化芸術振興財団／
駐日アイスランド大使館／アメリカ大使館／
在日アルゼンチン共和国大使館／駐日エストニア共和国大使館／
オーストリア大使館／オーストリア文化フォーラム／オランダ王国大使館／
駐日韓国大使館 韓国文化院／コソボ共和国大使館／東京／
スペイン大使館／デンマーク大使館／駐日フィリピン共和国大使館／
在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ日本／
ポーランド文化広報センター
対　象：一般
公式サイト：http://skipcity-dcf.jp
総来場者数：51,229人
出展参加国と地域数：98の国と地域から832本（作品応募）※応募国数 過去最多
プレス社数：約60社








**■開催内容**

節目となる第15回を迎えたSKIPシティ国際Dシネマ映画祭2018は、7月13日（金）～22日（日）の10日間、埼玉県川口市のSKIPシティ、MOVIX川口をメイン会場に開催しました。

本年のオープニング作品は、15周年を記念して開催地・川口市が製作した『君がまた走り出すとき』を上映。舞台挨拶には、本作で長編デビューとなった新鋭・中泉裕矢監督と出演者らが登壇し、華やかに映画祭の幕開けを飾りました。



本映画祭のメインとなる「コンペティション」は、15回目を迎えるに当たり、「若手映像クリエイターの登竜門」としてより一層の強化を図るべく、部門構成を国際コンペティション、国内コンペティション（長編部門、短編部門）の2部門3カテゴリーに刷新しました。本年は過去最多となる98の国と地域から、合計832本の応募があり、その中から厳正な審査によって選ばれた国際コンペティション10本、国内コンペティション長編部門4本、同短編部門9本を上映。上映に合わせ、国内外から監督やプロデューサー、出演者などゲストも多数来場して会場を盛り上げました。

加えて、『8年越しの花嫁　奇跡の実話』の日本語字幕・音声ガイド付きバリアフリー上映、海外の映画祭でも注目を集めている日本のVR作品を上映した「VR上映」、SKIPシティ 彩の国ビジュアルプラザを拠点に活動するクリエイターの制作作品を上映した「メイド・インSKIPシティ」、地元川口市の「川口子ども映画クラブ」が制作した映画や、小学生が制作した作品を上映した「カメラクレヨン」、赤ちゃん連れでも気兼ねなく映画を楽しめる「ママ・シアター」といった多種多様な企画を開催しました。



最終日の7月22日（日）にはクロージング・セレモニーが開かれ、コンペティションの各賞が発表・授与されました。国際コンペティションでは、『ナンシー』（アメリカ／クリスティーナ・チョウ監督）がグランプリを受賞。国内コンペティション長編部門は『岬の兄妹』（日本／片山慎三監督）、同短編部門は『予定は未定』（日本／

## SKIPシティ国際Dシネマ映画祭2018

SKIPシティ国際Dシネマ映画祭2018




磯部鉄平監督）がそれぞれ優秀作品賞を受賞しました。

また、国際コンペティション、国内コンペティションを通じた日本作品を対象に、今後の長編映画制作に可能性を感じる監督に対して授与するSKIPシティアワードには、『彼女はひとり』（日本／中川奈月監督）が選出されました。

**■2018年度の新規取り組みと特色**

15周年を記念した特別企画として、それぞれに特色のある3つの特集を開催しました。「飛翔する監督たち from SAITAMA」では、現在日本映画界の第一線で活躍する埼玉県出身の映画監督4名（石井裕也監督、入江悠監督、沖田修一監督、吉田恵輔監督）にスポットを当て、彼らの話題作を上映。上映後にはトークイベントも開催しました。「名匠たちの軌跡」と題した特集では、黒澤明、ミヒャエル・ハネケ、エドワード・ヤン、ホウ・シャオシェンといった、映画史に名を刻む古今東西の巨匠を追ったドキュメンタリー3本を特集。スクリーンでは殆ど観ることのできない作品が揃った貴重な機会となりました。「怪盗グルーシリーズ一挙上映」では、大人から子どもまで大人気のキャラクター「ミニオンズ」が活躍する世界的大ヒットアニメシリーズ3作品を上映しました。

## 第43回湯布院映画祭

会　期：2018年8月23日（木）前夜祭～8月26日（日）
会　場：由布市湯布院公民館
主　催：湯布院映画祭実行委員会
後　援：由布市商工会／大分県興行生活衛生同業組合／大分合同新聞社／
NHK大分放送局／OBS大分放送／TOSテレビ大分／OAB大分朝日放送／
J：COM大分ケーブルテレコム／CTBメディア／エフエム大分／
ゆふいんラヂオ局／JR九州
対　象：日本映画ファン
公式サイト：http://www.d-b.ne.jp/yufuin-c/
総来場者数：2,100人
プレス社数：6社

**■開催内容 シンポジウムの特色と得られたこと**

『青春の門』（1982年）で俳優としてデビュー後、常に第一線で活躍し、今や日本映画を代表する俳優と言っても過言ではない佐藤浩市氏を招き、映画にかける思いや、俳優としての心掛けなどの意気込みを通して、現在の日本映画の状況について、出演した監督のエピソードなどとともに聞いた。さらに、後輩の俳優や監督を含めた若手のスタッフなどに、氏の経験をどのように伝えているか、日本映画の伝統とは何なのかということも語っていただきながら今後の日本映画の未来と在り方を探った。

昭和を代表する名俳優、三国連太郎の子供として生まれるが、父とは幼少期から隔絶した状況でありながら、同じ俳優の道を歩んだ佐藤浩市氏の足跡は、父や家族から疎遠の状態でいかにして生きるか、という現在の日本の家族に普遍的に存在している家族の在り方に対して大きな示唆を含んでいた。様々な状況をいかに教訓として生きるかは古くからの不変的テーマであり、俳優という職業人を超えて一人の人間として、観客にとって大きな教訓となった。



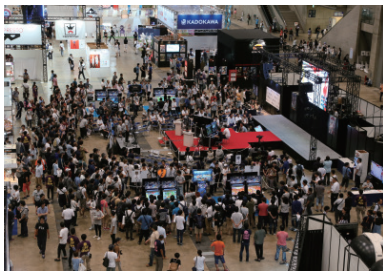





## C3AFA TOKYO 2018







会　期：2018年8月25日（土）～26日（日）
会　場：幕張メッセ国際展示場1・2・3ホール
主　催：C3AFA TOKYO 実行委員会
後　援：千葉県／千葉市／日本商品化権協会／日本玩具文化財団
協　賛：壱番屋（カレーハウスCoCo壱番屋）／ホーユー（メンズビゲン）

対象者：ホビーファン、アニメファン
公式サイト https://www.c3afatokyo.com/

総来場者数：2日間で約50,200人
出展・参加・協力・後援企業数：約220団体
当日取材：56媒体82名

**■開催内容**

**●企業出展ゾーン（8月25日、26日）**
企業出展ゾーンでは、様々な分野の各企業による物販・プロモーションの場としてブースが展開された。ブース内では、実演・体験コーナーやミニステージでのトークショーなど、ユーザー参加型のイベントも多数開催された。イベント限定商品の販売やアイテム先行販売もおこなわれた。

出展ブース：ANIPLEX／（一社）アニメツーリズム協会―アニメの舞台と日本を旅しよう―／AvanGarage／UNTIES／インターネットラジオステーション＜音泉＞＆音mart／ウェーブ／HKT48／KADOKAWA／「機動戦士ガンダム THE ORIGIN」フレーム切手シリーズ／クリーク・アンド・リバー社／コスパ／SANKYO／サンスター文具／スクウェア・エニックス／千値練／造形工房密林／T-FAN SITE／日本商品化権協会／バンダイ／BANDAI SPIRITS／バンダイナムコアーツ／バンダイナムコエンターテイメント/バンダイナムコアミューズメント／バンプレスト／ピアニジュウイチ「トリックビジョン®」／プレックス／ボークス／ホーユー（メンズビゲン）／ホビージャパン／ムービック／メガハウス／夢色キャスト THEATER SHOP IN C3AFA TOKYO 2018／ラジオ大阪Vステショップ／リイカゲームフェスティバル（liica Game Festival）／RHYTHM／Lose

**●ステージイベント（8月25日、26日）**
会場中央に設置されたステージイベントでは8つの団体が出演し、人気声優や豪華ゲストによるトークショー、アニメの制作発表、人気アーティストによるスペシャルライブなどが開催された。

出演団体：スクウェア・エニックス／創通・サンライズ／バンプレスト／Project ANIMA／.LIVE／ラジオ大阪／野外活動サークル／夢色カンパニー

**●C3AFAマーケット2018（8月26日）／C3AFA MARKET PLUS 2018（8月25日、26日）**
マーケットディーラー168組が参加したC3AFAマーケット2018は、本イベント限定のマーケットとなっており、ガレージキットの販売・展示を主としている。本イベント限定で版権許諾を受けたアニメキャラクターやアイテムなどのガレージキットが販売された。また、今回より2日間開催の「C3AFA MARKET PLUS」が新たに実施された。

**●eスポーツエリア（8月25日、26日）**
ガンダムゲーム国内初の賞金付きゲーム大会としてGGGP（GUNDAM GAME GRAND PRIX）が初開催され、多くのゲームユーザー、ゲームファンが来場し、盛り上がりを見せた。

## C3AFA TOKYO 2018

**●コスプレプラザ2018（8月25日、26日）**
昨年に引き続き、多彩な撮影エリアを用意したコスプレプラザでは、コスプレを存分に楽しめるコンテンツを用意し、好評を得た。今回から新たに、「C3AFA TOKYO 2018 コスプレプラザ 公式サポーター」として多くの人気コスプレイヤーが登場したり、新設されたコスプレプラザ特設ステージではバラエティ豊かな演目が実施されるなど、様々な盛り上がりを見せた。

**●キッズファミリーコーナー（8月25日、26日）**
親子で楽しめる遊戯空間として、人気キャラクターによるステージや握手会・撮影会を開催した。C3AFA TOKYOオリジナルのふわふわなど、無料で楽しめるアトラクションも充実しており、家族連れ以外にも幅広いファンが訪れた。

**●子どもイラストコンクール（8月25日、26日）**
毎年恒例となっている子どもイラストコンクールでは、テーマを「日本の魅力を伝えるロボット」とし、イベント当日は多くの入賞者が来場し、協賛各社から商品とプレゼントが贈呈された。

**●飲食コーナー（8月25日、26日）**
多くの参加者の食欲を満たす場として、飲食コーナーでは5つの団体が出展した。

出展ブース：カレーハウスCoCo壱番屋／ケンタッキー・フライド・チキン／ドミノ・ピザ／とんかつまい泉／幕張シーサイド

**■C3AFA TOKYOとは**
キャラクターとホビーの文化を融合させた日本最大級の参加型エンターテインメントイベント。様々なジャンルからの企業出展ゾーンや、多彩なゲストを迎えてのステージ、イベント限定の版権許諾マーケット、コスプレイヤーが集うコスプレプラザなどの企画を実施。

**■2018年度の新規取り組みとその成果・特色など**
新規取り組みとして、eスポーツエリアではガンダムゲーム国内初の賞金付きゲーム大会のGGGP（GUNDAM GAME GRAND PRIX）を初開催。コスプレプラザでは、新企画として多くの人気コスプレイヤーによる「C3AFA TOKYO 2018 コスプレプラザ 公式サポーター」企画を実施。コスプレプラザ特設ステージも新設し、新たな盛り上がりを見せた。

## 第40回PFF（ぴあフィルムフェスティバル）


外観


受賞監督＆プレゼンター集合写真


黒沢清監督


青山真治監督＆仙頭プロデューサー


原恵一監督＆橋口亮輔監督

会　期：東　京　2018年9月8日（土）～22日（土）
　　京　都　2018年12月21日（金）～23日（日）
　　名古屋　2019年1月25日（金）～31日（木）
　　＊福岡　2019年4月27日（土）～30日（火・祝）開催予定
会　場：東　京：国立映画アーカイブ
　　京　都：Lumen gallery
　　名古屋：ミッドランドシネマ名古屋空港
　　＊福岡：福岡市総合図書館　映画ホール・シネラ
主　催：東　京：（一社）PFF／国立映画アーカイブ／
　　（公財）川喜多記念映画文化財団／（公財）ユニジャパン
　　京　都：Lumen gallery
　　名古屋：（一社）PFF／中日本興業㈱／（公財）川喜多記念映画文化財団／
　　（公財）ユニジャパン
　　＊福岡：映像ホール・シネラ実行委員会
後　援（東京のみ）：（特非）映像産業振興機構（VIPO）／（協組）日本映画監督協会
対　象：一般の方々、映画監督志望者、映画製作・映画配給関係者、映画・映像
　　教育機関関係者
公式サイト：http://pff.jp/
総来場者数：7,000人（東京、京都／昨年対比：東京　146.5%　京都　102%）
プレス社数：新聞社：40　通信社：5　雑誌：7　WEB：725　テレビ：5
　　ラジオ：1　アプリ：8

**■開催内容**

**●コンペティション部門「PFFアワード2018」**

全国から応募された自主映画529作品の中から入選18作品を東京開催中に2回上映し、会期末の表彰式にてグランプリをはじめ各賞を発表、表彰。その後、「第31回東京国際映画祭」との提携企画として、グランプリ作品「オーファンズ・ブルース」の上映と、質疑応答を実施。

また、全入選作品を京都で上映し、映画教育機関との連携による映画振興に努め、海外映画祭への出品を促進するなどの活動を展開している。

**●招待作品部門**

①女も男もカッコイイ！／今こそアルドリッチ

生誕100年のロバート・アルドリッチ監督を特集。会期中に10作品を上映。映画祭初日には、黒沢清監督による講演を実施し、この回含め、盛況のうちに終了。

②追悼　たむらまさきを語りつくす

ドキュメンタリーや劇映画において、自在で自由な表現を追求し続けたカメラマン・たむらまさき（田村正毅）の5月の逝去の報に、緊急追悼企画として3企画4プログラムを実施。7作品を共にした仙頭武則プロデューサーと、13作品を創りあげた青山真治監督の対談をはじめ、柳町光男監督と、空族の富田克也監督、相澤虎之助監督との鼎談や、諏訪敦彦監督と、2017年観客賞受賞者・山中瑶子監督との対談により、様々な角度から「たむらまさき」が語られました。

③PFFスペシャル講座「映画のコツ」

映画・映像製作のノウハウを公開するPFF恒例の講座企画。

本年は、昨年に続き、原恵一監督と、橋口亮輔監督による「天才・木下恵介は知っている：その2」を実施。

また、吉田大八監督が敬愛する、脚本家＆映画監督である香川まさひと氏のPFF入選作品や撮り下ろし作品の上映とお二人の対談により、創作の秘密を探る企画や、テレビディレクターにスポットを当てた「本当にみたいテレビ版踏み創作術」では、テレビドキュメタリー「たけし誕生～オイラと師匠と浅草～」の上映と、ディレクターの稲垣哲也氏、佐々木健一氏による対談を実施。

**■2018年度の新規取り組みと成果**

①全受賞作品が一挙に観賞できるように、会期終了の2日前に表彰式（全席招待制）を実施し、2日間に渡って上映。初めての取り組みなので、観客数は多くはない

## 第40回PFF（ぴあフィルムフェスティバル）

PIA FILM FESTIVAL

ものの、熱心な方々が詰めかけたことから、今後も継続する予定。
②映画祭初日から全PFFアワード入選作品を配信を展開し、昨年以上の視聴を獲得できた。懸念された配信の影響は少なく、昨年比24.8%増の結果となった。

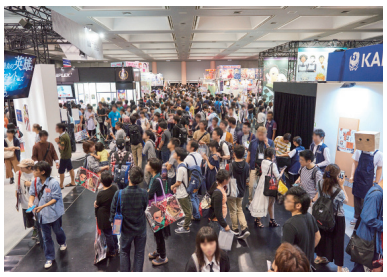
**■他イベントとの連携と成果**

国内：前述の「第31回東京国際映画祭」との提携によるグランプリ上映を通して、PFF来場者でない一般の映画ファンにも来場いただいた。

海外：近年のPFFアワード作品の海外映画祭や企画マーケットでの受賞が続く。
PFFアワード2017グランプリ『わたしたちの家』（監督：清原惟）
①ブラジル・クリチバ国際映画祭（18年6月）の「Other Views」部門でグランプリ受賞
②中国最大の映画祭「上海国際映画祭」（18年6月）で清原監督が最優秀アジア新人監督賞受賞。
PFFアワード2017観客賞『あみこ』（監督：山中瑶子）
香港国際映画祭（18年3月）の新作企画マーケットでバウター・バレンドレクト賞を受賞。

## 京都国際マンガ・アニメフェア2018











会　期：2018年9月15日（土）、16日（日）
会　場：みやこめっせ／京都国際マンガミュージアム他
主　催：京都国際マンガ・アニメフェア実行委員会／京都市
共　催：京都国際マンガミュージアム／KYOTO CMEX 実行委員会／
　　京都コンピュータ学院・京都情報大学院大学
後　援：経済産業省
対　象：マンガ・アニメに関する企業・団体など
公式サイト：http://kyomaf.kyoto/

総来場者数：41,700人（国内入場者数：40,914人　海外入場者数：786人）
　　※昨年対比22% UP
出展社数：75社（国内出展社数：75社）
プレス社数：61社（国内プレス社数：53社　海外プレス社数：8社）

**■開催内容**

「京都の企業と版権を持つ首都圏企業とのコラボ商品の開発」、「クリエイターの育成・支援」、「新たな観光客の発掘」、「海外への情報発信」を目的として開催している西日本最大規模のマンガ・アニメの総合見本市。

7回目となった今回、開催2日間の来場者総数は過去2番目に多い4万1千人を超えており、みやこめっせ会場において3フロアで展開した出展ゾーンではグッズ販売や原画展示、ワークショップ、ミニイベントなど個性豊かなブースが京まふを彩ったほか、ショップ内で展開された友禅職人による実演販売や人気作品とのコラボフードやドリンクの販売を行ったキャラカフェに長蛇の列ができるなどの盛況となった。トークイベントや最新アニメの発表、今回初となる人気ゲームのオーケストラコンサートなどを展開したロームシアター京都をはじめ、京都国際マンガミュージアム会場内の2つの企画展やトークショー、コンサート、ファミリー企画など多くの方々に楽しんで頂けた。

毎年開催しているマンガ出張編集部に加え、京都に拠点を置く、アニメ・ゲーム企業の就職イベントを初開催した。また昨年に引き続き京都国際漫画賞はマンガ家志望者が京都を通じてプロデビューする機会を創出することを目的とした国際漫画賞として今年度は「世界文化自由都市宣言」40周年を機に、全世界からマンガ作品を募集。海外部門においては上位3作品の応募者を京都国際マンガ・アニメフェアに招待し、表彰を行った。日本部門では大賞に加えて、今回から京都市在住・在学・在勤者の中から「日本部門京都賞」、関西の学校に通学する学生等を対象とした特別賞「関西学生賞」を選定した。

さらに京都というブランディングとマンガ・アニメの連携を強めるために京都が舞台のマンガの人気投票や京都の人気観光地とキャラクターのコラボビジュアルの作成を行った。また、市内の寺社や百貨店等で15の連動イベントが開催され、今回は規模が大きいイベントとの連動が多く見られた。7年目を迎えた京まふ開催に合わせた広域的な賑わい創出の取組が拡大している。産業振興面においては、新たに69種の商品を開発・販売した。

このように、京まふを契機とした様々な取組が定着しつつあることを感じることができた会期であった。

**■2018年度の新規取り組みと成果**

・KYOTO CMEX公式イベントとして、人気ゲーム“スーパーマリオ”シリーズ楽曲による国内初のフルオーケストラコンサートをロームシアター京都メインホールにて2日間開催。
・京都アニメ・ゲーム企業キャリアフォーラムを初開催。京都に拠点を持つアニメ・ゲームの制作会社と就職希望者のマッチング企画や、アニメ業界、ゲーム業界の関係者を招いて、キャリアセミナーを行う。出展者数は16企業（京都のアニメ制作会社：5社、ゲーム会社：11社）、参加人数は271名。

## 京都国際マンガ・アニメフェア2018

京都国際マンガ・アニメフェア2018
KYOTO INTERNATIONAL MANGA ANIME FAIR

**■他イベントや非コンテンツ企業との連携と成果**

・マンガ・アニメ作品と京都企業10社とのコラボ商品を新たに69種開発・販売。
・地元・ 行政による文化イベント、アニメ好きを対象とした街コン、博物館や神社仏閣、人気観光地での展示会やコラボ企画、百貨店でのグッズ販売の展開などの連携により、広域的な賑わいを創出。



## 吉祥寺アニメワンダーランド2018











会　期：2018年９月27日（木）～10月14日（日）
会　場：吉祥寺駅周辺（武蔵野公会堂／吉祥寺シアター／井の頭公園ステージほか）
主　催：吉祥寺ウェルカムキャンペーン委員会
（武蔵野商工会議所／武蔵野市商店会連合会／吉祥寺活性化協議会）
後　援：武蔵野市／（一財）武蔵野市開発公社／東京都／
経済産業省関東経済産業局
協　賛：富山県南砺市／animate／吉祥寺ハロウィンフェスタ／稲垣薬局／
リベスト／㈱武蔵境自動車教習所／吉祥寺第一ホテル／FUTABA㈱／
東京トヨペット㈱／Simple Swing Golf／ウテナ産業㈱／西武信用金庫／
吉祥寺ダイヤ街／吉祥寺コスモ／㈱らしんばん／キリンビール㈱
協　力：手塚プロダクション／アスミックエース／ロクリン社／タツノコプロ／
東北新社／スタジオデーン／コアミックス／
ノース・スターズ・ピクチャーズ／STUDIO4℃／
チェブラーシカ・プロジェクト／冴羽商事／Φ phy(ファイ)／
Ａ吉スタジオ／プロダクションI.G／フロンティアワークス／
ツインエンジン／エイケン／エポック社／BANDAI SPIRITS／アニメイト／
らしんばん／博報堂／ヴィレッジヴァンガード／ウェーブ／GSIクレオス／
成蹊大学漫画研究会ペルシャ猫／山野楽器／関東バス／西武バス／
小田急バス／J：COM武蔵野・三鷹（順不同）
対　象：市内外の外国人を含む来訪者及び一般のアニメファン
公式サイト：http://www.kichifes.jp/wonderland/home.html

総来場者数：26,700人

**■開催内容**

吉祥寺は、数多くのアニメスタジオが存在し、クリエイターも多数在住していることから、多くのアニメ作品が生み出され、また作品の舞台となってきました。そこで1999年度より、吉祥寺を「作品が生まれるまち」と位置づけ、地元ゆかりのスタジオやクリエイターを中心に、自治体や地域商店街、大型店等とコラボレートしてアニメイベントを毎年開催し今年で20周年を迎えました。

イベントは毎年10月に開催され、その年のメインビジュアルを選出しそのキャラクター達がポスターやフラッグとなり吉祥寺のまち中に掲げられ、吉祥寺はアニメ一色に染まります。イベント内容も多彩で武蔵野公会堂のアニメ上映会や井の頭公園の野外ステージイベント・ 森の映画会、まちなかファミリーステージ、親子アニメプラモデル教室、大型店のコラボカフェ、ハイレベルなコンペティション映画祭として認知度が高まっている「吉祥寺アニメーション映画祭」など、三世代で楽しめるイベントを開催しております。

2018年は手塚治虫生誕90周年を迎えた「手塚プロダクション」の諸作品をメインビジュアルに、吉祥寺全体で様々なイベントを実施しました。しかし、開催期間中の最初の土・日に台風24号が通過する関係で、大規模な屋外開催の２イベントを事前に中止するなどしたため総来場者数が激減しました。

**■2018年度の新規取り組みとその成果・特色**

メインビジュアルを手塚プロダクション歴代のヒット諸作品として使用した結果、幅広い年代層から支持され大いに盛り上がった。

手塚アニメ名作上映では、24時間TVのために作られた名作長編アニメ「海底超特急マリンエクスプレス」を上映した。他では見られない作品であったため、リアルタイムで見た世代の方々から初めて見た子供たちまで手塚キャラクター総出演で世代を超えて楽しく鑑賞して頂いた。

「夜の手塚治虫」は手塚るみ子の司会で開幕されたトークイベント。山田玲司、きたがわ翔、田中圭一、喜国雅彦、国樹由香、Drマクガイヤー、奥野晴信各氏による絶妙なトークにより手塚治虫の本性・人間性が明かされ、手塚作品の神髄が語られた。

「吉祥寺アニメーション映画祭」は、少人数でアニメーションを制作している作家の作品を、吉祥寺周辺のスタジオ会社に講評してもらいグランプリなどの各賞を選考する映画祭。審査委員には委員長の竹熊健太郎、氷川竜介、津堅信之、

## 吉祥寺アニメワンダーランド2018

STUDIO4℃、コアミックス、スタジオデーン、プロダクションI.G。そして、ゲスト審査員には、森本晃司、タツノコプロから笹川ひろし、本映画祭で数々の賞を受賞した青木純が今年から加わりました。

**■他イベントや非コンテンツ企業との連携**

吉祥寺の大型店や書店、公立図書館、カフェがアニメをテーマに期間中イベントと連携して実施しました。

○大型店のユニクロ吉祥寺店やキラリナ吉祥寺の店舗で制作するTシャツやトートバックの図案に手塚作品を使用。
○吉祥寺パルコでは「ぬまがさワタリの絶滅どうぶつ図鑑展」、「ひつじのショーン」をイメージした美味しいメニュー。
○丸井吉祥寺店では「タツノコ55YEAR in 丸井吉祥寺店」を開催し、親子で楽しめる様々な企画。
○BOOKSルーエでは書籍のカバーを手掛けたイラストレーターの複製原画や映画場面写真のパネル展示。
○吉祥寺図書館では昨年度開催の「吉祥寺アニメーション映画祭」受賞作品の上映と今年度の宣伝。
○サンロード商店街では10人の江口寿史GIRLSのフラッグをサンロードに掲示。
○アートサロン和錆では水森亜土ちゃんをイメージしたカフェで「ネコのミータンおめかしタコライス」を販売。





## マジカル福島2018














会　期：2018年9月29日（土）～10月8日（月・祝）
会　場：福島県田村郡三春町「さくら遊学舎」他／福島県白河市／伊達市
主　催：マジカル福島実行委員会
対　象：福島県内外のサブカルを愛する全ての皆様
公式サイト：http://magicalfukushima.com/

総来場者数：57,200人（国内入場者数：57,000人　海外入場者数：200人）
出展社数：153社
出展参加国と地域数：日本国内のみ
プレス社数：5社

**■開催内容**

福島県で開催されるアニメ・マンガ、ゆるキャラ、ヒーローなどサブカルチャーを中心とした、本気で遊ぶ文化祭。今回で3度目の開催。①伊達なアニメフェス、②白河キャラ市、③マジカルフェスティバル、④Adventures in 会津の4つのイベントが協力し、本気（マジ）の福島を発信しました。

一部開催日に台風が直撃したこともありましたが、根強いファンの皆様や出展者の皆様のご尽力によって5万人を超える来場者を得る事が出来、またボランティアスタッフの皆様の素晴らしい活躍と奮闘に支えられ、来場者満足度の高いイベントとなりました。

**■2018年度の新規取り組み**

本年は大人気のご当地アイドルやご当地ヒーローを公式アンバサダーに任命し、より一層の周知を図りつつ、アイドルのライブやヒーローショーなど幅広い世代に楽しんで頂けるイベントを目指しました。

**■非コンテンツ企業との連携**

富士通ネットワークソリューションズさんのご協力により、インターネット接続をせずに「アプリを通じて待機時間に特別映像が観れる」サービスを実施しました。

## きものサローネin日本橋2018

KIMONO SALONE IN NIHONBASHI

会　期：・前期10月5日（金）～7日（日）・後期10月13日（土）～14日（日）
会　場：・前期　YUITO　【きものカーニバル】（日本橋室町野村ビル5・6階）
　　・後期　日本橋三井ホール【きものコレクション】（COREDO室町１ 4・5階）
主　催：きものサローネin日本橋　実行委員会
後　援：経済産業省／京都府／京都織物卸商業組合／東京織物卸商業組合／
　　名古屋織物卸商業組合／西陣織工業組合
特別後援：三井不動産㈱／野村不動産㈱
会場協力：日本橋三井ホール／野村コンファレンスプラザ日本橋
対　象：一般来場者・業界関係者
公式サイト：http://kimono-salone.com

総来場者数：9,960人
出展社数:120社
プレス社数：約50社

**■開催内容**

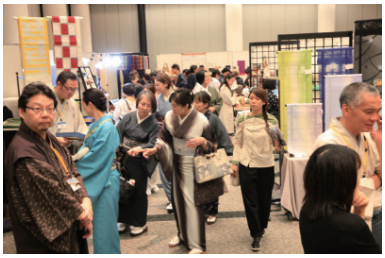
●各会場の来場者数（YUITO会場5,800人、三井ホール会場4,160、合計9,960人。

●YUITO【きものカーニバル】／出展者による物販の総販売額は過去最高となり、これまで以上に多くの方々がショッピングを楽しまれました。販売はきものと交流する機会提供の一つにすぎませんが、市場の購買マインド傾向の把握とイベントの盛り上がり度合を表わす指標となりました。
　100体コーデの人気投票アンケートは450人の方からアンケートが寄せられました。「人気ランキングベスト20」など、内容をWebでご紹介しました。
　今回の大きな特徴として「これまで以上に来場者の滞留時間が長かった」ことと述べています。これは来場者の満足度を示すものとして注目されます。

●日本橋三井ホール【きものカーニバル】／ステージイベントは10月13日「TKC（東京きものコレクション）」4メゾンのショー。10月14日振袖コレクション等の3ステージショーいずれも超満員の熱気に包まれました。TKCはコ・フェスタイベントであるAmazon Fashion Week TOKYOと連携したイベントとして開催され、またショーの観覧を楽しむ場の提供にとどまらず、こうしたデザイナーズブランドの発表が問屋、小売店にとってもビジネスリンクする機会を発生させたことは、サローネがビジネスへと発展させる孵化装置としての機能を備えたイベントでもあることを示しました。

**■2018年度の新規取り組み**

・YUITO会場にて、きもの、畳、お茶、お花の4団体による「チームj-culture 2020」とのコラボ企画「和文化体験プログラム　映画『日日是好日』から学ぼう」を開催し大好評を得ました。東京オリンピック・パラリンピックに向けて広く和の文化を醸成していくことが出来ました。
・日本橋三井ホールにて「学生きもの優秀作品展」を開催。8校の大学・専門学校から19作品の出品をいただき展示。次代を担う新しい感性の育成、励ましの場として好評でした。

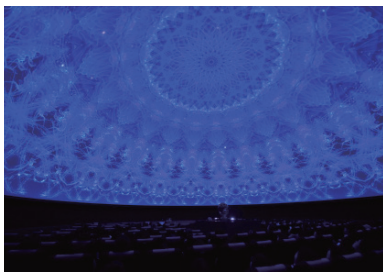







## No Maps 2018














会　期：2018年10月10日（水）～10月14日（日）
会　場：札幌市内中心部のホール等をはじめとした札幌市内広域
主　催：No Maps実行委員会
後　援：（一社）北海道モバイルコンテンツ・ビジネス協議会／
（特非）札幌ビズカフェ／（一社）北海道情報システム産業協会／
（一社）北海道IT推進協会／（一社）コンサートプロモーターズ協会／
（一社）日本音楽制作者連盟／（一社）日本音楽事業者協会／
（一社）音楽産業・文化振興財団／（一社）日本音楽出版社協会／
（特非）札幌市IT振興普及推進協議会／北海道音楽関連事業協会／
㈱中小企業基盤整備機構 北海道本部／
（一社）北海道オープンデータ推進協議会／（一社）北海道広告業協会
対　象：ビジネスマン、クリエイター、一般参加者
公式サイト：https://no-maps.jp/
総来場者数：22,539人
総事業数：105事業
会場数：32会場
出展社数：13社・団体

**■開催内容**

No Mapsは、札幌・北海道という象徴的な開拓の地で、クリエイティブな発想や技術によって次の社会を創ろうとする“現代的フロンティアスピリット”を持った人たちのためのコンベンション（人、情報、知識、者などの交流の場）として、2017年に本格開催初年度を迎えました（2016年にプレ開催）。2018年度は本格開催2年目となりました。

先端テクノロジーや斬新なアイデアを核とした「新しい価値観／文化／社会の姿」を提案するビジネスコンテンツをテーマに、新たなビジネスを生み出し、加速させるための場を提供するため、「会議（Conference）」「展示（Exhibition）」「興行（Event）」「交流（Meet-up）」「実験（Experiment）」の5つの事業区分を掲げて105事業を展開し、22,539人が来場しました。

**■2018年度の新規取り組みとその成果**

**○会議（Conference）**

「新しい価値・文化・社会の姿」を提案するコンテンツやビジネス等を題材に、No Maps Business Conference 2018を核として、40の関連事業を行い、来場者に情報の受発信や議論、創発などの場を提供しました。

事業数：47件
来場者数：3,067人
主なテーマ：
＃地方創生 ＃人工知能 ＃一次産業TECH ＃これからの教育＃観光×TECH
＃スタートアップ ＃ドローン ＃コンテンツビジネス ＃イノベーション
＃ブロックチェーン ＃宇宙ビジネス ＃IoT ＃マーケティング ＃サスティナブル
＃次世代モビリティ ＃クリエイティビティ ＃働き方改革 ＃メディアアーツ
＃映像制作・配信 ＃震災対応など

**○展示（Exhibition）**

「新しい価値・文化・社会の姿」を提案する新技術やコンテンツ、サービス等の展示／発見の場を提供することを目的に、チカホでは、No Maps Touch the NEW Streetとして多様な技術展示を展開。学生のメディアアーツ作品の展示や、インタラクティブな体験展示なども行いました。

事業数：6事業
出展企業数：13社・団体
来場者数：5,976人
主な事業：
・No Maps Touch the NEW Street･･･新たな製品・サービス、技術を体感してもら

## No Maps 2018

Sapporo Creative Convention NoMaps

う場として開催。
・ローカルクリエイターズエキシビション・・・北海道内の学生のメディアアーツ作品展示などを実施。
・「New build」プロジェクト・・・現代アートで廃ビル内をメディア化するプロジェクトを実施。



**○興行（Event）**
短編映画祭や市街地のライブサーキットなどを中心に、市民が気軽に参加しやすい体験型イベントの形で、新たなコンテンツを体感したり、新たな技術を体験できる場を提供しました。

事業数：45事業
来場者数：13,034人
主な事業：
・札幌国際短編映画祭・・・3,600以上の応募作品の中から選りすぐったショートフィルムを上映
・No Maps Music Weekend・・・中心市街地のライブハウスを渡り歩くライブサーキット、アイドルライブ、学生の音楽活動の発表の場など、ジャンルもコンセプトも異なる多数のライブを開催。
・VRドームムービーセレクション＆プラネタリウムライブ2018・・・プラネタリウムでのドームムービー上映などを実施。

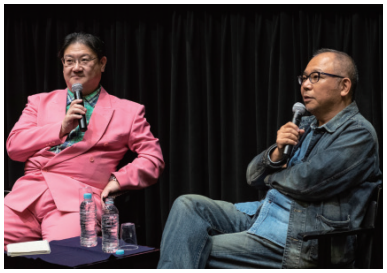
**○交流（Meet-up）**
登壇者、出演者、来場者、関係者ら、「新しい価値・文化・社会の姿」に関心のある多様な人たちが自由に出会い、つながり、さらなる価値を紡ぐためのネットワーキングの場を多数提供しました。

事業数：16事業
来場者数：1,536人

**○実験（Experiment）**
狸小路商店街の道路占有許可所得によるNo Mapsエリア化など、街をメディア化する取組を行ったほか、配送ロボットの実証実験など新技術にかかる実験事業を展開しました。

No Maps開催期間中に実施した実証事業：
・狸小路商店街5丁目エリアの「No Maps化」実験
・配送ロボットユースケースデモンストレーション
・みらい型ショッピング体験at東急百貨店

## 第10回京都ヒストリカ国際映画祭











会　期：2018年10月27日（土）～11月4日（日）／10月26日（金）…前夜祭
会　場：京都文化博物館
主　催：京都ヒストリカ国際映画祭実行委員会
（東映㈱／京都撮影所／㈱松竹撮影所／京都府／立命館大学／
京都文化博物館／㈱東映京都スタジオ／巖本金属㈱／
㈱ディレクターズ・ユニブ）
共　催：KYOTO CMEX実行委員会
後　援：（一社）日本映画製作者連盟／（一社）外国映画輸入配給協会／
（一社）日本映画テレビ技術協会
協　力：京都クロスメディア推進戦略拠点／ヴェネチア国際映画祭／
イタリア文化会館－大阪／国際交流基金京都支部／国立映画アーカイブ／
KYOTO V-REX実行委員会／出町座／とよず
協　賛：㈱テスパック／三井ガーデンホテル京都四条／TSUKUMO
助　成：芸術文化振興基金
対　象：一般
公式サイト：http://historica-kyoto.com/

総来場者数：2,287人

**■開催内容**

京都ヒストリカ国際映画祭、通称「HISTORICA」・「KHIFF」は、ジャンル映画祭として世界でただひとつ「歴史」をテーマにした国際映画祭です。また、国内外から若手フィルムメーカーを募集し、合宿形式で撮影所で短編時代劇を制作するワークショップ「京都フィルムメーカーズラボ」や、時代劇の企画ピッチングプロジェクト「企画市」などを実施し、“時代劇・歴史劇”をテーマに国際的な交流のハブとなることを目指しています。

歴史をテーマにした世界で唯一の国際映画祭として、映画祭の最注目作品を上映する【ヒストリカ・スペシャル】、映画界で注目を集めた新作をセレクトした【ヒストリカ・ワールド】、新作歴史映画5作品を含む全29作品の上映。世界三大映画祭の一つ、ヴェネチア国際映画祭との連携を実現し、ヴェネチア国際映画祭でプレミア上映があった『恋や恋なすな恋』をデジタル復元版で上映した他、VR映画『Chromatica』の日本初上映を行った。また、28年度の京都ヒストリカ国際映画祭で日本初上映を行ったインド映画『バーフバリ』がインド映画史No.1の興行収入を記録したことや映画祭10周年を記念して、絶叫上映というインドスタイルでの上映を行った。さらに、国内外のゲストが登壇して歴史映画を語るトークショーも開催し、それぞれの魅力や楽しさの再発見につなげるとともに、今年も昨年に引き続き「HISTORICA×VR」を開催し、VRコンテンツの制作企業を集め、体験ブースやセミナーも実施した。

**□上映作品**

◆ヒストリカ・スペシャル（“今”見るべき最注目作品）
『恋や恋なすな恋』日本｜1962｜日本初上映
『バーフバリ　伝説誕生』インド｜2015
『バーフバリ　王の凱旋』インド｜2017
◆ヒストリカ・ワールド（世界の最新歴史映画）
『欲望に誘われて』フランス｜2018｜日本初上映
『乙女たちの秘めごと』フランス・ベルギー｜2017｜日本初上映
『旅芸人』ハンガリー｜2017｜日本初上映
『アイスマン』ドイツ、イタリア、オーストリア｜2017｜日本初上映
『ノベンバー』エストニア、オランダ、ポーランド｜2017｜日本初上映
◆ヒストリカ・フォーカス（内田吐夢・沢島忠の時代劇）
『血槍富士』日本｜1955
『妖刀物語・花の吉原百人斬り』日本｜1960
『ひばり・チエミの弥次喜多道中』日本｜1962
『白馬城の花嫁』日本｜1961

## 第10回京都ヒストリカ国際映画祭

Kyoto HISTORICA International Film Festival

『殿さま弥次喜多』日本｜1960
◆ヴェネチア国際映画祭提携企画
『Beautiful things』イタリア｜2017｜日本初上映
『Chromatica』イタリア｜2017｜日本初上映　※VR映画
◆ヒストリカ・ディケイド（ヒストリカ10年間の傑作集）
『チャン・ウチ　時空道士』韓国｜2009｜第2回上映作品
『黄山ヶ原』韓国｜2003｜第3回上映作品
『アイアンクラッド』イギリス、アメリカ、ドイツ｜2011｜第4回上映作品
『ソード・アーチャー　瞬殺の射法』中国｜2012｜第5回上映作品
『黄金』ドイツ｜2013｜第6回上映作品
『彷徨える河』コロンビア、ベネズエラ、アルゼンチン｜2015｜第7回上映作品
◆ヒストリカ10周年記念プログラム
明治150年事業・京都府デジタルリマスター人材育成事業
『折鶴お千』日本｜1935
京都映画三巨匠生誕120周年記念上映　―内田吐夢・溝口健二・伊藤大輔―
『幕末剣史　長恨』日本｜1926
『忠治郎日記』日本｜1927
『瀧の白糸』日本｜1933
『警察官』日本｜1933
『ふるさとの歌』日本｜1925
『斬人斬馬剣』日本｜1929
『汗』日本｜1930
◆京都フィルムメーカーズラボ スクリーニング
～カムバックサーモン・プロジェクト～
『十年　Ten Years Japan』日本｜2018｜日本初上映
木下雄介　ほか4名の監督によるオムニバス作品
□ゲスト
中村 扇雀［歌舞伎役者］、ヴァレンティーナ・ヴェッローモ［ビエンナーレ・カレッジ・シネマ責任者］、クレマン・シュナイダー［映画監督］マリーヌ・フランセン［映画監督］ジョルジョ・フェレロ［映画監督］、フラヴィオ・コスタ［映画監督］、大寺眞輔［映画評論家］、木下雄介［映画監督］、高松美由紀［プロデューサー］、飯星景子［作家・タレント＋ヒストリカ・ナビゲーター］等






**■2018年度の新規取り組み**

10周年を記念して、2018年度の京都府デジタルリマスター人材育成事業でデジタル復元した『折鶴お千』（サイレント）と、「京都映画三巨匠生誕120年記念上映―内田吐夢・溝口健二・伊藤大輔」と題して三巨匠の初期のサイレント映画の特集上映を活弁・生演奏付きで実施。

**■他イベントとの連携**

ヴェネチア国際映画祭と連携し、ヴェネチア国際映画祭の若手映画作家育成プロジェクトで製作された作品の上映を実施（うち1本はVR作品）。

## MPTE AWARDS 2018 第71回 表彰式











会　期：2018年10月30日（火）
会　場：六本木アカデミーヒルズ49 オーディトリアム
主　催：（一社）日本映画テレビ技術協会
後　援：経済産業省／（一社）映画産業団体連合会／（一社）日本映画製作者連盟／
（公財）ユニジャパン／（公社）映像文化製作者連盟／
（一社）外国映画輸入配給協会／全国興行生活衛生同業組合連合会／
（特非）映像産業振興機構／（一社）日本映像ソフト協会／
（一社）日本アド・コンテンツ制作協会／
（一社）日本ポストプロダクション協会／日本放送協会／
（一社）日本民間放送連盟／（一社）全日本テレビ番組製作社連盟／
（協組）日本映画監督協会／（協組）日本映画撮影監督協会／
（協組）日本映画・テレビ照明協会／
（協組）日本映画・テレビ美術監督協会／
（協組）日本映画・テレビ録音協会／（協組）日本映画・テレビ編集協会／
（公社）日本照明家協会／（特非）テレビ日本美術家協会／
（特非）日本ビデオコミュニケーション協会（順不同）
対　象：映像技術に興味をお持ちの方どなたでも（受賞関係者以外もご参加頂けます）
公式サイト：http://www.mpte.jp/
総来場者数：170人
プレス社数：10社

**■開催内容**

1947年の創立以来、制作現場で技術に携わっておられる方々を表彰する日本で唯一の賞として、映像制作技術の進化と制作意欲の向上を目的に、長年実施しているMPTE AWARDS。毎年、1月～3月に該当年度の応募を受け付け、4月～9月には、そのジャンルごとの技術者・総勢130名を審査員に迎え、厳正な審査会を都度実施し、受賞を決定している。

2018年は、「第71回技術開発賞」、「第71回映像技術賞」、「第36回青い翼大賞（学生作品の映像技術賞）」、「第21回経済産業大臣賞（日本映画テレビ技術大賞）」の授与を行った。技術開発賞では現場開発だけではなく、産業分野からの応募も多く、4K/8K、AI、配信等、時流を反映した開発物件が多く見受けられたことが紹介された。映像技術賞に関しては、撮影・照明・録音・音声・美術・編集・アニメーション・VFX・OAGの各分野をそれぞれ表彰。監督からのお祝いメッセージなどを上映した。同技術賞の学生作品版である青い翼大賞では、チームの一体感・躍動感が突出していた意欲作1本を表彰し、当日はゲストを交えた花束贈呈も行なった。

前回、協会創立70周年という節目を迎え、新たな幕開けと題したAWARDS。現在は映像コンテンツを誰しも気軽に発信できるようになり、製作環境は急速に変化し続けている。だが、どの様な時代になろうとも、映像を創るのは人＝技術者の皆様。これから映像業界を目指す次世代の技術者達に意欲と勇気を与えることが出来る意義ある顕彰活動であるよう、次回に向け益々の発展を約束し、閉会した。

# 第9回 映文連 国際短編映像祭「映文連アワード2018」

JAAP AWARDS

会　期：2018年11月26日（月）～28日（水）
会　場：表彰式：国立新美術館講堂　　上映会：ユーロライブ
主　催：（公社）映像文化製作者連盟
後　援：文部科学省／経済産業省／東京都／（特非）映像産業振興機構／
（一社）日本映画テレビ技術協会／（一社）日本アド・コンテンツ制作協会／
（一社）日本ポストプロダクション協会／（協組）日本映画撮影監督協会／
（協組）日本映画テレビ照明協会／（一財）デジタルコンテンツ協会／
㈱毎日新聞社／㈱日本経済新聞社／㈱朝日新聞社／
㈱読売新聞東京本社／㈱映像新聞社／㈱ユニ通信社
対　象：一般、学生、映像制作関係者
公式サイト：http://www.eibunren.or.jp/award2018/index.html

総来場者数：750人
プレス社数：4社

**■開催内容**

2007年に創設されたわが国唯一の産業・文化関連の短編映像祭「映文連アワード2018」表彰式は、11月26日（月）午後1時30分から国立新美術館講堂において開催し、最優秀作品賞（グランプリ）を始め、31作品の受賞者に賞状とトロフィーを授与した。式典では、まず部門優秀賞が二次審査員によって授与され、続いて住田望アワード実行委員長より、企画優秀賞、技術賞、企画奨励賞、審査員特別賞が、i賞（個人賞）と準グランプリが塚田会長により授与され、文部科学省初等中等教育局 情報教育・外国語教育課長の髙谷浩樹氏より文部科学大臣賞が、経済産業省 商務情報政策局 コンテンツ産業課長の高木美香氏より経済産業大臣賞がそれぞれ授与された。最後に塚田会長より『からだの中の宇宙 高精細映像が解き明かす』で最優秀作品賞（グランプリ）を受賞したヨネ・プロダクションに賞状とトロフィーが授与された。

「映文連アワード2018」受賞作品上映会は27日（火）28日（水）に渋谷・ユーロライブにおいて開催し、受賞作品31本を6プログラム（「次世代のクリエーターたち」「ミクロコスモスから、マクロコスモスへ」「コーポレート映像の今」「語り継ぐ ものがたり」「今を生きる　三人の女性たちの挑戦」「日本の伝統と技」）に分けて上映した。Aプログラム「次世代のクリエーターたち」では、上映後のトークセッション「僕が短編映画で描きたかったこと」において受賞監督に集まってもらい、作品に込めた思いや映画の表現方法について話を聞いた。モデレーターは、二次審査委員の安藤紘平氏。Eプログラム「今を生きる　三人の女性たちの挑戦」では、「日本の芸能　浪曲の世界を描く」と題して、審査員特別賞を受賞した『噂の玉川奈々福　キネマ更紗』に出演の浪曲師玉川奈々福さんと曲師沢村豊子さん、田島空監督に参加してもらい、ゲストトークを開催。人気の浪曲師がゲストとあって多く方々が参加した。聞き手は、同じく二次審査委員の谷川建司氏。

27日夜は、「International Corporate Film Showing 2018」を開催し、ドイツのWorld Media Festival、米国のU.S. International Film & Video Festival、Cannes Corporate Media &TV Awardsから招聘した映像祭で受賞した企業映像15作品を上映した。女性MC（栗林さみ）が進行を務め、海外の映像祭へ参加した地方局の制作者を迎えてトークを実施。上映後は、懇親会を開催して交流をはかり、盛況のうちに終えた。

**■2018年度の新規取り組みとその成果・特色など**

・「映文連アワード」受賞作品上映会は、6プログラムに分けて上映を行ったが、プログラムC「コーポレート映像の今」に多くの来場者があった他、今回は、Eプログラム「今を生きる　三人の女性たちの挑戦」において、審査員特別賞を受賞した『噂の玉川奈々福　キネマ更紗』の上映とともに人気の浪曲師玉川奈々福さん他をゲストトークにお呼びしたため、ファンの方はもとより関心のある方々に数多くご来場頂き、たいへん盛り上がった。



コーポレート部門優秀賞


受賞者記念撮影


グランプリ授与



次世代のクリエーター


上映会場


玉川奈々福ゲストトーク

## JVAフェスタ2018〜美事祭













会　期：2018年11月20日（火）〜25日（日）
会　場：調布市文化会館たづくり
主　催：NPO法人日本映像美術協議会
共　催：調布市／調布市文化・コミュニティー振興財団／日本舞台美術家協会／
　　日本映画テレビ美術監督協会
後　援：文化庁／（特非）映像産業振興機構／（協組）日本映画テレビ照明協会／
　　調布エフエム放送㈱

総来場者数：1,578人
出展社数：18社
プレス社数：3社

**■開催内容**

映像美術という仕事を広く一般の方々にご理解いただくことを目的し、実際の撮影に使用されたテレビドラマのセット展示、会員各社の仕事内容のパネル展示、未来の映像美術家と題し多摩美術大学・ 城西国際大学の学生さんの作品展示、協力団体の方々の作品展示、なりきり体験として来場された方のうち希望者に衣裳を着ていただいたり特殊メイクを経験していただきました。

また、JVA賞と題し、会員各社から出品された作品の投票も行われ、後日審査投票結果をもとに表彰式を行いました。

**■2018年度の新規取り組み**

2018年最も当会で話題になった事柄の一つが「働き方改革」でした。映像美術業界はマンパワーにより動く仕事である為いかに対応するかに会員社の関心が集まり、研修会を開催したところ多数の参加がありました。

## 第12回アジア国際子ども映画祭

会　期：平成30年11月24日（土）
会　場：北海道北見市民会館
主　催：アジア国際子ども映画祭実行委員会
共　催：外務省／江別市／江別市教育委員会／南あわじ市／
南あわじ市教育委員会／美祢市教育委員会／指宿市／指宿市教育委員会／
南城市／南城市教育委員会／北見市／北見市教育委員会
後　援：法務省／経済産業省／北海道／北海道教育委員会／美祢市／大月市／
大月市教育委員会／大野市／大野市教育委員会／
（公財）ブルーシー・アンド・グリーンランド財団／
（公財）北海道青少年育成協会／（一社）北海道子ども会育成連合会／
NHK北見放送局／北海道放送㈱／STV札幌テレビ放送／
北海道テレビ放送㈱／北海道文化放送㈱／㈱テレビ北海道／
朝日新聞北海道支社／報知新聞社北海道支局／㈱北海道新聞社／
北海道日刊スポーツ新聞社／㈱毎日新聞北海道支社／
㈱読売新聞北海道支社／㈱産経新聞社札幌支局／
㈱AIR-G' エフエム北海道／㈱FMオホーツク／㈱伝書鳩／
旭川市教育委員会／帯広市教育委員会／釧路市教育委員会／
根室市教育委員会／網走市教育委員会／紋別市教育委員会／
美幌町教育委員会／津別町教育委員会／斜里町教育委員会／
小清水町教育委員会／置戸町教育委員会／佐呂間町教育委員会／
湧別町教育委員会／滝上町教育委員会／興部町教育委員会／
西興部村教育委員会／雄武町教育委員会／北見商工会議所／
（一社）北見観光協会
協　賛：エイベックス㈱／ピグマリオンホールディングス㈱／㈱タカラ／
㈱テイチクエンタテインメント／㈱ポニーキャニオン
協　力：文化庁／㈱ 杉友／㈱ライジングプロダクション／㈱ボイスミュージック／
㈱LDH JAPAN／アセアン事務局／日中友好会館／日韓文化交流基金／
国際交流基金アジアセンター／JICE日本国際協力センター／㈱メロン／
乃木坂46合同会社
対　象：小学生、中学生、高校生及びそれらの年齢に相当する個人、またはグループ
公式サイト：http://asianfilm.chu.jp

総来場者数：1,200人（国内入場者数：1,033人　海外入場者数：167人）












**■開催内容**

**映画祭：11月24日（土）**

子どもたちが自らの手で3分間の映画作品を作成し、その中から優秀作品を選出し、上映・表彰を行った。

国内212作品と海外253作品の合計465作品が応募された。作品のテーマは「自己責任」。

杉良太郎氏をはじめ4名の審査員により優秀作品が選出された。各賞は杉良太郎特別賞、法務大臣賞、外務大臣賞、文部科学大臣賞、経済産業大臣賞、優秀賞3作品、入賞3作品、審査員特別賞。

表彰プレゼンターとして、杉良太郎名誉会長、伍代夏子、石田純一、w-inds.、川栄李奈、GENERATIONS from EXILE TRIBEの数原龍友、小森隼、乃木坂46の鈴木絢音が出演した。

**国際交流：11月21日～11月25日**

北見市のウェルカムセレモニーが北見市民会館小ホールで行われ、北見市より記念品の贈呈があった。学校訪問では、市内の大学・専門学校・高校などで体験学習を実施し、各学校の特色を生かした交流で、日本の社会福祉の状況を体感するとともに、着付けや茶道、書道など日本の文化や遊びを体験した。

また、国内映画制作者や関係者を含め400人が参加する交流会を実施。各国の伝統芸能などパフォーマンスがあり、参加者全員でテーマ曲を合唱し交流を深めた。映画祭終了後には作品制作者同士が交流するアフターパーティーを開催。なお、ア

## 第12回アジア国際子ども映画祭

ジア12カ国・地域の子どもたちによる成果報告会も実施された。報告会後のパフォーマンスでは北見市内の子どもたちも民謡や和太鼓、ソーラン踊りなどで参加し、一緒に踊る交流の輪が広がっていた。

## ヨコハマ・フットボール映画祭2019

会　期：2019年2月16日（土）～17日（日）
会　場：横浜市・開港記念会館
主　催：ヨコハマ・フットボール映画祭実行委員会
対　象：国内外のサッカーファン、サポーター、映画ファン
公式サイト：http://yfff.org
総来場者数：過去最多 2,000人（国内入場者数：1,990人　海外入場者数：10人）
出展社数：16社（国内出展社数：16社　海外出展社数：0社）
出展参加国と地域数：1の国と地域




**■開催内容**

毎年100本近く制作されるサッカー映画の中から、日本のサッカーファン、サポーターと共に楽しみたい映画を上映するヨコハマ・フットボール映画祭。

9回目となる今回は、ワールドプレミア1作品、ジャパンプレミア4作品を含む15作品の上映となり、過去最大規模での実施となりました。

会場の開港記念会館（1917年創建、重要文化財）の特性を活かし、3つのシアターでの上映、さまざまなサッカーカルチャーが体験できるフットボール文化祭、トークイベントを2本、同時開催しました。




【上映作品】
『ドーハ1993＋』ワールドプレミア
　監督：植田朝日　　出演：柱谷哲二、都並敏史、北澤豪
　登壇ゲスト：植田朝日（監督）、磯佳奈江（NMB48）
『蹴る』
　監督：中村和彦　　出演：永岡真理、東武範、北澤豪
　登壇ゲスト：中村和彦（監督）、永岡真理（電動車椅子サッカー選手）
『ボールを奪え、パスを出せ　-FCバルセロナ最強の証（あかし）-』
　監督：ダンカン・マクマス　　出演：メッシ、シャビ、イニエスタ、ピケ
　登壇ゲスト：オクタビ・アノロ（ラ・リーガ日本）、小澤一郎（ジャーナリスト）
『ワーカーズカップ』ジャパンプレミア
　監督：アダム・ソーベル　　字幕制作：ヨコハマ・フットボール映画祭
『カイザー!』ジャパンプレミア
　監督：ルイス・マイルス　　出演：カイザー、ジーコ、ベベト
『MARIO』ジャパンプレミア
　監督：マルセル・ギスラー
『ホペイロの憂鬱』
　監督：加治屋彰人　　出演：白石隼也、水川あさみ、佐野史郎
　登壇ゲスト：加治屋彰人（監督）、川崎貴成（俳優）
『オール・オア・ナッシング ～マンチェスター・シティの進化～』
　監督：マニュエル　ウエルガ　　出演：アグエロ、グアルディオラ他
　登壇ゲスト：内藤秀明、Leo the football
『冷たい汗』
　監督：ソヘイル・ベイラギ
『ピッチの上の女たち』
　監督：ジュリアン・アラール
　登壇ゲスト：嶋田千秋（日体大FIELDS横浜）
『わがチーム、墜落事故からの復活』
　監督・脚本：ジェフ＆マイケル・ジンバリスト
『足球少年養成－高校選手権チャイニーズレポート－』ジャパンプレミア
　監督：蔡秋德、王京
　登壇ゲスト：王京（監督）蔡秋德（監督）、JOJO（出演）
『Sittin' On The Higher Ground』
　監督：和田拓也　　出演：Ko-suke、横田陽介
　ゲスト登壇：和田拓也（監督）、Ko-suke（フリースタイルフットボーラー）、横田陽介（フリースタイルフットボーラー）ほか
『アーリーマン ダグと仲間のキックオフ日本語吹き替え版』
　監督：ニック・パーク







## ヨコハマ・フットボール映画祭2019







『ジョホールバル1997』
　監督：植田朝日　　出演：岡田武史、井原正巳、岡野雅行

**■2018年度の新規取り組みとその成果・特色など**
　映画上映以外にトークイベントを2つ同じ会場で開催し、小説や旅でサッカーを楽しむ方法を提案しました。

ディス・イズ・ザ・デイにあるサッカーを愛せよ漫遊記
　登壇者：津村記久子（『ディス・イズ・ザ・デイ』著者、芥川賞、川端康成賞受賞作家）、宇都宮徹壱（ジャーナリスト、写真家）、ロック総統（サッカー文化革命家）

蹴球フクロウは旅とサッカーの夢を見る　OWL MAGAZINEキックオフイベント
　登壇者：宇都宮徹壱（ジャーナリスト、写真家）、峰麻美（タレント）、中村慎太郎（作家、ライター、OWL MAGAZINE編集長）

**■他イベントや非コンテンツ企業との連携**
　アパレルメーカーgol.とのコラボレーションにより「映画祭オリジナルTシャツタイダイ染めワークショップ」を実施しました。

# 東京アニメアワードフェスティバル2019

会　期：2019年3月8日（金）～11日（月）
会　場：東京・池袋
主　催：東京アニメアワードフェスティバル実行委員会／（一社）日本動画協会
共　催：東京都
後　援：アニメーション美術家連盟／（公財）画像情報教育振興協会／
日本アニメーション学会／日本アニメーション協会／
（一社）日本アニメーター・演出協会／日本映像学会／
（一社）日本音声製作者連盟／（協組）日本脚本家連盟／
㈱日本貿易振興機構（ジェトロ）／（公社）日本漫画家協会／
（一社）練馬アニメーション／（公財）ユニジャパン
対　象：一般来場者／国内・海外クリエイター／招聘海外クリエイター／
アニメーション関連企業ほか
公式サイト：https://animefestival.jp/ja/
総来場者数：集計中

**■開催内容**

「東京アニメアワードフェスティバル（TAAF）」は、クリエイター、アニメーション関係者、ファンが一体となる日本を代表する国際アニメーション映画祭です。

新たな人材の発掘・育成、アニメーション文化と産業の振興に寄与すること及び、東京の魅力を発信し、東京の観光振興に資することを目的とし、『東京がアニメーションのハブになる』を合言葉に、高いクオリティとオリジナリティに富む世界中の作品を東京で上映し、世界中のアニメーションを愛する人々との交流を図り、クリエイターや観客に刺激と感動を提供し、そしてその感動や刺激を糧にアニメーションの新たな波を東京から世界へ発信した。

TAAFは、アニメーション作品とその制作者に栄誉を与えることで、世界中のアニメーション制作に携わるみなさんに勇気を与えられるようなフェスティバルでありたいと願っております。

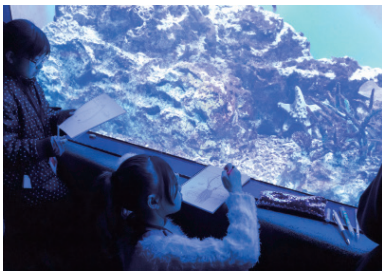
日本国内で未興行の世界のアニメーション作品を対象にした「コンペティション部門」、日本国内で発表されたアニメーション作品を対象とした「アニメ オブ ザ イヤー部門」、アニメーション業界に貢献された方々を顕彰し、先人達の歴史、技術、生き様を伝える「アニメ功労部門」を中心に、その他招待作品の上映やイベントを実施しました。

**■2018年度の新規取り組み**

故・高畑勲監督の追悼プログラムとして、高畑監督の足跡を偲ぶ上映会・トークショーを行いました。

デジタル作画ソフトウェアの展示及びデモンストレーション











## 海外パートナーイベント

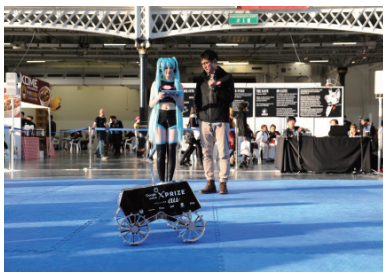
### HYPER JAPAN









会　期：HYPER JAPAN Festival 2018:  2018年7月13日（金）～15日（日）
　　HYPER JAPAN Winter 2018:  2018年11月16日（金）～18日（日）
会　場：イギリス ロンドン　Olympia London
主　催：Cross Media Ltd.
共　催：N/A
後　援：（一財）デジタルコンテンツ協会（DCAJ）／日本政府観光局（JNTO）／
　　（一社）日本動画協会（AJA）／
　　（一財）音楽産業・文化振興財団（JMCE）／
　　（一財）自治体国際化協会（CLAIR）／在英国日本国大使館／
　　㈱日本貿易振興機構（JETRO）／
　　㈱国際交流基金（The Japan Foundation）／
　　（特非）映像産業振興機構（VIPO）
対　象：一般来場者/国内・海外ビジネス来場者/プレス他
公式サイト：https://hyperjapan.co.uk/
総来場者数：両イベント合計 130,000人（7月：80,000人　11月：50,000人）
出展社数：両イベント合計 438社
　　（開催国内出展者数：353社　国外出店者数：30社　うち日系企業：55社）
プレス社数：250社（開催国内プレス社数：230社　国外プレス社数：10社　うち日系プレス社数：10社）

**■開催内容**

日本食と、ゲーム・漫画・アニメ・音楽などの日本ポップカルチャーを2つの軸とし、テクノロジー、ファッション、伝産品、観光・地方振興、伝統文化、武道など幅広い日本文化が紹介されている。会場は、ステージ、出展エリア、体験エリアの、大きく3つからなる。夏と冬のイベントではそれぞれテーマが異なり、夏のイベントはポップカルチャーを核としたフェスティバル、冬はクリスマスショッピングを核とした展示・物販イベントとなっている。

HYPER JAPAN（ハイパージャパン）は、2010年、Cross Media Ltd.代表取締役社長の丸茂和博の発案により、当時イギリスでトレンドになりつつあった日本食と、ヨーロッパ大陸で既にブームを巻き起こしていた日本ポップカルチャーを融合したイベントとして誕生した。現在世界中で多く開催されている、現地ファンコミュニティー起源のポップカルチャー中心のイベントとは成り立ちが異なる。

**■2018年度の新規取り組みとその成果・特色など**

7月開催イベントでは初めての試みとして、大手食品輸入企業 Harro Foods Ltd.と提携しB to B展示会とB to Cイベントの機能を同時に備えた食専門の展示会『JAPAN FOOD SHOW by Harro Foods Ltd.』をHYPER JAPAN内で行った。金曜日はHarro Foods Ltd.の招待するバイヤー、レストラン関係者を対象としたB to B展示会として200名が来場し、多くのビジネスマッチングの機会を創出。土・日曜日は一般来場者に開放したB to Cイベントとして、販促物配布、サンプリングの機会を提供し、業界関係者と一般消費者の双方に日本の最新の飲食品を普及させる新しい形のイベントを展開した。

11月開催イベントではVIP Media Travel Eventを初開催。英国のスポーツ専門放送局「Sky Sports」が取材に訪れ、東京オリンピック・パラリンピック2020に出場予定の女性アスリートが、日本を知る企画で来場した他、食や旅行、アニメなどに関連した英国、日本双方のジャーナリスト、プレス関係者を招待した。

**■他イベントや非コンテンツ企業との連携と成果**

**HYPER オークション**

日本の優れものをご紹介する『Pride of Japan』エリアでは一点物の陶器や古酒、貴重な商品が日本から多数出品。中でも特に貴重な品物がHYPERオークションに出品されました。ステージで行われたプレミアムオークションで落札されたのはゴジラやウルトラマンの怪獣絵でおなじみのイラストレーター開田裕治氏のデジタルプリントオリジナル作品「彼方より」（£1700）、金紋秋田酒造㈱のプレミアム古酒「山吹 1976」（£2200）、ファイナルファンタジー30周年限定小皿15枚セット（£960）など。

## HYPER JAPAN

3日間を通して随時開催された入札型のサイレントオークションでは、23年熟成古酒（£140.37）、創業300年の白河だるま（£225）、セメントお猪口（£550）、仙台箪笥（£555）などが落札された。

### Kids Zone

イベント初の設置となる『Kids Zone』（提供KIKKOMAN）は、愛知工業大学情報科学部の水野慎士教授監修「不思議なスケッチブック」やCGアニメコンテスト主催者のDoGA代表鎌田氏によるCGアニメワークショップ、HYPER JAPAN特製巨大トントン相撲が、子どもはもちろん、大人にも楽しんでいただけるアトラクションとなった。

### Sake Experience

第8回目の開催となった、同イベント内の日本酒テイスティング企画『Sake Experience 2018』は、3日間を通して約1,000人の来場者が参加した。参加者は日本の酒蔵から直接説明を受けながら、日本酒、焼酎、果実酒など様々な日本のお酒を飲み比べ、楽しんだ。今回初の試みとして日本から31蔵37銘柄の生酒を直送し、第一回生酒アワードを開催致しました。922人の一般消費者が選んだ優勝銘柄は、㈱越乃めぐみ（富山県）后28純米大吟醸だった。

## 2018年Comic Exhibition　台湾漫画博覧会










会　期：2018年8月16日（木）～20日（月）
会　場：台湾　台北世界貿易センター（Taipei World Trade Center）
主　催：中華動漫出版同業協進会
後　援：文化局
対　象：一般・出版・アニメ関係者・音楽関係者・教育関係者・玩具関係者・ゲーム関係者等
公式サイト：http://www.ccpa.org.tw/comic/
総来場者数：560,000人　※前年比107%
出展社数：約120社（総ブース数：1000ブース）
うち日系企業：ICHIBAN JAPAN AREAのみで社　その他は集計データ無し

**■開催内容**

中華動漫出版同業協進会主催の「漫画博覧会」は、1995年より開始され、2018年で19回目を迎えることになりました。台湾の夏を代表する非常に大きなイベントとして、台湾だけでなく、アジア各地からファンが駆けつける一大イベントとなっています。出展企業にとっても、漫画博覧会参加により、台湾市場および中華圏（中国・香港・マカオ・シンガポール・マレーシア）への進出や、接触、露出の場を増やすことによる強力なプロモーションを、費用を抑え、効率の良い形で実施できます。単発的なイベントの参加以上のメリットを出す機会として、アジア圏進出に向けて活用いただけます。日本との親和性が高く、距離も比較的他の海外よりも近いこともあり、台湾だけではなく、アジアで行われているアニメ、漫画のイベントの指標として、業界全体の発展に寄与しています。

イベントのプロモーションでは、主催企業である大手漫画出版社が持つ「雑誌」「新聞」「WEB」等の媒体や、協力媒体などのプラットフォームを使用して、漫画博覧会を注目されるイベントにしております。

2018年は1000ブースが使用され（昨年対比：161.0%）、出展者数も増加、更なる拡大を続けております。

**■2018年度の新規取り組みと成果**

2018年度は、ゲームエリアを拡充することで、アニメやコミックの客層が相互に影響しあい、来場者人数が前年比増という結果に表れた。その中で、日本館エリアでは、ステージイベントを通じた生の体験により、来場者の滞留を促すため、ステージ数を昨年の約1.6倍となる31ステージに拡充した。結果、ステージエリアの集客は前年の約3倍と、盛況を博した。

内容でも、新しい取り組みとして、日台間の生中継や、LIVEのチアリング上映といった、これまでに無い取り組みも好評を得た。特に日台間の生中継では、バーチャルYoutuberのキズナアイが登場し、来場者との直接コミュニケーションを図ったほか、日本館の公式アンバサダーとして市内でのプロモーションを行うなど、事前の話題性にも繋がった。

この他、2.5次元俳優のトークショー、学校によるパブリックドローイングといった様々な種類の演出が行われた。また、アイドルによるパフォーマンスは、昨年より約1.5倍と拡充し、現地のファンだけに留まらず、日本からもファンが駆け付けるなど、日台の来場者間の交流を印象付けた。

**■他イベント等との連携事例**

- 細田守監督の最新作「未来のミライ」の公開タイミングに合わせてトークショーを行っていただくことで、日本館ブランドと「未来のミライ」プロモーションの相乗効果を得られた。
- 広州で行われた2018年CICF（中国国際漫画祭）への日本館出展に際する日本館ブランドの認知度向上に繋がった。

## C3AFA Jakarta 2018

会　期：2018年8月31日（金）～9月2日（日）
会　場：Indonesia Convention Exhibition
主　催：SOZO Pte. Ltd／㈱創通／㈱ホリプロインターナショナル
協　賛：キヤノン／CIMB Niaga
特別協力：OUVAL RESEARCH®／WHITE HORSE GROUP
協　力：Game Start／PT. LYTO Datarindo Fortuna／
PT. MEGINDO TUNGGAL SEJAHTERA／ソニー㈱／
㈱ソニー・ミュージックエンタテインメント

対象者：一般参加者、ビジネス関係者
公式サイト：https://animefestival.asia/jakarta18/

総来場者数：57,528人
出展ブース数：173





**■開催内容**

**●コンサート「I♡ANISONG CONCERT」（8月31日、9月1日）**

本イベントの目玉として8月31・9月1日の夜に開催された「I♡ANISONG CONCERT」では、アニソンアーティストを中心に計7組が出演した。

イベント初日の夜はEGOIST初となる、インドネシアでのワンマンコンサートが開催された。イベント2日目（9月2日）の夜は6組ものアニソンアーティストが出演し、その様子はニコニコ動画にて生配信された。



コンサート全出演者：EGOIST／和島あみ／BAND-MAID／鈴木このみ／綾野ましろ／
中島愛／TRUE

**●日中ステージ「DAY STAGE」（9月1日・2日）**

9月1日・2日の日中に行われた、人気コンテンツのトークショーを中心としたステージ「DAY STAGE」では、12のコンテンツとそれに伴う9組の特別ゲストが出演した。

特別上映
「K SEVEN STORIES Episode 1「R:B ～BLAZE～」」／
「K SEVEN STORIES Episode 2「SIDE:BLUE ～天狼の如く～」」／
「文豪ストレイドッグス [DEAD APPLE]」



ショーケースステージ
「キズナアイ」／「佐々木恵梨」／「Ayasa」／「徳井青空」／「JKT48」

アニメ特集
「RELEASE THE SPYCE」／「LOST SONG」／「ガンダムビルドダイバーズ」／
「ジョジョの奇妙な冒険 黄金の風」

日中ステージ全出演者：Ayasa／佐々木恵梨／森田と純平（「LOST SONG」）／鈴
木このみ（「LOST SONG」）／JKT48／キズナアイ／笠間淳
（「ガンダムビルドダイバーズ」）／徳井青空／安齋由香里
（「RELEASE THE SPYCE」）

**●展示会場内ステージ「AKIBA STAGE presented by CANON」（8月31日、9月1日、9月2日）**

「AKIBA STAGE presented by CANON」では、現地で活躍するアーティストやコスプレイヤーを中心としたDJステージやコスプレ大会など、様々なコンテンツを提供。イベント開催期間の3日間で、19組ものゲストが出演した。展示会場内の一角に設けらたステージのため、来場者が気軽に観覧でき、出演者の良い露出の場となった。



## C3AFA Jakarta 2018




●展示会場「AKIBA TOWN」（8月31日、9月1日、9月2日）
　各企業による展示会場「AKIBA TOWN」では、「キヤノン体験コーナー」や「Food Street」など、計173のブースが展開された。

●創作物即売会場「CREATORS HUB」（8月31日、9月1日、9月2日）
　展示会エリアに設置された創作者の展示・即売エリア。

●ゲームゾーン「AFA PLAY powered by GAME START」（8月31日、9月1日、9月2日）
　展示会エリアに設置された、ボードゲームからスマートフォンゲームまで様々な種類のゲームを体験、そして購入できるエリア。エリアにはミニステージも設置され、来場者参加型のゲーム大会などが開催された。

■2018年度の新規取り組みとその成果・特色など
・バーチャルYouTuberコンテンツへの取り組み：
　日本で人気急上昇中の「キズナアイ」をはじめとしたバーチャルYouTuberを、C3AFA初の試みとしてステージコンテンツに組み入れた。その人気は日本にとどまる事を知らず、海外でも多くのファンベースを持っている。インドネシア初となるバーチャルYouTuber、「Maya Putri」と現在日本で人気を集めている「電脳少女シロ」もAKIBA STAGE presented by CANONに出演。日中ステージの「キズナアイ」スペシャルショーケースは溢れるほどの観客で会場が埋め尽くされた。

・「POP TEAM EPIC ポプテピピック」ブース
　展示会場エリアに「POP TEAM EPIC ポプテピピック」ブースを設置。インドネシアでは初のブース展開となったが、すでにファンベースは熱く、ブースには数多くの来場者が訪れた。ブース内にはキャラクターと写真撮影ができるスポットや、オリジナルキャラクターを作成・展示できるお絵かきコーナーなどを配置。

　新たなコンテンツを本イベント内に取り入れる事で市場の更なる開拓を試み、インドネシアのみならず東南アジアにおいて、日本の最新ポップ・アニメカルチャーの浸透を促す活動を目指す。

# バンコク日本博2018

NIPPON HAKU BANGKOK 2018

会　期：2018年8月31日（金）～9月2日（日）
会　場：タイ バンコク サイアムパラゴンショッピングセンター5階 ロイヤルパラゴンホール
主　催：バンコク日本博2018実行委員会　ジェイエデュケーション
後　援：在タイ日本国大使館／㈱日本貿易振興機構（JETRO）／日本政府観光局（JNTO）／国際交流基金バンコク日本文化センター／熊本市上海事務所／北九州市
対　象：一般、ビジネス
公式サイト：http://nipponhaku.com/2018/ja/　http://nipponhaku.com/2018/

総来場者数：71,000人
ビジネスエリア来場者数：79人（開催国内来場者数：37人　国外来場者数：42人　うち邦人来場者数：42人）
出展社数：172社（開催国内出展者数：100社　国外出店者数：72 社　うち日系企業：72社）
出展参加国と地域数：約30の国と地域
バイヤー数：43人（開催国内バイヤー：22人　国外バイヤー：21人　うち日系バイヤー：21人）
プレス社数：87社（開催国内プレス社数：79社　国外プレス社数：8社　うち日系プレス社数：8社）

**■開催内容**

バンコクの中心にあるショッピングセンターのサイアムパラゴンにて、日本の魅力を網羅した総合見本市「バンコク日本博2018」を8月31日から9月2日まで実施しました。前年まで「JAPAN EXPO IN THAILAND」で開催してきた同イベントを、更に実りのあるイベントにするため今年度より「バンコク日本博」へと名称を変更しました。

日本のコンテンツ力を活用して集客に活かすとともに、キャラクターグッズの販売、食、トラベルなど広く日本を紹介することで、日本ファンの拡大、そして留学や就職ブースも出展することで、将来の日本留学・日本語学習者を増やすことに向けて実施しました。

タイにおける「日本」需要の創出と発展につなげることを目的としています。

**■2018年度の新規取り組みとその成果・特色など**

タイ人気歌手と日本人アーティストとの共演や、イベントテーマソングを日本語Vr.とタイ語Vr.で配信するなど、タイと日本との共演を手掛けました。タイ人気歌手とコラボすることで、集客も増え、メディアへの掲載も充実しました。

・250㎡程のスペースに、チームラボのテクノロジーアートを設営し、チームラボの独創的な空間を演出しました。
・Jリーグで活躍しているタイ人選手3名に、イベントPRするためのインタビュー動画を作成し、配信しました。

**■非コンテンツ企業・団体との連携や成果**

「トラベル」について、現地旅行会社とのビジネスマッチングをしました。「食」については、JETROバンコク協力のもと、タイ現地の食材を取り扱う卸業者・飲食店業者を食材関連ブースへ誘導し、食材の輸入のきっかけ作りをしました。

イベント後も引き続きタイでの販売を目指している企業には、伊勢丹（タイランド）との引き合わせをしました。

タイの大学日本語学科の学生が「日本の地域」をテーマに文化祭ブースを出展。各々が担当する地域をブース内で表現しました。大学生に各地域への関心を持ってもらうとともに、自分が担当した地域への愛着を持ってもらうことで、タイの大学生に日本を好きになってもらうきっかけになりました。










## Madman Anime Festival – Melbourne 2018















会　期：2018年9月14日（金）～16日（日）
　　[ビジネスデイ：9月14日(金)]
　　[パブリックデイ：9月15日（土）～16日(日)]

会　場：メルボルンコンベンションアンドエキシビションセンター
主　催：Madman Events Pty Ltd - Nathan Kershaw
対　象：アニメなど日本のポップカルチャーのファン
公式サイト：https://www.animefestival.com.au/

総来場者数：10,000人（開催国内入場者数：9,500人　国外入場者数：500人）
ビジネスエリア来場者数：370人
（開催国内来場者数：340人　国外来場者数：30人）
出展社数：162社（開催国内出展者数：158社　国外出店者数：4社）
出展参加国と地域数：3の国と地域
バイヤー数：4人（国外バイヤー：4人）
商談件数：4件
プレス社数：12社（開催国内プレス社数：12社）

**■開催内容**

　マッドマンアニメフェスティバルは、毎年オーストラリアの4大都市で開催されています。
　このイベントはアニメと日本の文化のフェスティバルで、オーストラリア最大のアニメ大手であるマッドマンエンターテインメント社と、オーストラリアでナンバーワンのアニメストリーミングサービスであるアニメラボ社がスポンサーです。

　エキサイティングな海外からのゲストや出展者、コスプレ、ライブステージの公演、ポップアップショップ、上映、そしてこのイベント限定のアニメ上映など、Madman Anime Festivalはすべての日本のポップカルチャーファンに楽しんでもらえるイベントです！

## C3 AFA SINGAPORE 2018

会　期：2018年11月30日（金）～12月2日（日）
会　場：Suntec Singapore Convention & Exhibition Centre, Singapore
主　催：SOZO Pte. Ltd.／㈱創通／Zepp Live Inc.／㈱ホリプロインターナショナル／Amuse Entertainment Singapore Pte. Ltd.
協　力：㈱電通／㈱ソニー・ミュージックエンタテインメント／㈱アサツーディ・ケイ
後　援：Singapore Tourism Board

対象者：アジア各国のアニメファン、ビジネス関係者
公式サイト：https://animefestival.asia/singapore18/

総来場者数：105,193人
出展数：211

**■開催内容**

**●コンサート「I♡ANISONG CONCERT」（11月30日、12月1日、12月2日）**

本イベントの目玉として11月30日、12月1日、12月2日の夜に開催された「I♡ANISONG CONCERT」では、アニソンアーティストを中心に計14グループが出演した。

11月30日出演者：Ayasa（オープニングアクト）／山崎エリイ／西沢幸奏／SPYAIR／Tielle&Gemie from SawanoHiroyuki[nZk]／YURiKA

12月1日出演者：イヤホンズ／岸田教団＆THE明星ロケッツ／リアルアキバボーイズ（オープニングアクト）／三森すずこ／TrySail

12月2日出演者：angela／GARNiDELiA／May'n／Mili（オープニングアクト）／ナノ

**●日中ステージ「DAY STAGE」（11月30日、12月1日、12月2日）**

11月30日、12月1日、12月2日の日中に行われた、人気コンテンツのトークショーを中心とした「DAY STAGE」では、13のコンテンツとそれに伴う19名の特別ゲストが出演した。

コンテンツ：「とある魔術の禁書目録III」／「Fate/Grand Order」／「フレームアームズ・ガール」／「ガンダムスペシャルステージ」／「賭ケグルイXX」／「ラブライブ!サンシャイン!!」／「モブサイコ100 II」／「ポプテピピック」／「少女☆歌劇レヴュースタァライト」／「ソードアート・オンラインアリシゼーション」／「エガオノダイカ」／「約束のネバーランド」

出演者：AC部／降幡愛（「ラブライブ!サンシャイン!!」）／茅野愛衣（「ソードアート・オンラインアリシゼーション」）／阿部敦（「とある魔術の禁書目録III」）／川澄綾子（「Fate/Grand Order」）／佐々木恵梨／山崎エリイ（「フレームアームズ・ガール」）／照井春佳（「ガンダムスペシャルステージ」）／田中美海（「賭ケグルイXX」）／小山百代（「少女☆歌劇レヴュースタァライト」）／NOB-C（「エガオノダイカ」）／高橋李依（「Fate/Grand Order」）／阿部里果（「フレームアームズ・ガール」）／斉藤朱夏（「ラブライブ!サンシャイン!!」）／諸星すみれ（「約束のネバーランド」）／三森すずこ（「少女☆歌劇レヴュースタァライト」）／塩川洋介（「Fate/Grand Order」）／Ash（司会）／吉田尚記（司会）／Reiko（司会）

**●展示会場内ステージ「AKIBA STAGE」（11月30日、12月1日、12月2日）**

ご当地アーティストや、アジア各国からのコスプレイヤーを中心としたステージとして開催された「AKIBA STAGE」では、32組が出演した。展示会場内の一角に設けられたステージのため、来場者が気軽に観覧でき、出演者の良い露出の場となった。そのため、現地で活躍するアーティストだけではなく、まだ東南アジアで知名度があまり高くない日本のアーティストも数組出演した。











## C3 AFA SINGAPORE 2018

**●展示会場内「FOOD STREET」「CREATORS HUB」（11月30日、12月1日、12月2日）**

・「FOOD STREET」
各企業による日本食販売会場「FOOD STREET」では12企業が出展した。

・創作物即売会場「CREATORS HUB」（11月30日、12月1日、12月2日）
創作者の展示・即売場所。110のグループが参加した。

**■2018年度の新規取り組みとその成果・特色など**

2018年、シンガポールでの開催10周年を迎えたことを祝し、イベント初の取り組みとなるレッドカーペットイベントを会場建物内にある巨大LEDスクリーン前で開催した。オープニングでは、本イベントに所縁のある数多くのアーティストやゲストからのお祝いコメントが上映され、本イベントキャラクターせいかのVtuberとしてのデビューが発表された。その後、本イベント開催1年目から毎年出演しているMay'nがアンバサダーとして登場し、大きな歓声が上がった。その他、駐シンガポール日本国特命全権大使や実行委員会メンバー、I♡ANISONG CONCERT出演者、出演ゲスト、コスプレーヤー等がレッドカーペットを歩くなどして大盛況だったその模様は、イベント公式Facebookで生配信され、世界各国からコメントが寄せられた。メディアや来場者、関係者からは、日本コンテンツに特化したイベントがレッドカーペットを開催し、多くの観客を集めるほどの規模に成長した事に対し、今後のさらなる市場の開拓を期待している、との声が集められた。

日中ステージ「DAY STAGE」では、様々なコンテンツの東南アジア初披露を実現した。中でも注目を浴びたのはAC部による「ポプテピピック」ステージであった。本ステージでは東南アジアでは珍しい、日本特有の文化である紙芝居が披露された。紙芝居自体は現地の人にあまり馴染みのないものだが、AC部の紙芝居はアニメに出て来るようなキャラクターが描かれており、且つスクリーンでは英語字幕が映し出していたため、日本語がわからない人も楽しめ、観客の興味を大きく引きつけた。

また昨年に引き続き、2018年もアニメや映画の上映を連日行い、中でも「モブサイコ100 II」、「約束のネバーランド」の2作品は、本イベントで第1話がアジア初上映となった。日本から離れた地域、そして現地メディアが多く集まっている本イベントで新作の初上映を行うことにより、時期作品への期待、そしてさらなる市場の開拓を試みる機会となった。

## C3 AFA HONG KONG 2019

会　期：2019年2月22日（金）～24日（日）
会　場：Hong Kong Convention and Exhibition Centre HALL 1ABCD
主　催：㈱創通／SOZO Pte. Ltd.
協　力：荃美廣告有限公司
後　援：日本商品化権協会／AJA
対　象：アニメ、コミック、ゲームを始めとした日本のCharacter・Culture・Contentsファン

公式サイト：https://www.c3afahk.com/
総来場者数：3日間合計219,900人（速報値）
プレス社数：73社

**■開催内容**

今回で10周年を迎えた、日本のCharacter・Culture・Contentsを香港・アジアに紹介するイベント。日本と香港、アジア地区の企業等による出展ブース、人気声優、アーティスト等が多数出演するメインステージ、11歳以下を対象にしたキッズドローイング等の企画を実施。コスプレイヤーは入場無料となり、多くのコスプレイヤーが訪れる。メインステージでは、「World Cosplay Summit」香港代表を決める大会も実施。

**出展ブース：**

animate（mangashop）／POSE+／Action Toys／Anime Tech Lab Limited／COSPA／ASIA GOAL／TOP IN-SIGHT／BUSHIROAD／Yu-Gi-Oh! 遊戯王／42（FORTYTWO）／DEAR KISS／LUMICA CORPORATION／Toei Animation Enterprises Limited／bilibili／BANDAI NAMCO Entertainment Inc.／MegaHouse Corporation／CODA & JAMRA／BANDAI／BANDAI SPIRIT／BANDAI NAMCO ASIA／BANPRESTO／Sun-Star Stationery Co.,Ltd.／Medialink Animation International Ltd.／EVANGELION STORE／KADOKAWA CORPORATION／小萌科技 KOMOE GAME／OUHK LiPACE 香港公開大學李嘉誠專業進修學院／CJ Anime Hong Kong Ltd.／Skywards Gifts Co. Ltd.／Neofilms Limited／SUNRISE INC.／BANDAI NAMCO Pictures Inc.／Kamen Rider Build／TV TOKYO／新華行股份有限公司The Oriental Trading Co., (H.K.) LTD.／Elite Toys Limited／Mighty Media Company Limited 曼迪傳播有限公司／SANKYO／SATELIGHT／ICHINI-SAN (H.K.) LTD／MUSE 木棉花／Sony Music／Aniplex

**メインステージ・出演者：**

『KYORAKU Presents SUPER SUNSHINE in HongKong「SKE48」Special stage』坂本真凛、野村実代、小畑優奈、古畑奈和、佐藤佳穂、西満里奈／『Vtuber Special Stage』電脳少女シロ（Siro）、アズマリム（Azuma Lim）／『少女☆歌劇 レヴュースタァライト -Re LIVE- SPECIAL TALK SHOW』佐藤日向、小泉萌香／『DEAR KISS C3AFA in HONG KONG Special Stage』DEAR KISS／『YOKO TAKAHASHI × EVANGELION STAGE』高橋洋子／『「刀剣神域 Alicization」Special Stage』茅野愛衣、丹羽将己／『THE IDOLM@STER 765 MILLIONSTARS Special Stage in C3AFA HONG KONG 2019』原由実、沼倉愛美、山崎はるか／『GUNDAM SPECIAL STAGE in C3AFA HONG KONG 2019』小林裕介／『KATE TOKYO全力支持：C3AFA HK 2019 Cosplay大激鬥 #』／『I Love Anisong Showcase』ASCA、田所あずさ、綾野ましろ／『「黒色五葉草」特別舞台見面會』梶原岳人、諏訪部順一／『Nao Toyama Special Live in C3AFA HONG KONG 2019』東山奈央／『AIKATSU! Special Stage』AKB48 Team TP－Mina、Pinhan／『「A Certain Magical Index III」C3AFA HK Special Stage』阿部敦、井口裕香／『GUNDAM anisong special stage』BACK-ON、Iris















## 4-iv　コ・フェスタ実行委員長、副委員長によるイベント開会式への来賓出席と挨拶



KYOTO CMEX10 周年記念レセプションパーティー




東京ゲームショウ 2018 開会式




東京ゲームショウ 2018 開会式

コ・フェスタ2018のイベントのうち、いくつかの開会式やレセプション等でコ・フェスタ実行委員長・副委員長が来賓として挨拶を行ない、コンテンツ業界だけではなく、広くコンテンツ産業以外の来場者の方へもコ・ フェスタの意義と日本コンテンツの利活用の重要性をアピールした。

**●KYOTO CMEX10周年記念レセプションパーティー**

京都にて2018年9月14日（金）に開催された「KYOTO CMEX」10周年を記念した角川歴彦氏［㈱KADOKAWA取締役会長、カドカワ㈱取締役会長］の記念講演会と、同氏と荒俣宏氏（作家、博物学者）による対談、その後のレセプションパーティーへ大谷信義実行委員長、依田巽実行副委員長、松谷孝征実行副委員長が出席した。レセプションパーティーでは来賓として、大谷信義実行委員長、松谷孝征実行副委員長が挨拶を行なった。

**●東京ゲームショウ2018開会式**

幕張メッセにて2018年9月20日（木）に開催された「東京ゲームショウ2018」開会式へ大谷信義実行委員長が来賓として出席、テープカットと挨拶を行なった。その後、場内視察では様々なブースを回覧した。

**●第45回「日本賞」教育コンテンツ国際コンクール授賞式**

2018年11月9日（金）、NHK放送センターにて第45回「日本賞」教育コンテンツ国際コンクール授賞式と受賞者パーティーが開催され、松谷孝征実行副委員長が出席した。授賞式内では来場者の前でコ・ フェスタの来賓として紹介された。授賞式後のパーティーでは、国内外の放送関係者達と交流した。

## 5 – i コ･フェスタアンバサダー施策について

コ･フェスタ2012年から組織している日本コンテンツファンの外国留学生を中心としたコ･フェスタアンバサダーがコ･フェスタイベントを実際に訪問して体験し、JAPACON や、各自の持っているSNSから情報発信し、日本コンテンツの海外発信に協力した。

･JAPACON facebookでの動画配信（100万フォロワー）
https://www.facebook.com/japancontent/
･アンバサダー個人のSNSアカウント（facebook、Instagram、twitterなど）にて、
イベントの様子を投稿。

参加したコ･フェスタイベント：東京ゲームショウ2018、 15thTIMM
参加したイベント：外務省（第12回日本国際漫画賞授賞式）

無断転載･複製を禁ず。Copyright © 2018. コ･フェスタアンバサダー運営事務局


## 5- ii コ･フェスタイベント支援
## ②第15回東京国際ミュージックマーケット（15ThTIMM)

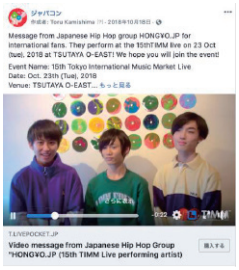
イベント名：＜TIMM･ショーケースライブ＞
15th TOKYO INTERNATIONAL MUSIC MARKET LIVE
日　　時：2018年10月22日, 23日, 24日
会　　場：Tsutaya O-East
概　　要：
･日本コンテンツファンの外国留学生を中心としたコ･フェスタ　アンバサダー11名が訪問。
･ TIMMを主催しているPROMICの要望により、JAPACON facebookページにて、事前プロモーションを実施。

無断転載･複製を禁ず。Copyright © 2018. コ･フェスタアンバサダー運営事務局

## JAPACON facebookによる事前のプロモーション

TIMMを主催しているPROMICの要望により、JAPACON facebookページにて、TIMMおよびTIMMショーケースライブの事前プロモーションに注力。計40記事をアップすることで、国内外に対してプロモーションを行うことができました。




**① TIMMショーケースライブに出演するアーティストの紹介記事**
**② 出演アーティストのビデオメッセージ記事**

TIMMサイトでは、TIMMに出演するアーティストの紹介ページがアーティストごとに設けられている（一部のアーテイストは登録なし）ため、そのページのURLをシェアする形で紹介。計20組以上のアーティストのとライブイベント自体のプロモーションを実施いたしました。さらにアーティスト2組からはビデオメッセージを提供いただき、動画記事としてアップをいたしました。

記事のリーチ数は、1記事あたり、最大で23,000を超える結果となり、国内外に対してTIMMおよび出演アーティストをプロモーションすることができました。

全リーチ数：381,446
TIMMサイトへの誘導（クリック）数：2,676
動画再生数（2アーティスト）：23,230回
全いいね数：615


無断転載・複製を禁ず。Copyright © 2018. コ・フェスタアンバサダー運営事務局


## JAPACON facebookによる事前のプロモーション







**③ 東京国際映画祭特別企画「TIFFプラス」 アニソンライブ記事**

今年は、東京国際映画祭との特別企画「TIFFプラス」のメインイベントとして「JAM LAB. Presents JAPAN ANIME MUSIC SHOWCASE 2018」が開催されました。

優先入場券付の限定Tシャツの販売促進も重要ということで、計5回にわたって記事をアップし、TIMM特設ページに誘導するためのプロモーションを実施いたしました。
またJAM LABサイトでのライブレポート記事についてもシェアを行なっております。

全リーチ数：27,1205
TIMMサイトへの誘導（クリック）数：6,372
全いいね数：421


無断転載・複製を禁ず。Copyright © 2018. コ・フェスタアンバサダー運営事務局

## JAPACON facebookによる事前のプロモーション




### ④ Music×Tech Showcase、ビジネスセミナー 等

今年の大きなテーマとして、コンテンツ×IT マッチングイベント「Music×Tech Showcase」も開催されました。

初の取り組みということもあり、事前告知を強力に行うことで、セミナー・イベントへの参加者増加につなげる取り組みを実施いたしました。

全リーチ数：43,239 （計3記事）
TIMMサイトへの誘導（クリック）数：295
全いいね数：33

その他、ビジネスセミナーの情報など、TIMM/TIMMショーケースライブのプロモーションを行なった結果、全体のリーチ数は約90万リーチとなり、プロモーションの役割を果たすことができました。

全リーチ数　：　897,741（計40記事）
全クリック数：　33,440 クリック
動画再生数：　23,230 回
全いいね数：　1,198 いいね！


無断転載・複製を禁ず。Copyright © 2018. コ・フェスタアンバサダー運営事務局


## 15thTIMM 参加者(1)　参加アンバサダー：計９ヶ国１１人

| No. | 名前 | 国籍 | 所属 |
|---|---|---|---|
| 1 | フレドリックノーマン | スウェーデン | 東京学芸大学 |
| 2 | エステパ レーヤ | フィリピン | 東京学芸大学 |
| 3 | ヘステイ　スアルテイ | インドネシア | 東京学芸大学 |
| 4 | キョメイゼン | 中国 | 東京大学 |
| 5 | チェンヂーシュエン | 台湾 | 早稲田大学 |
| 6 | ソニア　ソモサ | スペイン | カイ日本語スクール |
| 7 | セリア　ヒメネズ | スペイン | 社会人 |
| 8 | エレアナパーソンズ | 英国 | ヨシダ日本語学院 |
| 9 | ルイスルイス | メキシコ | 社会人 |
| 10 | イドンギョン | 韓国 | 早稲田大学 |
| 11 | エドガーペラエズ | メキシコ | 早稲田大学 |


無断転載・複製を禁ず。Copyright © 2018. コ・フェスタアンバサダー運営事務局

## 15thTIMM 参加者(2)













CoFesta

無断転載・複製を禁ず。Copyright © 2018. コ・フェスタアンバサダー運営事務局



## 15thTIMM ショーケースライブの様子

TIMMショーケースライブでは、計31組のアーティストが3日間にわたってライブパフォーマンスを実施。

国内来場者だけではなく、コ・フェスタ　アンバサダー、TIMM招聘バイヤーなど、海外の音楽関係者も多く観覧をし、出演アーティストは海外でのビジネスチャンスを創造する絶好の機会となりました。














CoFesta

無断転載・複製を禁ず。Copyright © 2018. コ・フェスタアンバサダー運営事務局

## 5-iii　イベントへの協力：外務省(第12回 日本国際漫画賞授賞式)

イベント名：第12回 日本国際漫画賞授賞式

日　　時：2019年2月26日(火)
18:15~18:40 授賞式 / 18:45~20:00 レセプション

主　　催：外務省 (※同省より招待を受け、アンバサダーが参加)

会　　場：外務省飯倉別館

参加内容：7ヵ国7人からのコ・フェスタ アンバサダーが式典に参加。
展示されていた入賞作品を熟読したり、各国からの入賞者と懇談して漫画文化を深く理解しSNSで発信し、同賞の海外発信に貢献。




【授賞式】
①河野太郎外務大臣より主催者ご挨拶
②最優秀賞1作品、優秀賞3作品および作者に対し、賞状とトロフィーが授与。
最優秀賞：トウ・ショウ「Yang Hao and his four compositions (黒い塔)」
優秀賞：シャンゴモラ・エドゥンジョビ「MISEYIEKI (ミセイエキ)」
優秀賞：ライ・ダッダッ・ウィン「The Pork Chops Inferno (十八階焼肉)」
優秀賞：エメー・デ・ヨング「Planned Obsolescence of our feelings (身体の老いとともに感情もまた老化する)」
③里中満智子審査委員長より講評。



【レセプション】
①河野太郎外務大臣より乾杯のご挨拶
②受賞者スピーチ


無断転載・複製を禁ず。Copyright © 2018. コ・フェスタアンバサダー運営事務局


## 第12回 日本国際漫画賞授賞式　参加アンバサダー：計７ヶ国7人

| No | 名前 | 国籍 | 所属 |
|---|---|---|---|
| 1 | セレン・グネス | イギリス | フリーランス |
| 2 | サミュエル・ユン | オーストラリア | ニューヨークフィルムアカデミー |
| 3 | レイチェル・レン | シンガポール | ハーバード大学 |
| 4 | リリアン・リー | マレーシア | マレーシア科学大学 |
| 5 | カリスタ・レトサシャ | タイ | 早稲田大学 |
| 6 | エルヴィラ・ユニタン | インドネシア | アジア太平洋大学 |
| 7 | エドガー・ペラエズ | メキシコ | 早稲田大学 |


無断転載・複製を禁ず。Copyright © 2018. コ・フェスタアンバサダー運営事務局

# 第12回 日本国際漫画賞授賞式　参加アンバサダー




CoFesta

無断転載・複製を禁ず。Copyright © 2018. コ・フェスタアンバサダー運営事務局

## 6 JAPACONによる海外への情報発信

日本国内のコンテンツ情報や、CoFestaに参加するイベントを海外にプロモーションする際、現地メディアへの広告出稿、現地開催イベント等への出展等は、大きな予算がかかる上、現地での費用対効果を調査することも日本国内より難しい場合があります。

一方、世界で10億人以上が利用するfacebookを中心としたSNSを活用することにより、日本から世界に対して効率的なプロモーションができる時代となった今、世界46カ国106万いいねを持つJAPACONのfacebookは、メディアとしての価値を持ち、CoFesta事業の1つである参加イベントの国内外へのプロモーションを実現するためには重要なツールとなっています。



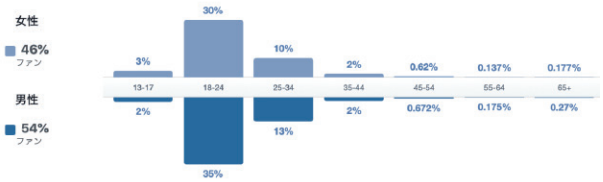

fb.com/japancontent/

世界46カ国 106万いいね！（2019年2月末時点）


無断転載・複製を禁ず。Copyright © 2018. コ・フェスタアンバサダー運営事務局


## 6 JAPACONによる海外への情報発信




| 国別ファン1～10位 | 国別ファン11～20位 |
|---|---|
| インドネシア | ブラジル |
| ミャンマー | 日本 |
| フィリピン | スリランカ |
| インド | ペルー |
| カンボジア | シンガポール |
| ベトナム | パキスタン |
| アメリカ合衆国 | フランス |
| マレーシア | 東ティモール |
| タイ | カナダ |
| メキシコ | アルゼンチン |

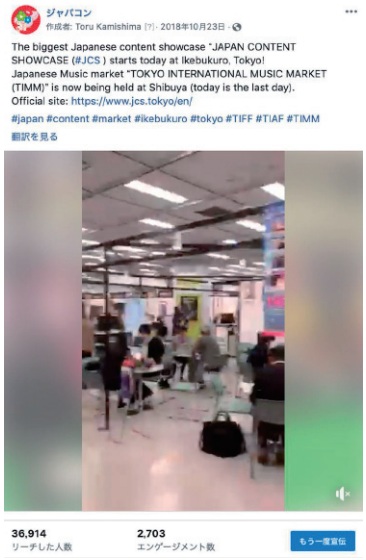
JAPACONは、facebookを立ち上げた当初より、日本のコンテンツ・文化に興味のある世代、国を中心に広告を活用しながらファンを集めてきたこともあり、現在も、106万いいねの中心は、コンテンツに興味のある10～30代前半が圧倒的に多い状況です。

また、国別のファンを見ても、日本のコンテンツビジネスが拡大する東南アジア、北南米が上位を占めており、CoFestaイベントの情報を発信するターゲットしては最適なユーザーであることがわかります。


無断転載・複製を禁ず。Copyright © 2018. コ・フェスタアンバサダー運営事務局

## 6 JAPACONによる海外への情報発信

効果的なプロモーション事例




CoFesta コアイベント「Japan Content Showcase」の開催初日に合わせて、池袋のTIFFCOM/TIAF会場に取材に行き、会場の様子を動画で撮影。即日、facebookにアップし、さらにコンテンツビジネスに関心のあるユーザーをターゲットに選択して広告を利用することで、36,000以上のリーチを記録しています。

この手法は、フランス・カンヌで開催される世界最大級のコンテンツマーケット「MIPCOM」のオフィシャルfacebookページなどでも使われており、会場の様子などを動画で伝えることにより、会期中の来場者増加はもちろん、イベント自体の認知度を上げることにより、次年度以降の来場者増加につなげることも考えられます。

JAPACONは、この手法を活用することで、今後もCoFestaに参加するイベントの国内外への認知度向上をサポートすることが可能です。

CoFesta
無断転載・複製を禁ず。Copyright © 2018. コ・フェスタアンバサダー運営事務局

# コ・フェスタ 2018　実施報告書

発行日：2019年3月
発　行：特定非営利活動法人映像産業振興機構
デザイン監修：㈱サムライ
Printed in JAPAN
© VIPO2019

住　所：東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル2F
電　話：03-3543-7531
F A X：03-3543-7533
https://www.cofesta.go.jp/

※著作権者から文書による許諾を得ずに、無断で複写・複製することは禁じられています。

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

R70
古紙パルプ配合率70％再生紙を使用